
田辺市
第3期障害者計画及び第5期障害福祉計画
第1期障害児福祉計画策定に係る
アンケート調査報告書

平成30年3月

田辺市

～目 次～

I	調査の概要	1
II	身体障害者・知的障害者対象調査	3
III	精神障害者対象調査	69
IV	自由回答	113

I 調査の概要

◆ 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、田辺市第3期障害者計画及び第5期障害福祉計画 第1期障害児福祉計画を策定するにあたり、障害のある方の生活状況や福祉サービスの利用状況、利用意向、ご意見等を把握し、計画策定の基礎資料として、田辺市の実情を反映した障害者福祉の推進を図ることを目的に実施しました。

2. 調査項目

- (1) 調査対象者の基本的な事柄（性別・年齢・所持手帳等級・生活場所等）
- (2) 障害者福祉サービス利用状況、今後の利用意向等

3. 調査設計

- 調査地域 : 田辺市全域
- 調査対象者 : 平成29年7月現在、田辺市に住んでいる身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者。
調査票は身体障害者用、知的障害者用、精神障害者用の3種類を配布。
- 調査期間 : 平成29年7月～8月
- 調査方法 : 調査票による本人記入方式（本人が記入できない場合は家族等）
郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

4. 回収結果

所持手帳	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
身体障害者手帳	1,000	465	46.5%
療育手帳	560	262	46.8%
精神障害者保健福祉手帳	440	200	45.5%
合計	2,000	927	46.4%

5. 報告書の見方

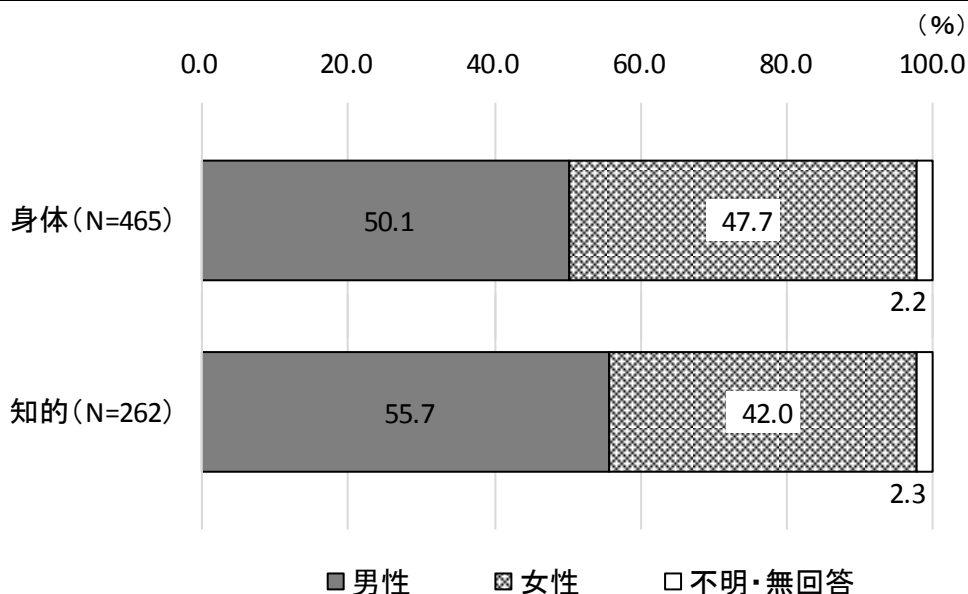
- 回答結果は、少数点第2位を四捨五入した有効サンプル数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ及び表のN数は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

Ⅱ 身体障害者・知的障害者対象調査

回答者の基本的事項について

問1 あなたの性別を教えてください。

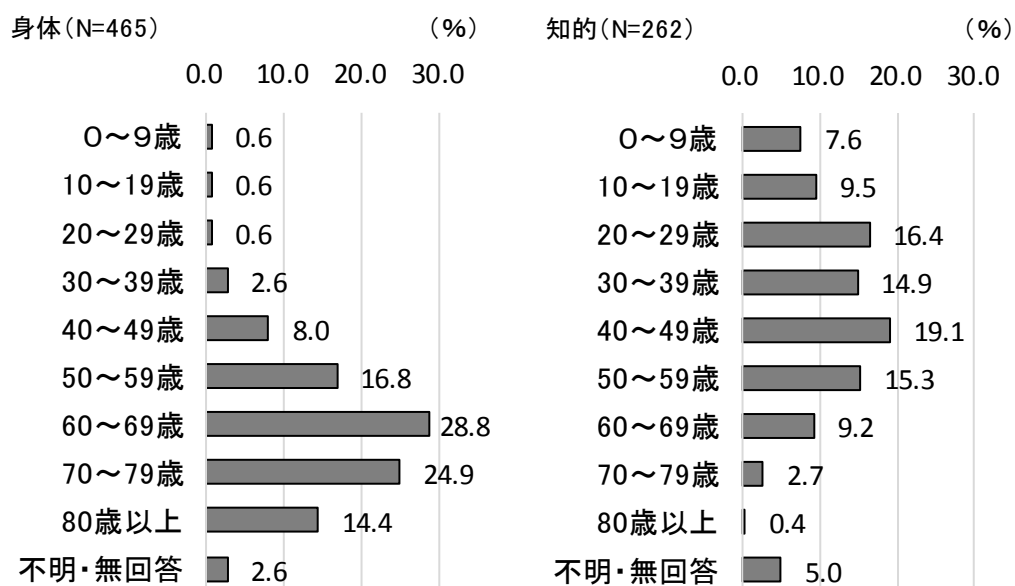
性別について、身体障害者では「男性」が50.1%、「女性」が47.7%となっています。
知的障害者では「男性」が55.7%、「女性」が42.0%となっています。



問2 あなたの年齢は何歳ですか。＜平成29年7月1日現在＞

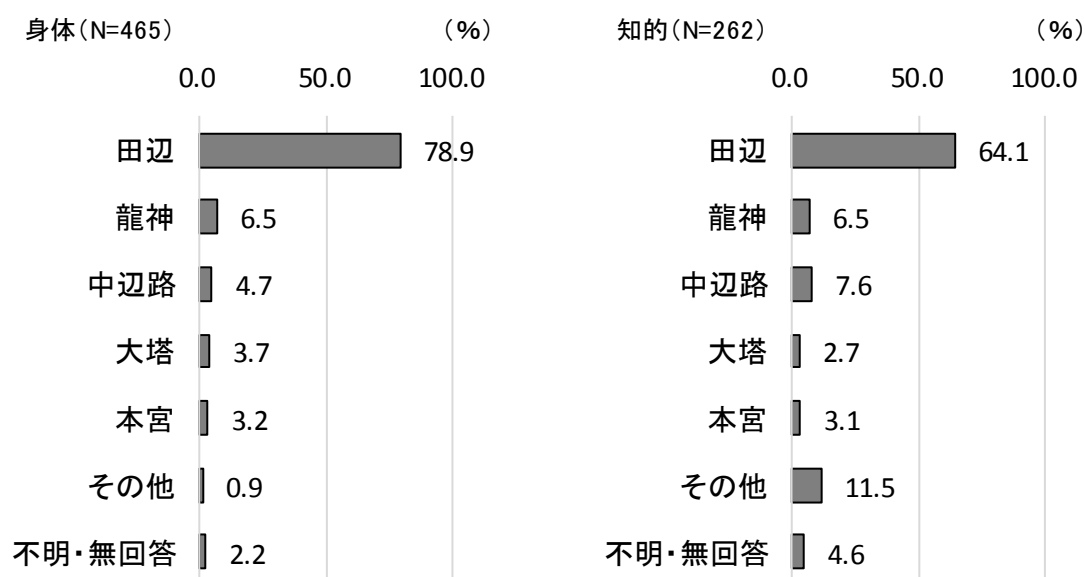
年齢について、身体障害者では「60～69歳」が28.8%と最も高く、次いで「70～79歳」が24.9%となっています。

知的障害者では「40～49歳」が19.1%と最も高く、次いで「20～29歳」が16.4%となっています。



問3 あなたのお住まいはどちらの地区ですか。

居住地区について、身体障害者・知的障害者ともに「田辺」が最も高く、それぞれ78.9%、64.1%となっています。

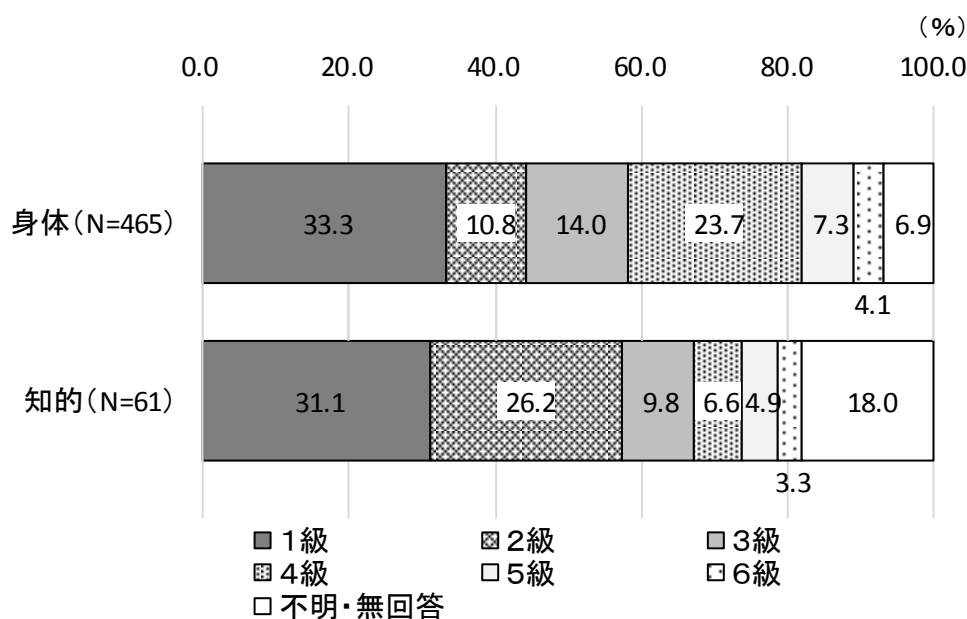


問4 あなたは次の手帳をお持ちですか。あなたが所持している障害者手帳は次のどれですか。(複数回答)

【1 身体障害者手帳】

(1) 身体障害者手帳の等級

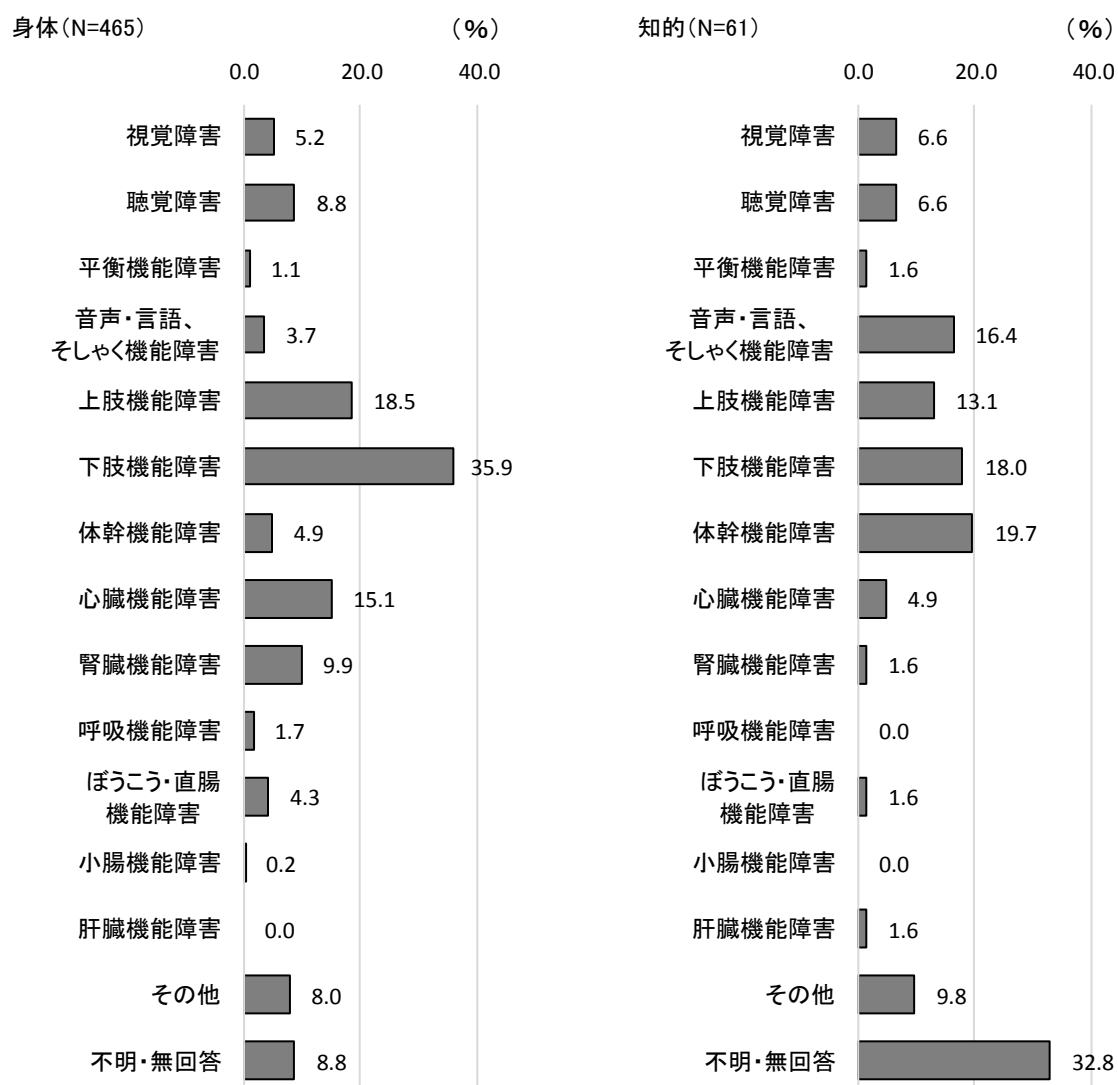
身体障害者手帳等級について、身体障害者・知的障害者ともに「1級」が最も高く、それぞれ33.3%、31.1%となっています。



※ 知的(N=61)とは、知的障害者の方で身体障害者手帳をお持ちの方

(2) 障害の内容（複数回答）

障害の内容について、身体障害者では「下肢機能障害」が 35.9%と最も高く、次いで「上肢機能障害」が 18.5%となっています。知的障害者では「体幹機能障害」が 19.7%と最も高く、次いで「下肢機能障害」が 18.0%となっています。



※ 知的 (N=61) とは、知的障害者の方で身体障害者手帳をお持ちの方

■ その他回答 (身体)

内容	件数
股関節機能障害	8
膝関節機能障害	6
その他関節	3
指の欠損・機能障害	2
直腸機能障害	2
不整脈	1
四肢機能障害	1
両上肢機能障害	1
左上肢機能	1
ALS	1
言語障害	1

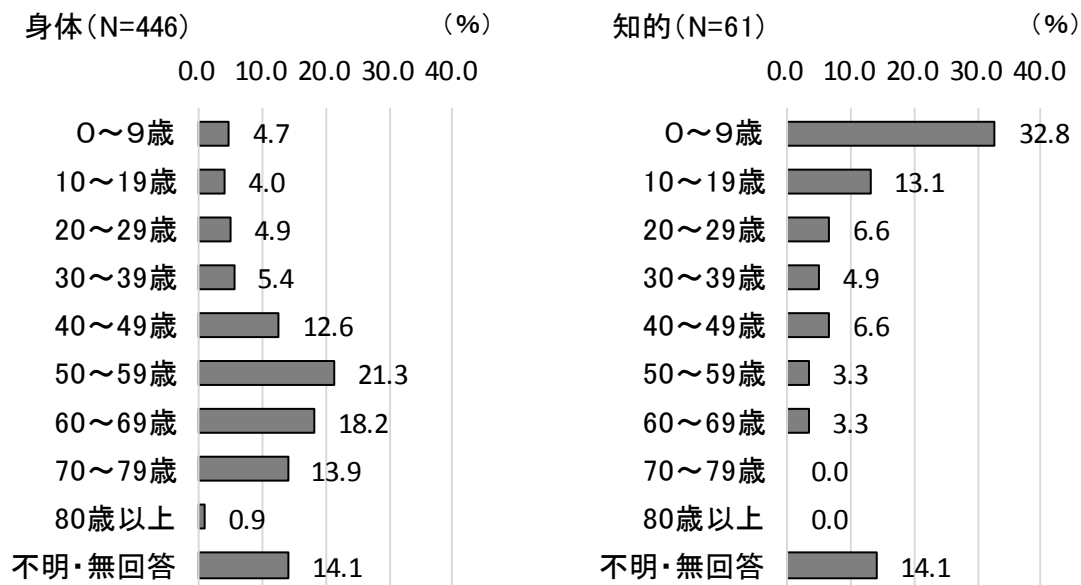
■ その他回答 (知的)

内容	件数
脳性麻痺	2
うつ	1
てんかん	1
その他	1

(3) 身体障害者手帳取得年齢

身体障害者手帳取得年齢について、身体障害者では「50～59 歳」が 21.3%と最も高く、次いで「60～69 歳」が 18.2%となっています。

知的障害者では「0～9 歳」が 32.8%と最も高く、次いで「10～19 歳」が 13.1%となっています。



※ 知的(N=61)とは、知的障害者の方で身体障害者手帳をお持ちの方

【2 療育手帳】

（1）療育手帳の判定

療育手帳の判定について、身体障害者では「A 1」「B 1」がそれぞれ3件、「B 2」が2件となっています。

知的障害者では「B 2」が25.6%と最も高く、次いで「A 1」が23.7%となっています。

■身体

	件数	割合(%)
A1	3	10.7
A2	0	0.0
B1	3	10.7
B2	2	7.1
不明・無回答	20	71.4
合計	28	100.0

■知的

	件数	割合(%)
A1	62	23.7
A2	52	19.8
B1	61	23.3
B2	67	25.6
不明・無回答	20	7.6
合計	262	100.0

※ 身体(N=28)とは、身体障害者の方で療育手帳をお持ちの方

（2）療育手帳の取得年齢

療育手帳の取得年齢について、身体障害者では「50～59 歳」「60～69 歳」がそれぞれ5件と最も多く、次いで「70～79 歳」が4件となっています。

知的障害者では「0～9 歳」が26.0%と最も高く、次いで「10～19 歳」が19.8%となっています。

■身体

	件数	割合(%)
0～9歳	1	3.6
10～19歳	3	10.7
20～29歳	2	7.1
30～39歳	1	3.6
40～49歳	2	7.1
50～59歳	5	17.9
60～69歳	5	17.9
70～79歳	4	14.3
80歳以上	1	3.6
不明・無回答	4	14.3
合計	28	100.0

■知的

	件数	割合(%)
0～9歳	68	26.0
10～19歳	52	19.8
20～29歳	15	5.7
30～39歳	9	3.4
40～49歳	6	2.3
50～59歳	5	1.9
60～69歳	1	0.4
70～79歳	1	0.4
80歳以上	0	0.0
不明・無回答	105	40.1
合計	262	100.0

※ 身体(N=28)とは、身体障害者の方で療育手帳をお持ちの方

【3 精神障害者保健福祉手帳】

（1）精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳の等級について、身体障害者では「1級」が2件、「2級」が1件となっています。

知的障害者では「2級」が8件、「3級」が1件となっています。

■身体

	件数	割合(%)
1級	2	22.2
2級	1	11.1
3級	0	0.0
不明・無回答	6	66.7
合計	9	100.0

■知的

	件数	割合(%)
1級	0	0.0
2級	8	44.4
3級	1	5.6
不明・無回答	9	50.0
合計	18	100.0

※ 身体(N=9)とは、身体障害者の方で精神障害者福祉手帳をお持ちの方
 ※ 知的(N=18)とは、知的障害者の方で精神障害者福祉手帳をお持ちの方

（2）精神障害者保健福祉手帳取得年齢

精神障害者保健福祉手帳取得年齢について、身体障害者では「50～59歳」が3件と最も多くなっています。

知的障害者では「0～9歳」が6件と最も多く、次いで「10～19歳」が5件となっています。

■身体

	件数	割合(%)
0～9歳	0	0.0
10～19歳	1	11.1
20～29歳	1	11.1
30～39歳	0	0.0
40～49歳	1	11.1
50～59歳	3	33.3
60～69歳	1	11.1
70～79歳	1	11.1
80歳以上	0	0.0
不明・無回答	1	11.1
合計	9	100.0

■知的

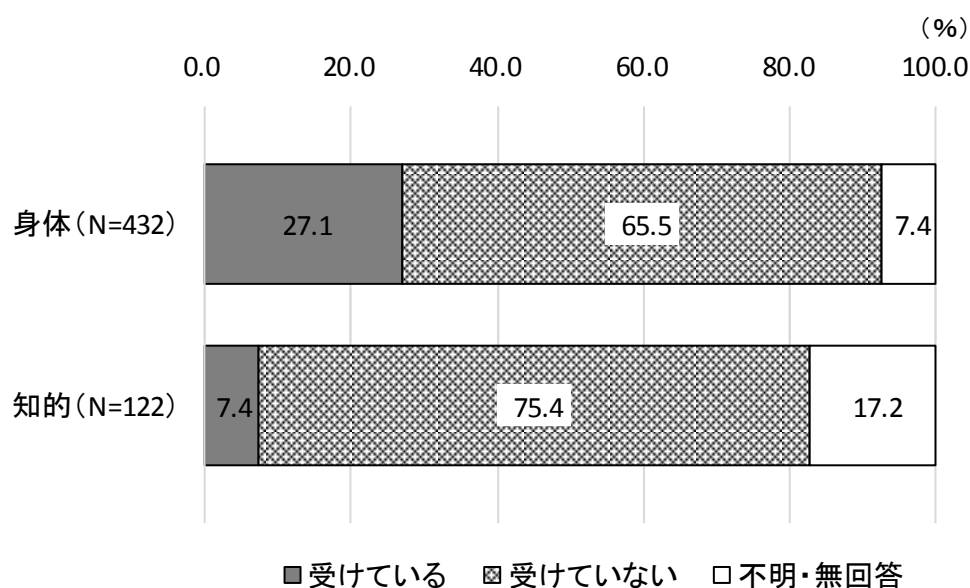
	件数	割合(%)
0～9歳	6	33.3
10～19歳	5	27.8
20～29歳	0	0.0
30～39歳	0	0.0
40～49歳	1	5.6
50～59歳	1	5.6
60～69歳	1	5.6
70～79歳	0	0.0
80歳以上	0	0.0
不明・無回答	4	22.2
合計	18	100.0

※ 身体(N=9)とは、身体障害者の方で精神障害者福祉手帳をお持ちの方
 ※ 知的(N=18)とは、知的障害者の方で精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方

問5 現在、40 歳以上の方にお聞きします。あなたは、介護保険法の要介護認定を受けていますか。受けている場合は要介護度もお答えください。

介護保険法の要介護認定について、「受けている」が身体障害者では 27.1%、知的障害者では 7.4%となっています。

要介護度については、身体障害者では「要支援（１・２）」が 42.7%と最も高く、次いで「要介護２」が 14.5%となっています。知的障害者では「要支援（１・２）」「要介護１」「要介護５」が２件となっています。



■ 身体

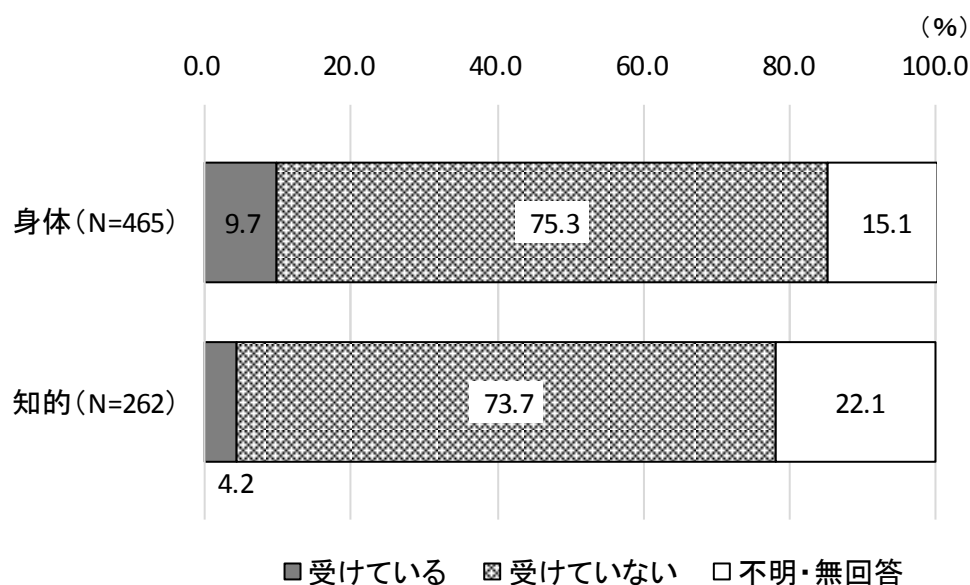
	件数	割合 (%)
要支援(1・2)	50	42.7
要介護1	9	7.7
要介護2	17	14.5
要介護3	10	8.5
要介護4	12	10.3
要介護5	8	6.8
非該当	2	1.7
不明・無回答	9	7.7
合計	117	100.0

■ 知的

	件数	割合 (%)
要支援(1・2)	2	22.2
要介護1	2	22.2
要介護2	1	11.1
要介護3	0	0.0
要介護4	1	11.1
要介護5	2	22.2
非該当	1	11.1
不明・無回答	0	0.0
合計	9	100.0

問6 あなたは、難病（特定疾患）の認定を受けていますか。

難病（特定疾患）の認定について、「受けている」が身体障害者では9.7%、知的障害者では4.2%となっています。



■ 疾患名（身体）

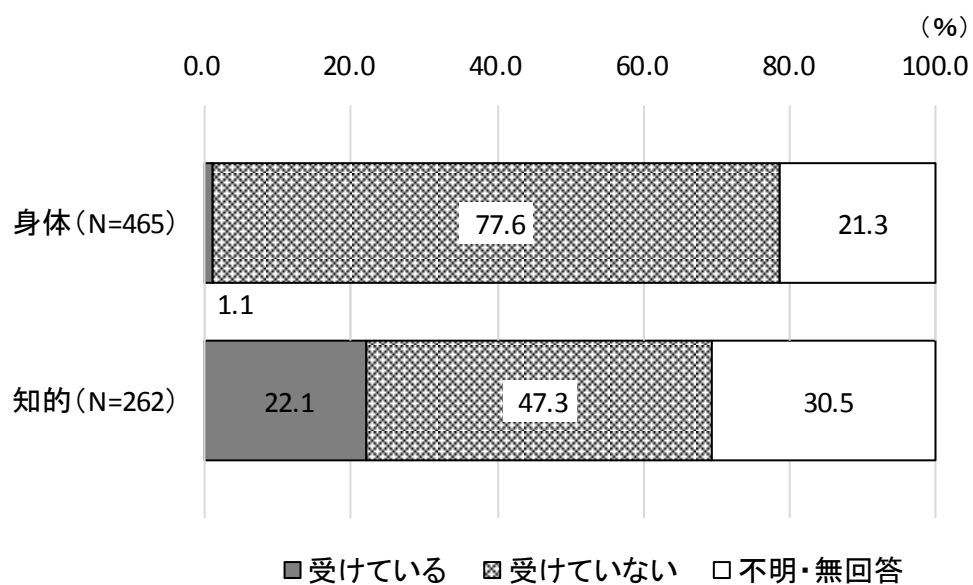
内容	件数
腎不全	7
パーキンソン病	2
両股関節機能全廃	1
特発性拡張型心筋症	1
潰瘍性大腸炎	1
多発性硬化症	1
脊髄髄膜瘤	1
脊髄小脳変性症	1
筋萎縮性側索硬化症	1
筋ジストロフィー	1
ベーチェット病	1
てんかん	1
シェーグレン症候群	1

■ 疾患名（知的）

内容	件数
てんかん	2
小脳変性症	1
突発性難聴	1

問7 あなたは発達障害（広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害など）の診断を受けていますか。

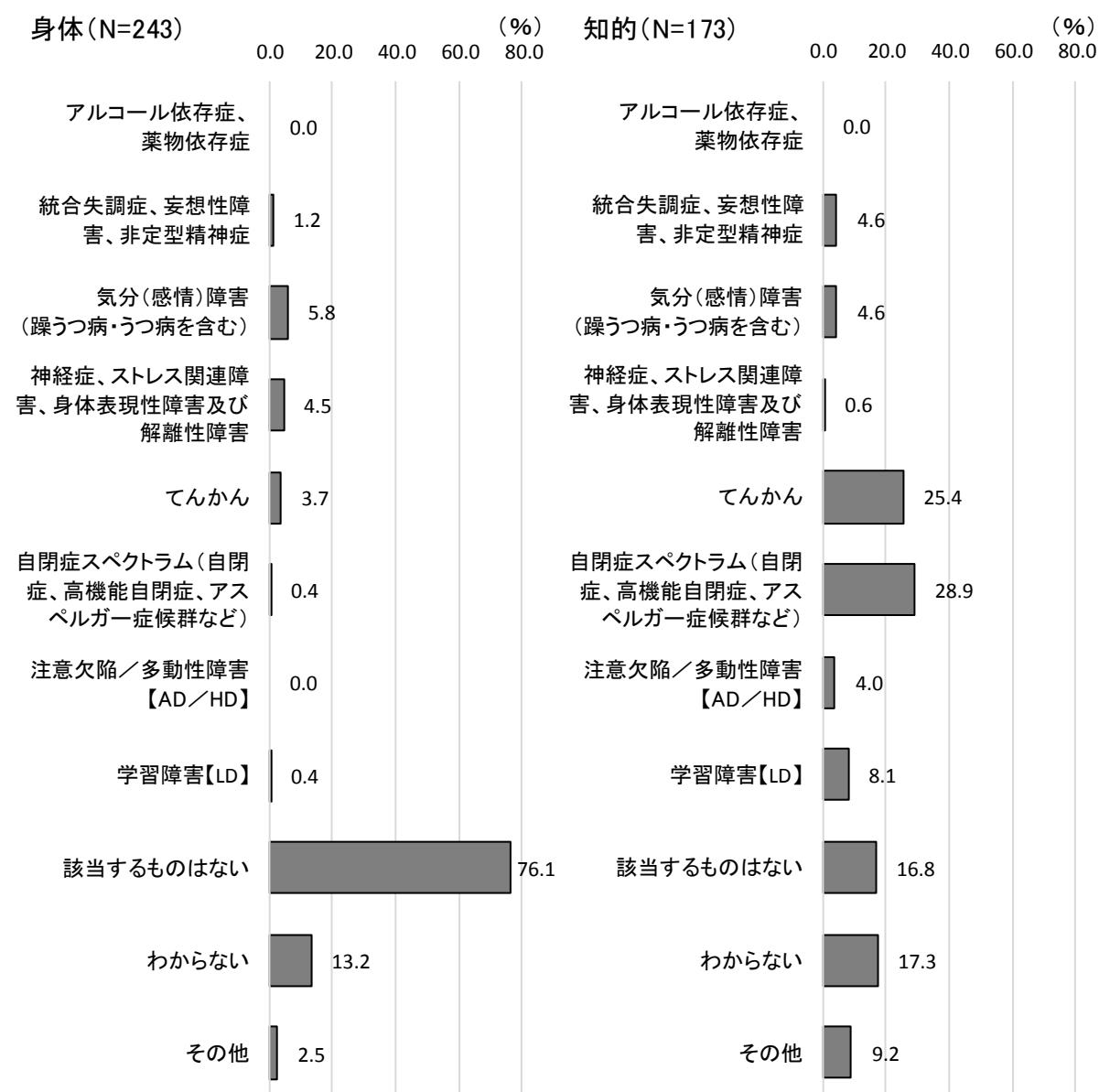
発達障害（広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害など）の診断について、「受けている」が身体障害者では1.1%、知的障害者では22.1%となっています。



問8 次のうち該当するものがありますか。(複数回答) ※不明・無回答は除く

次の症状のうち該当するものがあるかについて、身体障害者では「該当するものはない」が76.1%と最も高くなっています。

知的障害者では「自閉症スペクトラム（自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群など）」が28.9%と最も高く、次いで「てんかん」が25.4%となっています。



■その他回答(身体)

内容	件数
パニック障害	1
左上肢機能	1
視力・聴力	1
両膝関節機能	1
C型ウィルスあり	1
アスベストを原因とする体調不良	1

■その他回答(知的)

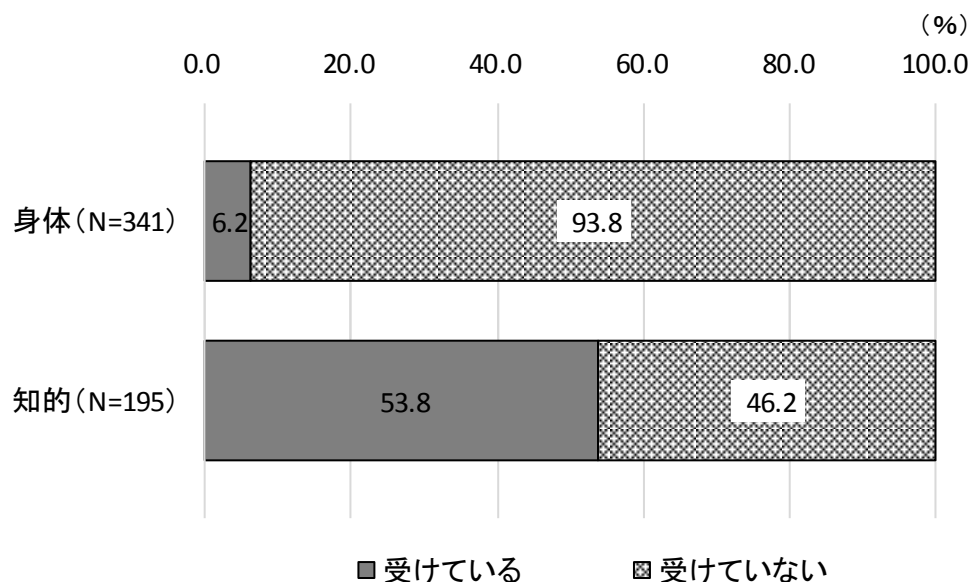
内容	件数
知的障害	5
ダウン症	4
てんかん性精神病	1
糖尿病	1
精神遅滞	1
その他	1

問9 あなたは、障害者総合支援法の障害支援区分を受けていますか。

受けている場合は障害支援区分もお答えください。 ※不明・無回答は除く

障害者総合支援法の障害支援区分について、「受けている」が身体障害者では6.2%、知的障害者では53.8%となっています。

障害支援区分については、身体障害者では「区分4」が4件と最も多くなっています。知的障害者では「区分6」が41.0%と最も高く、次いで「区分5」が18.1%となっています。



■身体

	件数	割合 (%)
区分1	1	4.8
区分2	2	9.5
区分3	1	4.8
区分4	4	19.0
区分5	3	14.3
区分6	3	14.3
非該当	1	4.8
不明・無回答	6	28.6
合計	21	100.0

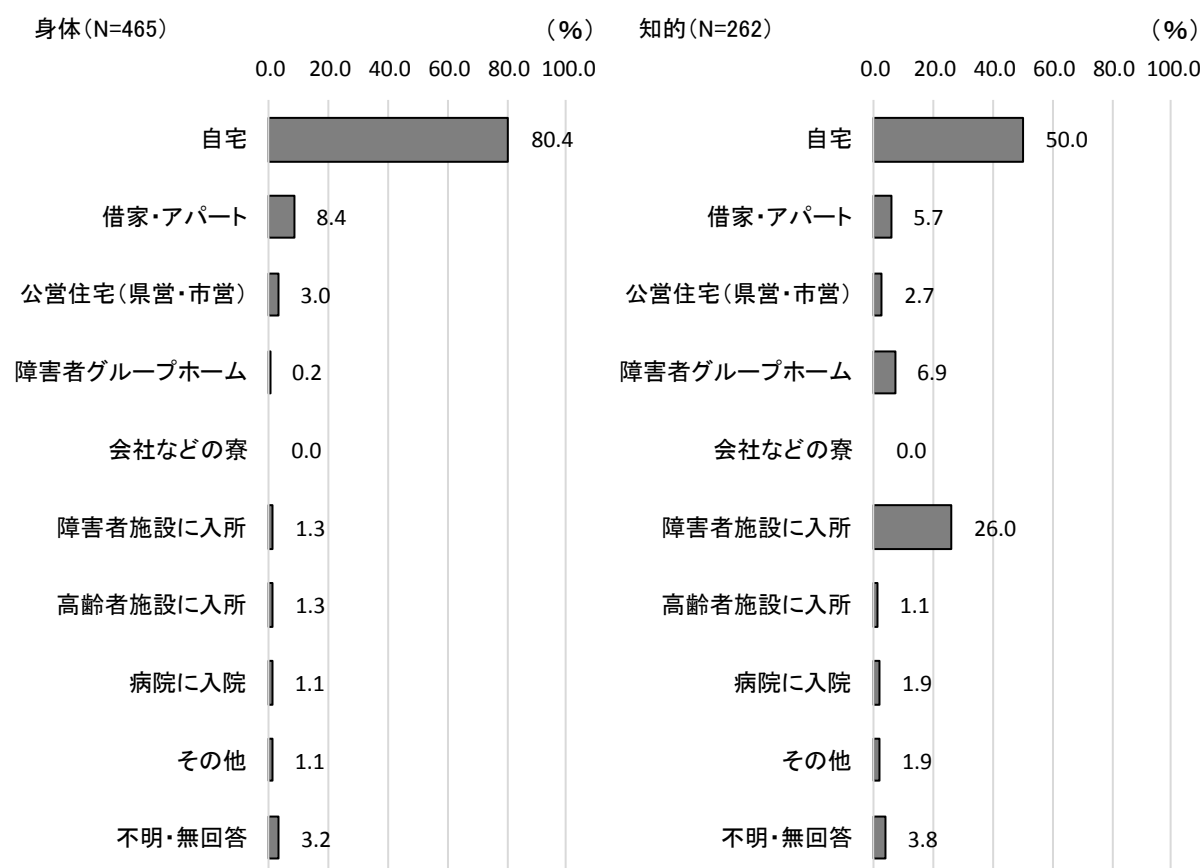
■知的

	件数	割合 (%)
区分1	3	2.9
区分2	6	5.7
区分3	6	5.7
区分4	12	11.4
区分5	19	18.1
区分6	43	41.0
非該当	4	3.8
不明・無回答	12	11.4
合計	105	100.0

生活支援について

問 10 あなたは、現在どこで暮らしていますか。

現在の住まいについて、身体障害者・知的障害者ともに「自宅」が最も高く、それぞれ 80.4%、50.0%となっています。次いで、身体障害者では「借家・アパート」が 8.4%、知的障害者では「障害者施設に入所」が 26.0%となっています。



■その他回答(身体)

内容	件数
親の家	2
兄の家	1
配偶者の家	1
その他	1

■その他回答(知的)

内容	件数
配偶者の家	2
学校の宿舎	2
児童養護施設	1

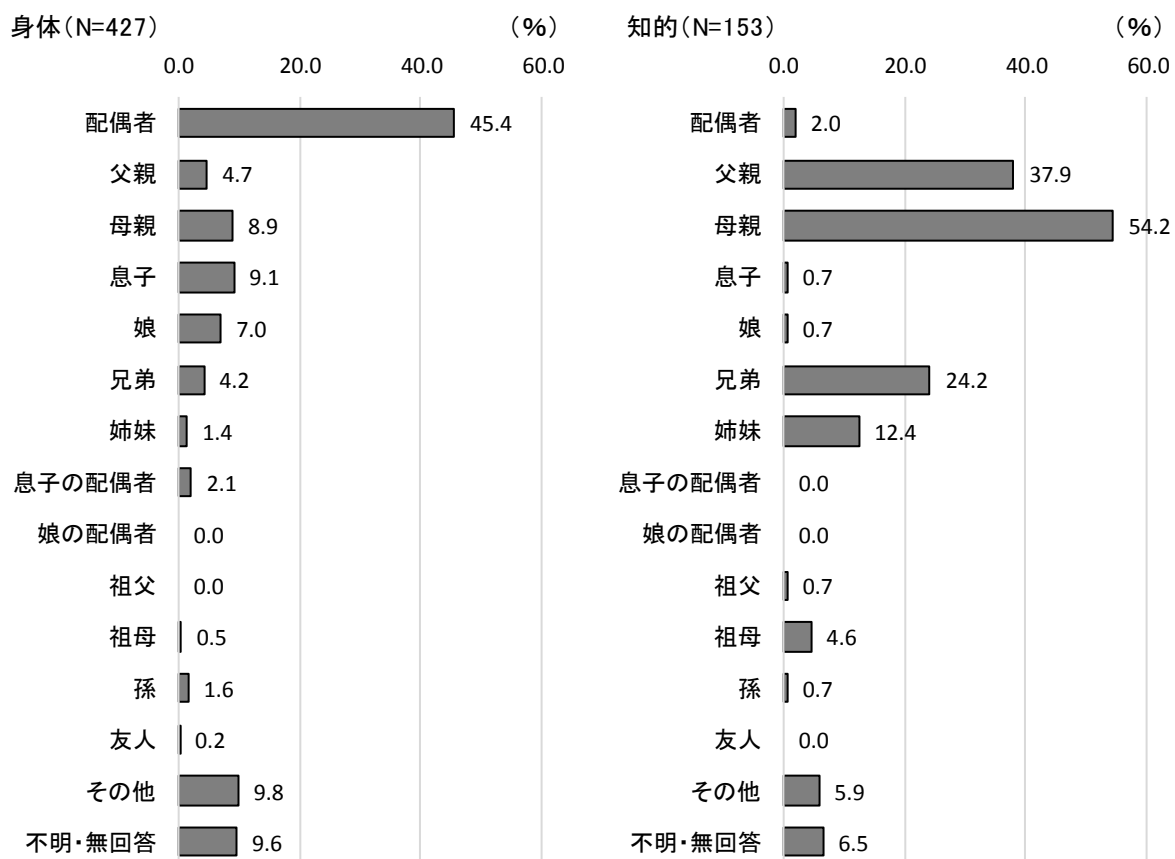
※問 10 で 1 ～ 3 と回答した方のみ限定

問 11 現在、あなたと一緒に暮らしている方はどなたですか。(複数回答)

現在、一緒に暮らしている方について、身体障害者では「配偶者」が 45.4%と最も高く、次いで「息子」が 9.1%となっています。

知的障害者では「母親」が 54.2%と最も高く、次いで「父親」が 37.9%となっています。

※分析分において、「その他」は除く



■その他回答(身体)

内容	件数
一人暮らし	33
おじ・おば	2
婚約者、彼氏・彼女	2
兄弟の配偶者	1
友人	1

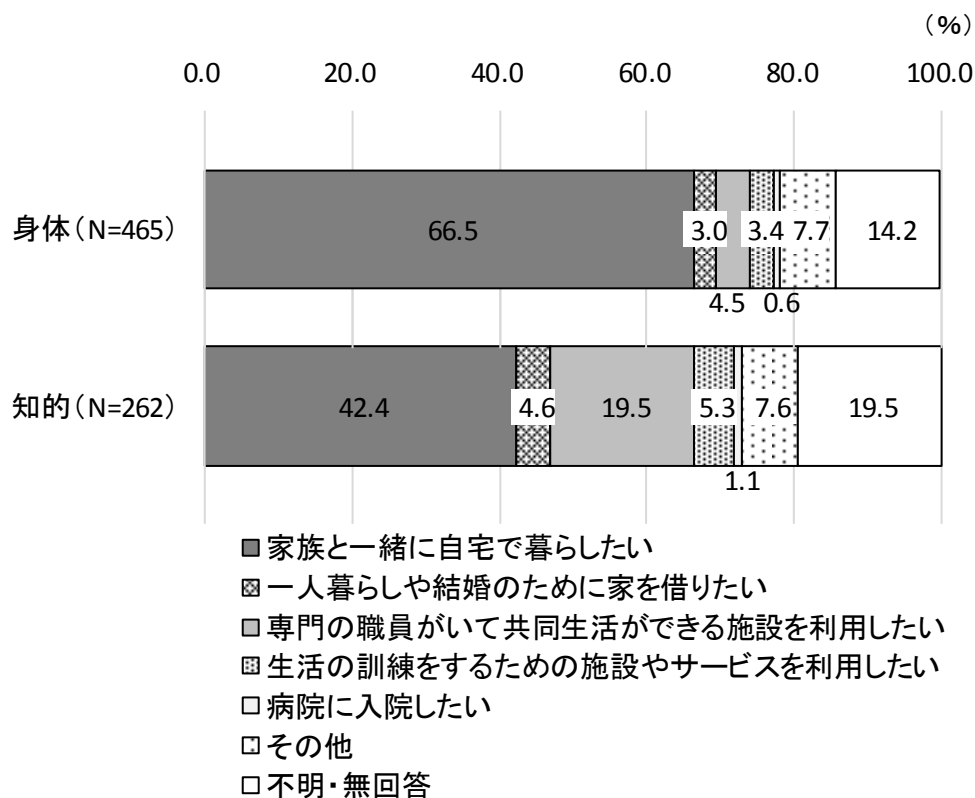
■その他回答(知的)

内容	件数
一人暮らし	7
兄弟	1
おじ・おば	1

問 12 次にあげる「生活の場」のうち、今後、暮らしたいと思うのはどれですか。

今後、暮らしたいと思う「生活の場」について、身体障害者・知的障害者ともに「家族と一緒に自宅で暮らしたい」が最も高く、それぞれ66.5%、42.4%となっています。次いで、身体障害者、知的障害者ともに「専門の職員がいて共同生活ができる施設を利用したい」がそれぞれ4.5%、19.5%となっています。

※分析分において、「その他」は除く



■その他回答(身体)

内容	件数
現在の生活を継続したい	8
一人暮らし(生活支援は必要)	3
自宅で生活	1
1人で自立した生活 (近くに子どもがいるのが理想)	1
老々介護のため、 1人になった時に考える	1
公営住宅に入居したい	1
その他	2

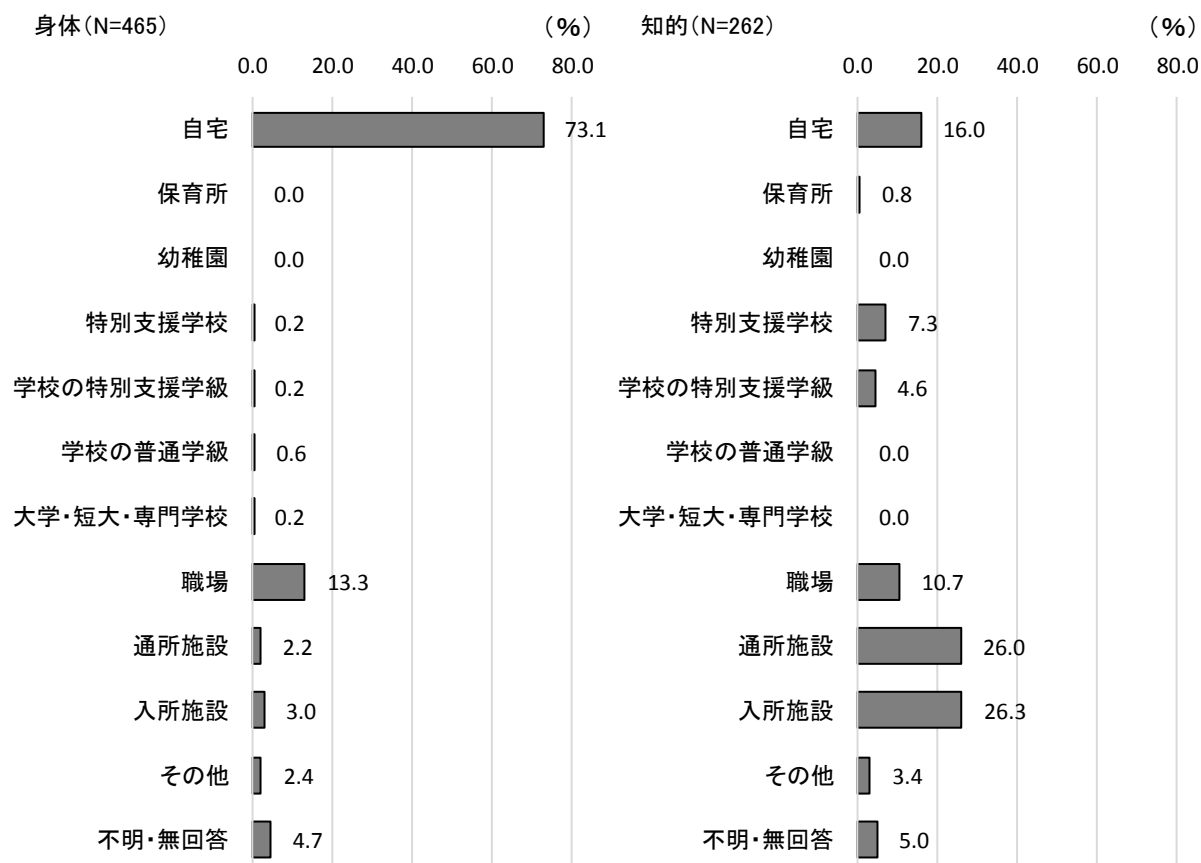
■その他回答(知的)

内容	件数
グループホーム	2
本人とのコミュニケーションが 取れないため不明	2
年齢が小さいため不明	1

問 13 平日の昼間を主にどこでお過ごしですか。

平日の昼間を過ごしている場所について、身体障害者では「自宅」が 73.1%と最も高く、次いで「職場」が 13.3%となっています。

知的障害者では「入所施設」が 26.3%と最も高く、次いで「通所施設」が 26.0%となっています。



■その他回答(身体)

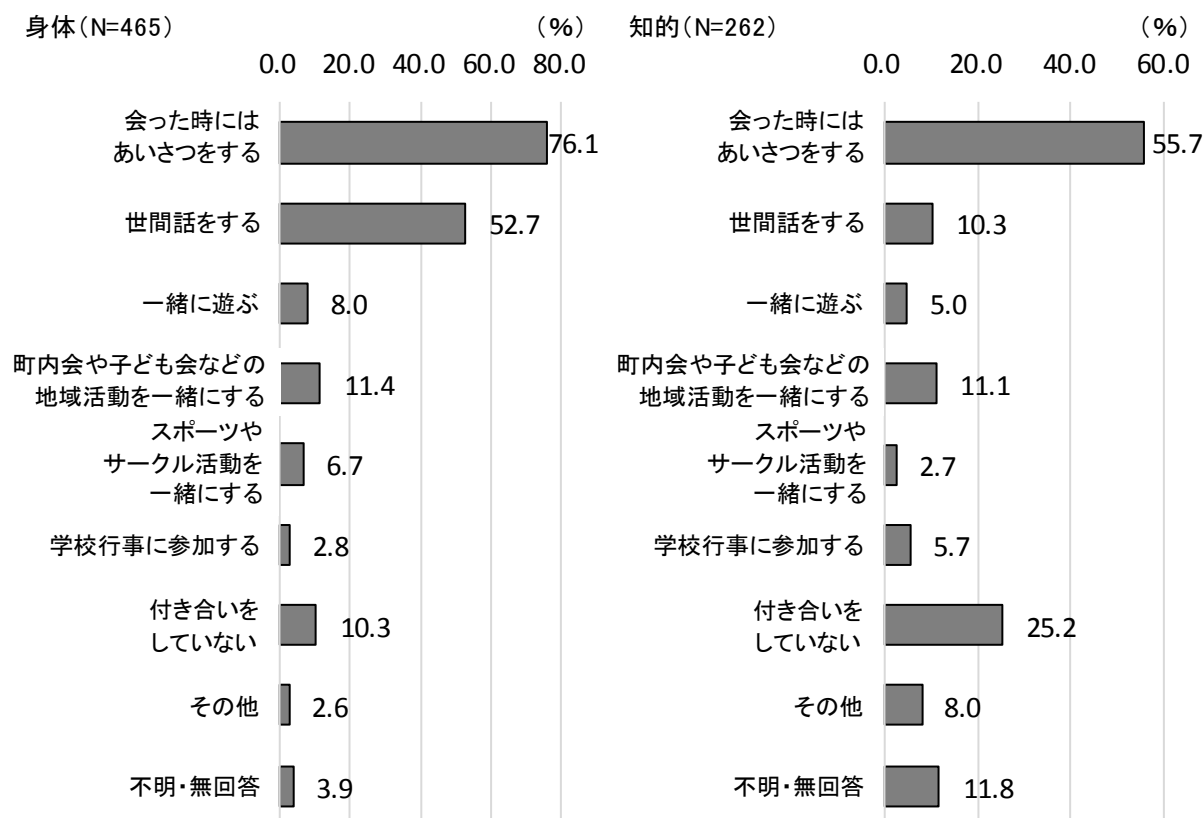
内容	件数
病院	3
職場	2
病院か自宅	2
施設	2
家族の家	1
その他	1

■その他回答(知的)

内容	件数
施設	4
作業所	2
病院	1

問 14 地域の人とどのようなお付き合いをされていますか。(複数回答)

地域の人との付き合いについて、身体障害者・知的障害者ともに「会った時にはあいさつをする」が最も高く、それぞれ76.1%、55.7%となっています。次いで、身体障害者では「世間話をする」が52.7%、知的障害者では「付き合いをしていない」が25.2%となっています。



■その他回答(身体)

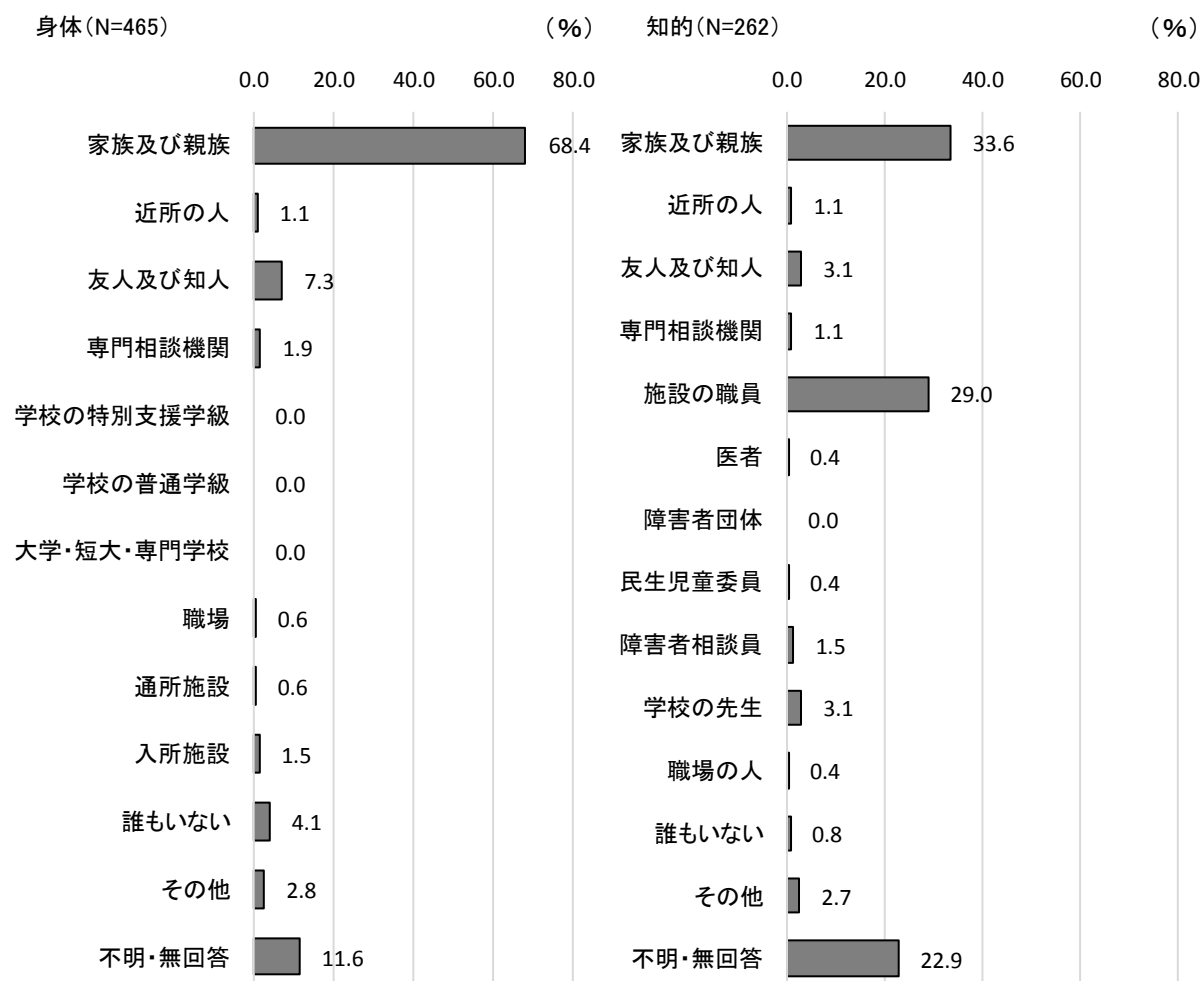
内容	件数
毎朝のラジオ体操	1
老人会に出席	1
公民館の趣味の会	1
友人が訪問してくれる	1
仕事上で付き合いがある	1
施設の行事に近所の方が参加しており、交流の機会になって	1
外出できない(しない)	3
その他	2

■その他回答(知的)

内容	件数
施設行事やボランティアの方と交流している	5
病院の行事に参加している	1
スーパーなどへの買い物の際	1
交流できない	3
その他	2

問 15 悩みや困ったことを相談するのはどなた・どこですか。

悩みや困ったことの相談相手・相談先について、身体障害者・知的障害者ともに「家族及び親族」が最も高く、それぞれ 68.4%、33.6%となっています。次いで、身体障害者では「友人及び知人」が 7.3%、知的障害者では「施設の職員」が 29.0%となっています。



■その他回答(身体)

内容	件数
話せない・一人で解決	4
家族	3
友人、彼氏・彼女	3
病院	1
職員	1
相談内容による	1

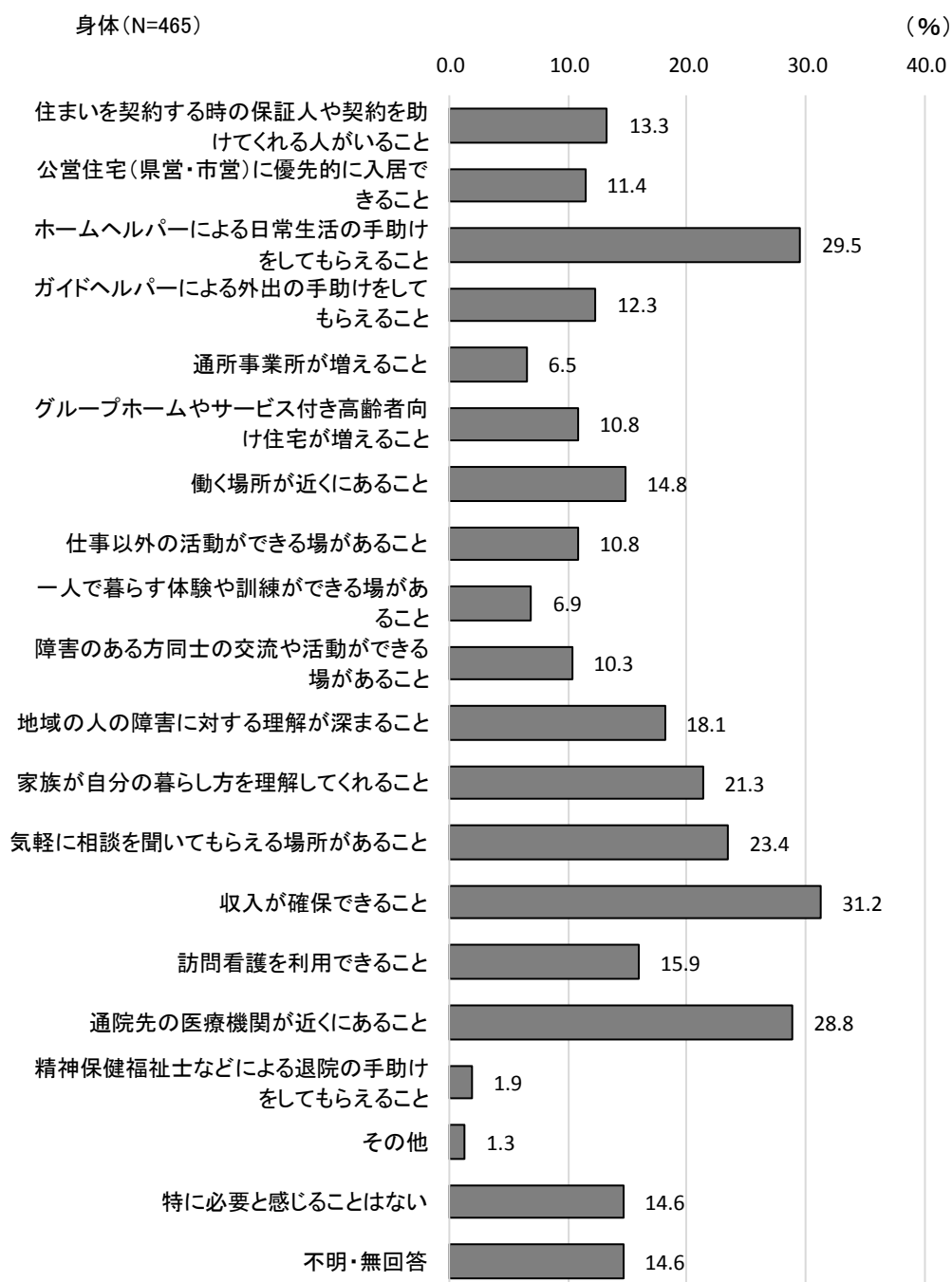
■その他回答(知的)

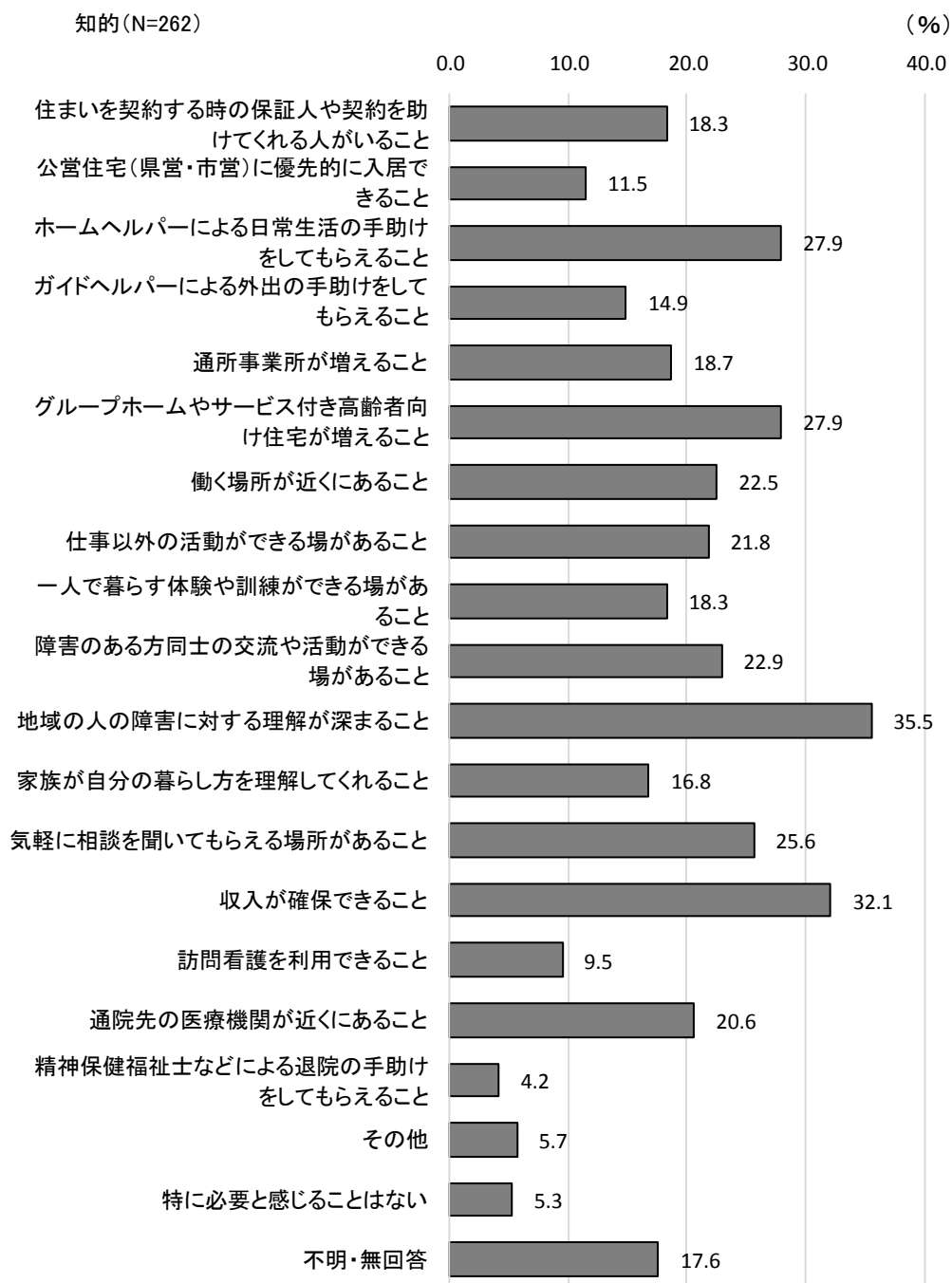
内容	件数
相談できない	2
わからない	1

問 16 地域で自立した生活をするにあたって、どのようなことが必要だと思いますか。
(複数回答)

地域で自立した生活をするにあたって必要なことについて、身体障害者では「収入が確保できること」が 31.2%と最も高く、次いで「ホームヘルパーによる日常生活の手助けをしてもらえること」が 29.5%となっています。

知的障害者では「地域の人々の障害に対する理解が深まること」が 35.5%と最も高く、次いで「収入が確保できること」が 32.1%となっています。





■その他回答(身体)

内容	件数
送迎サービス	1
わからない	3

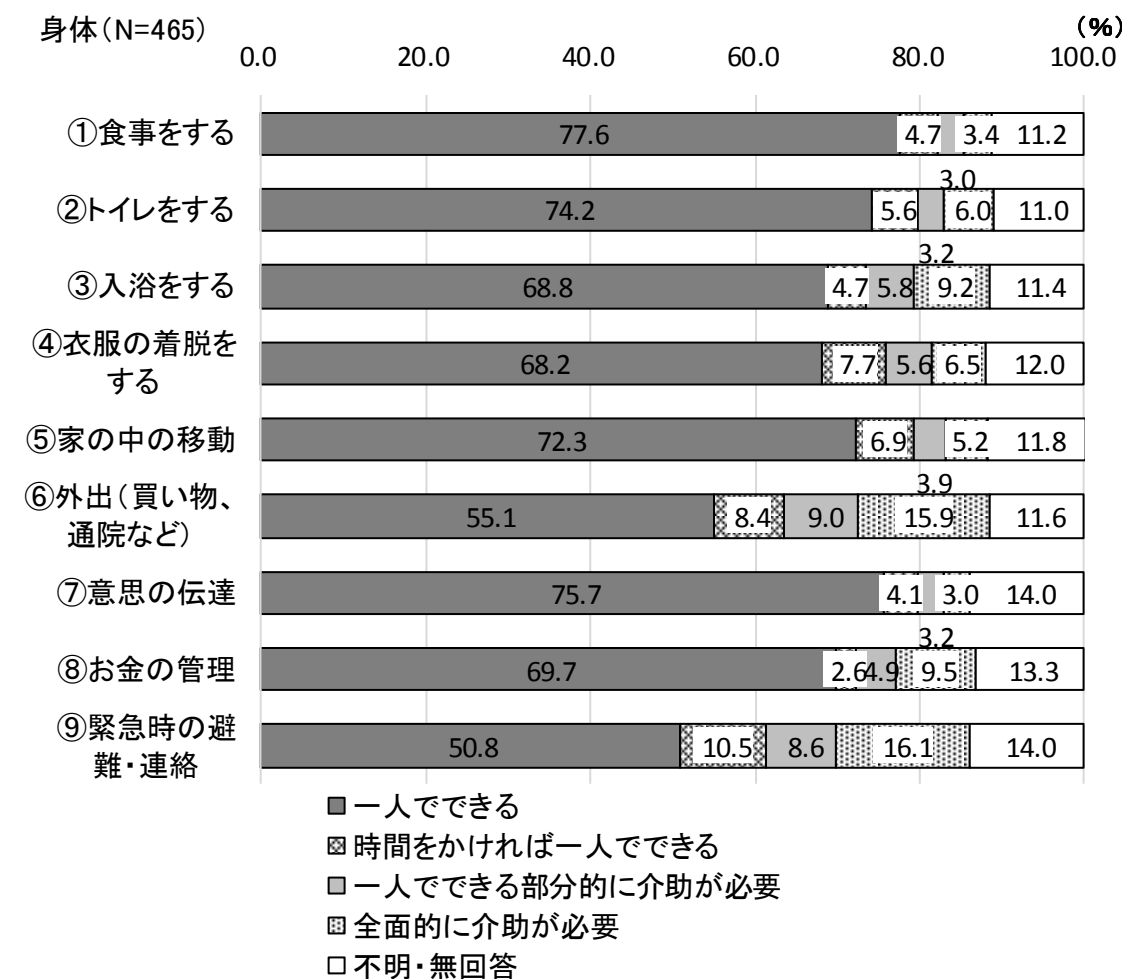
■その他回答(知的)

内容	件数
自立生活は考えられない	4
一般就労ができる職場が少ない	1
通院の手助けをしてもらえること	1
現時点では必要を感じない	1
わからない	3

問 17 (1) 次の動作をするのに介助が必要ですか。

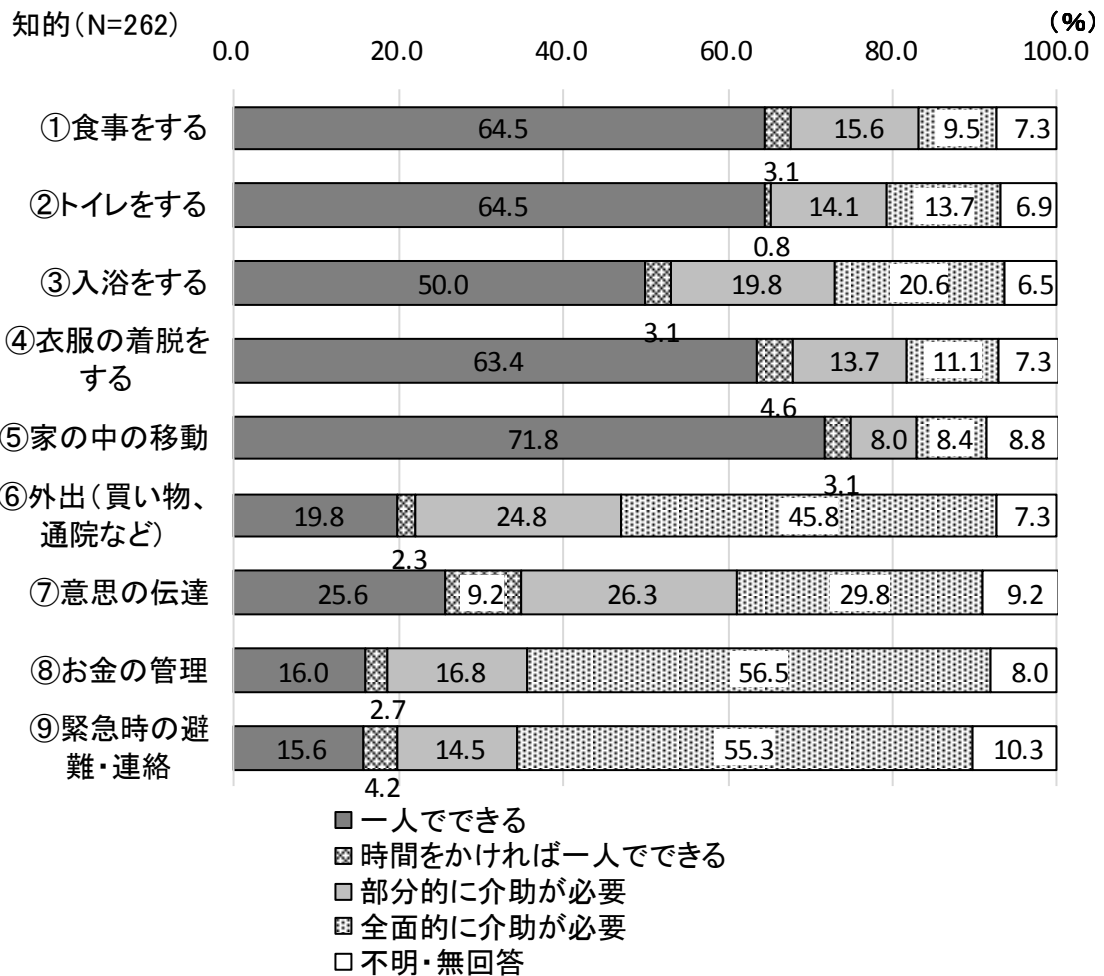
基本的な生活動作の介助の必要性について、身体障害者はいずれの項目においても「一人でできる」が最も高くなっています。一方、『⑥外出』『③入浴をする』『⑨緊急時の避難・連絡』では「全面的に介護が必要」の割合が比較的高く、それぞれ 15.9%、9.2%となっています。

また、知的障害者は『①食事をする』『②トイレをする』『③入浴をする』『④衣服の着脱をする』『⑤家の中の移動』では「一人でできる」がそれぞれ最も高くなっています。一方、『⑥外出』『⑦意思の伝達』『⑧お金の管理』『⑨緊急時の避難・連絡』では「全面的に介助が必要」が最も高く、それぞれ 45.8%、29.8%、56.5%、55.3%となっています。



■ その他特に介助が必要な生活動作（身体）

内容	件数
両手を使う動作	2
手すりなどがあれば1人でできる	2
通院時の移動	2
起き上がる動作	2
大きな(重い)荷物の移動	2
跨ぐ動作や階段の昇降	1
書類を読んでもらうこと	1
災害時に支援が必要	1
薬の管理	1
家の中の掃除など	1
(免許がないため)車での移動	1



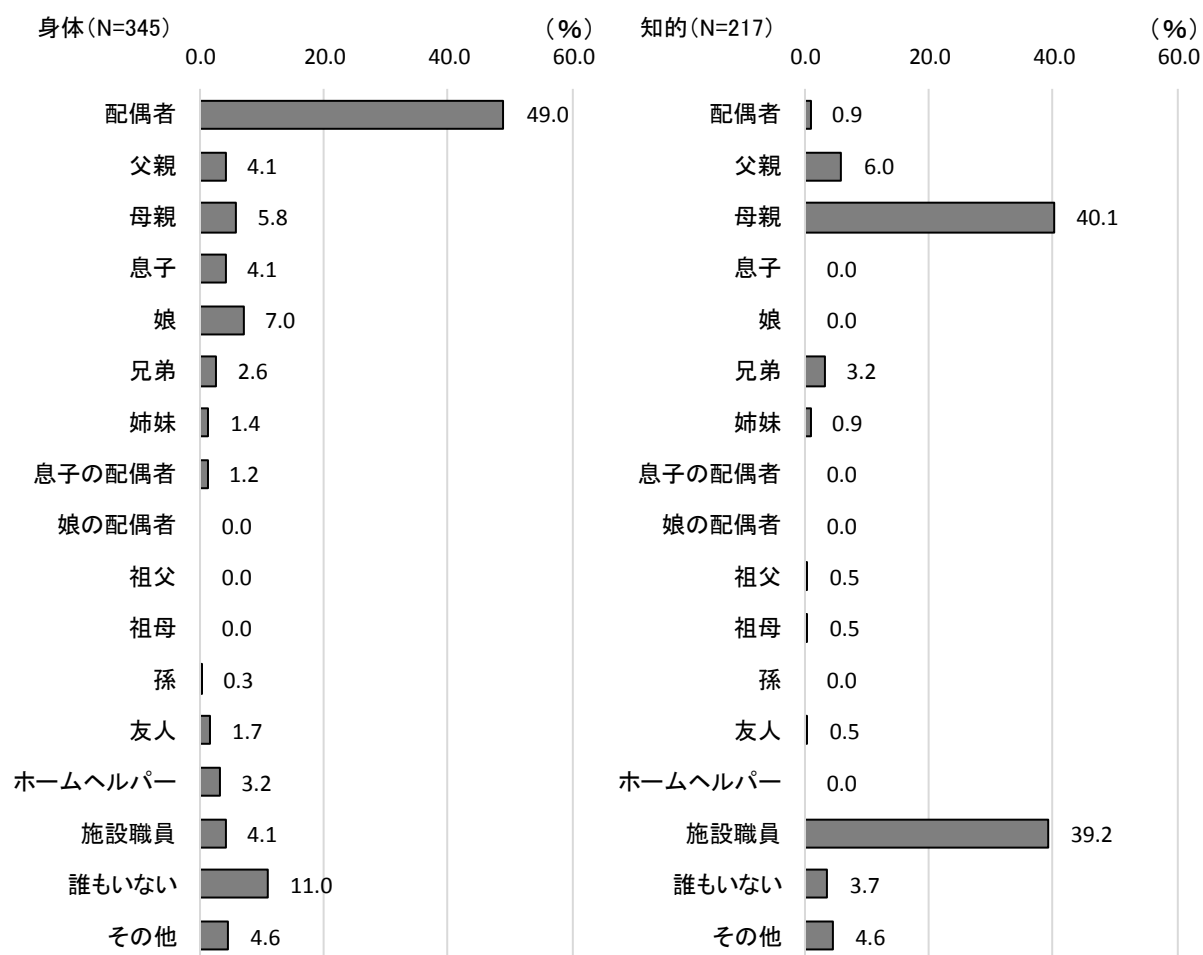
■ その他特に介助が必要な生活動作 (知的)

内容	件数
車からの乗り降り	2
ほとんど全て	1
発作時	1
食事の方法	1
入浴の方法	1

(2) 主な介助者はどなたですか。 ※不明・無回答は除く

主な介助者については、身体障害者では「配偶者」が49.0%と最も高く、次いで「誰もいない」が11.0%となっています。

知的障害者では「母親」が40.1%と最も高く、次いで「施設職員」が39.2%となっています。



■その他回答(身体)

内容	件数
必要ない	9
病院の職員	2
おい	1
彼氏・彼女	1
兄弟の配偶者	1
市の職員	1

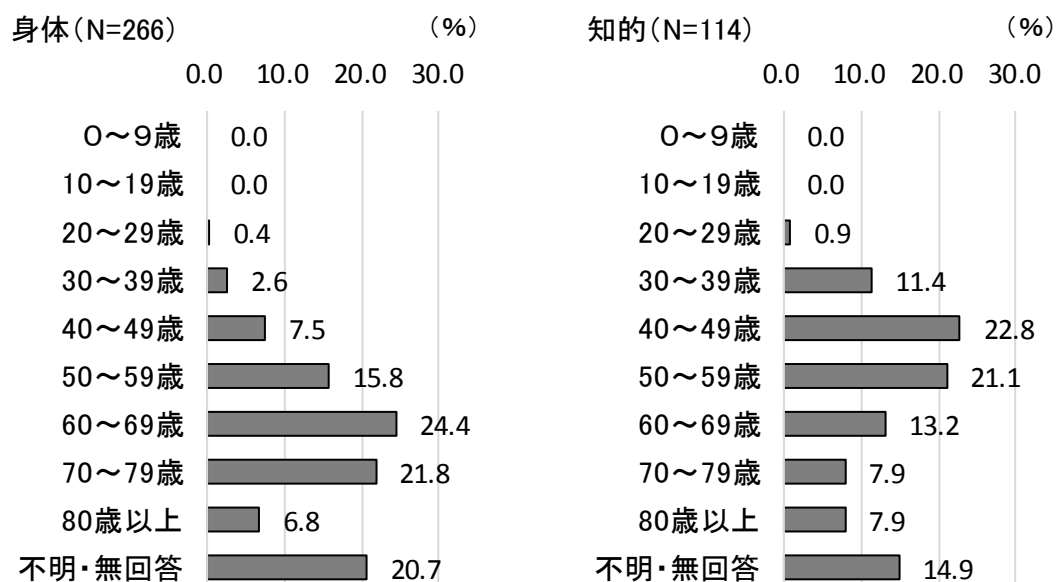
■その他回答(知的)

内容	件数
必要ない	3
兄弟の配偶者	1
病院の職員	1
施設の職員	1
1つに決められない	1

(3) 主な介助者の方の年齢は、何歳ですか。＜平成 29 年 7 月 1 日現在＞

主な介助者の年齢について、身体障害者では「60～69 歳」が 24.4%と最も高く、次いで「70～79 歳」が 21.8%となっています。

知的障害者では「40～49 歳」が 22.8%と最も高く、次いで「50～59 歳」が 21.1%となっています。



福祉サービスについて

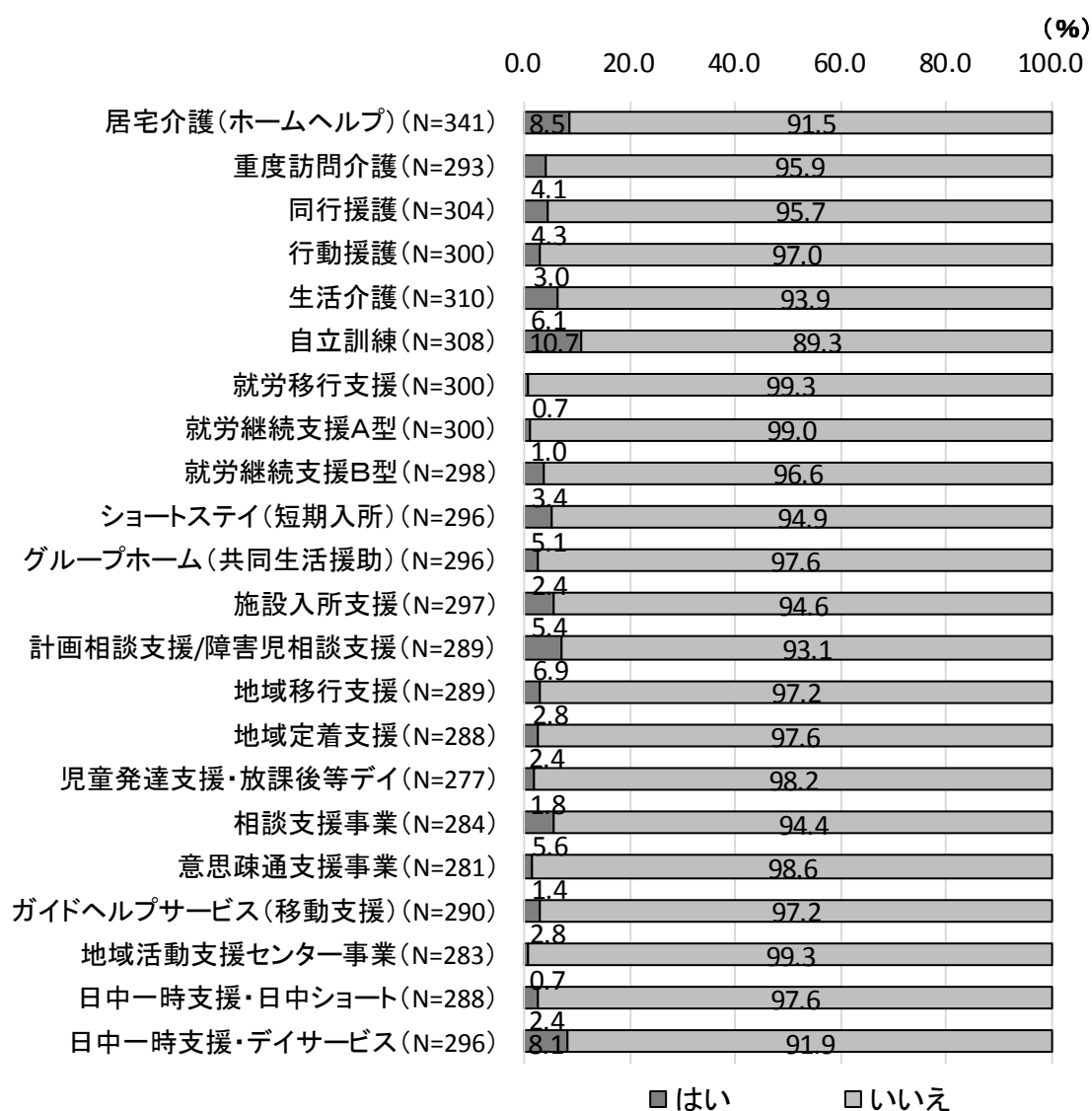
問 18 各種サービスを利用していますか、また今後利用したいですか。

※不明・無回答は除く

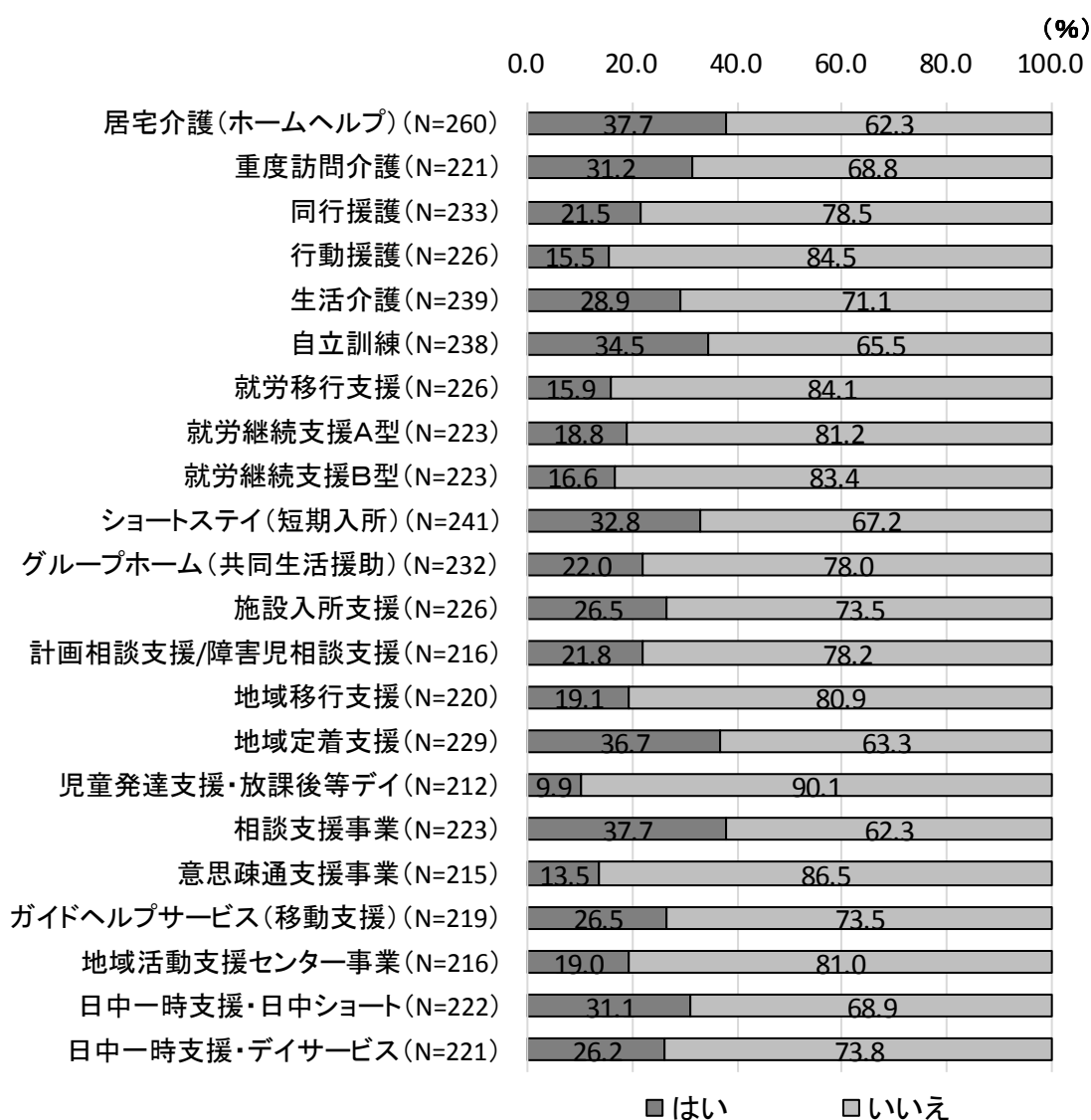
各種サービスについて、身体障害者の利用状況は「自立訓練」が 10.7%と最も高く、次いで「居宅介護」が 8.5%となっています。また、利用意向は「居宅介護」「相談支援事業」が最も高く、ともに 37.7%となっています。

知的障害者の利用状況は「計画相談支援/障害児相談支援」が 58.5%と最も高く、次いで「生活介護」が 37.9%となっています。また、利用意向は「計画相談支援/障害児相談支援」が 65.3%と最も高く、次いで「相談支援事業」が 62.5%となっています。

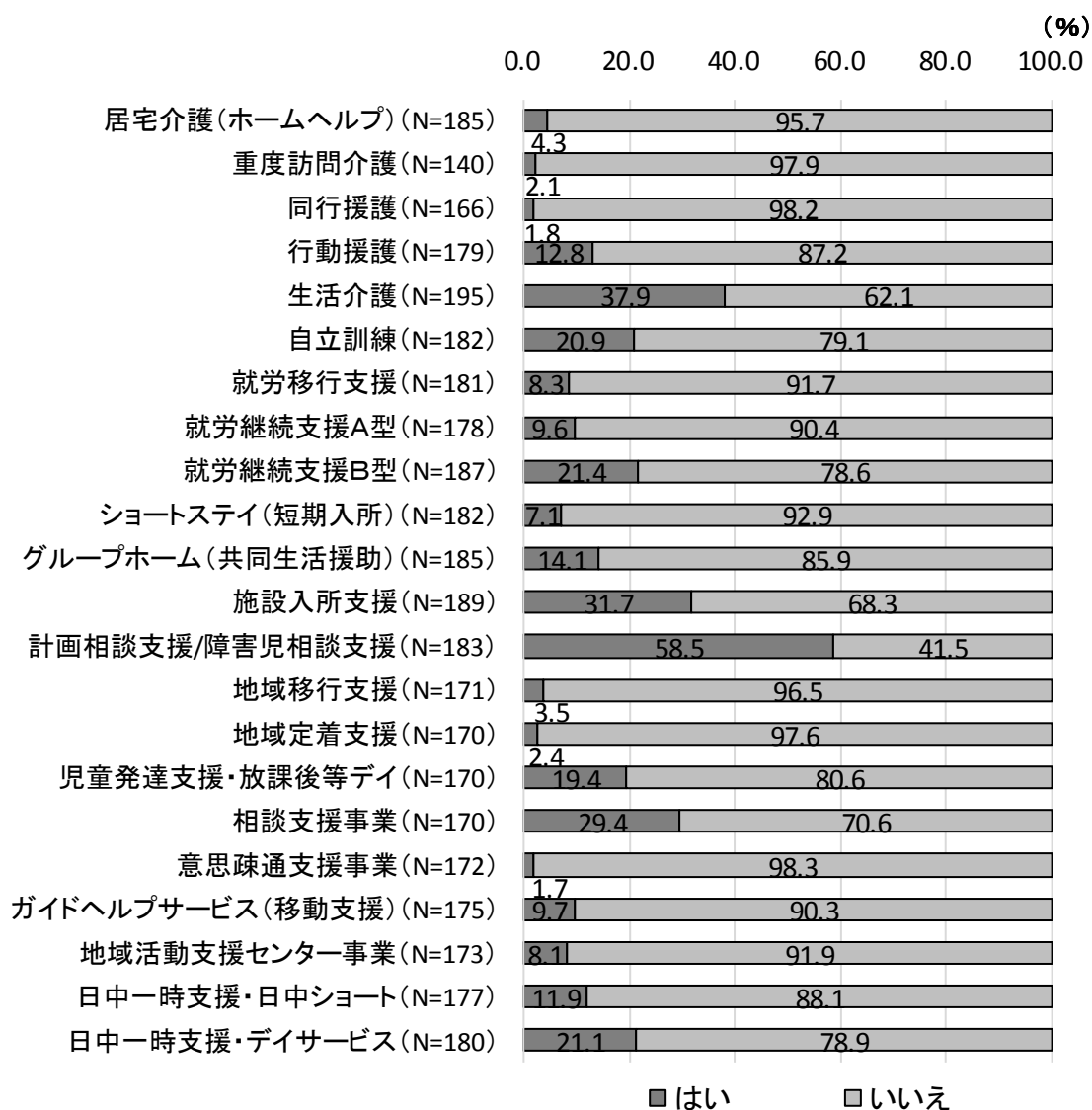
■身体：利用状況



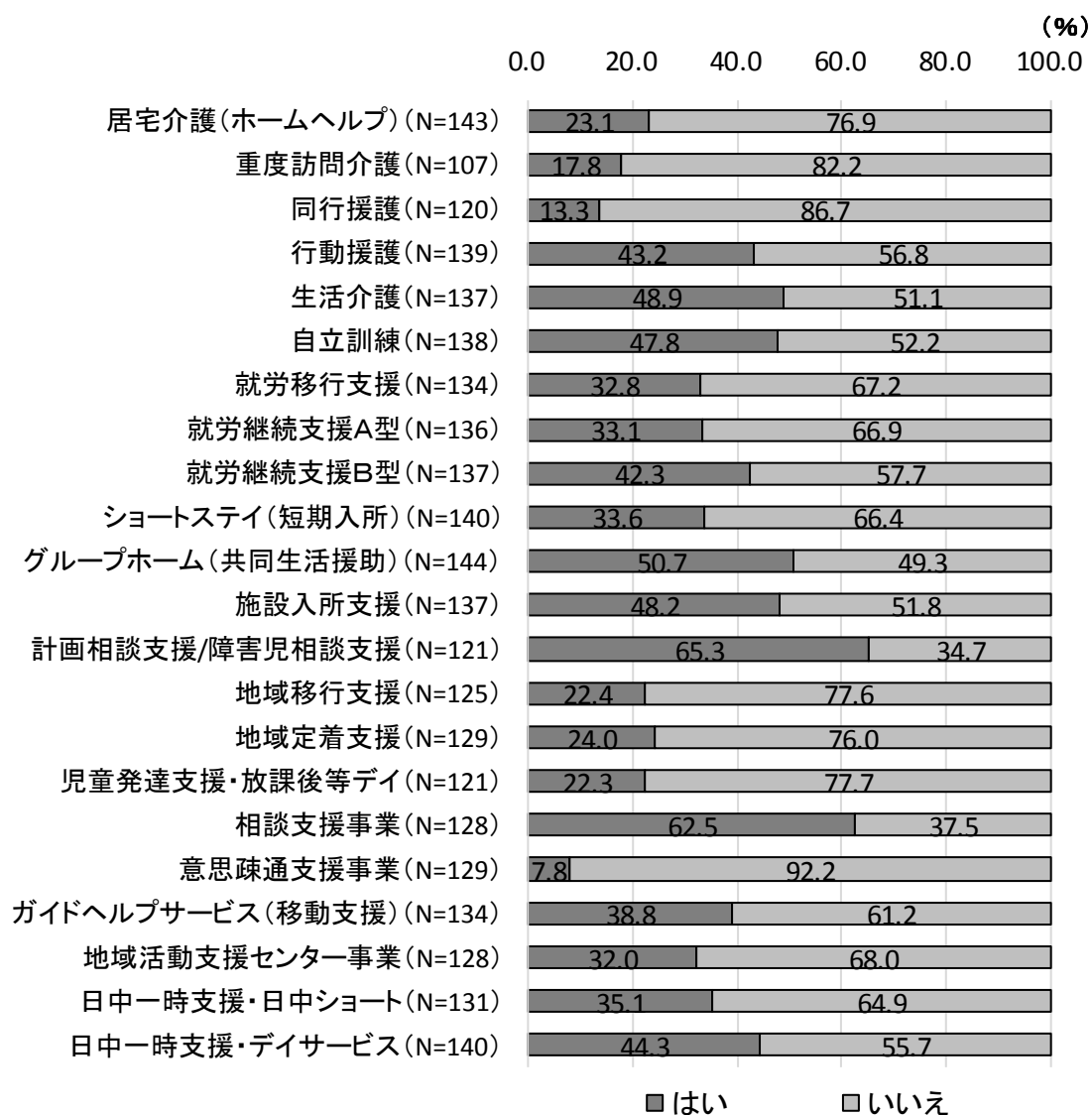
■身体：利用意向



■知的：利用状況



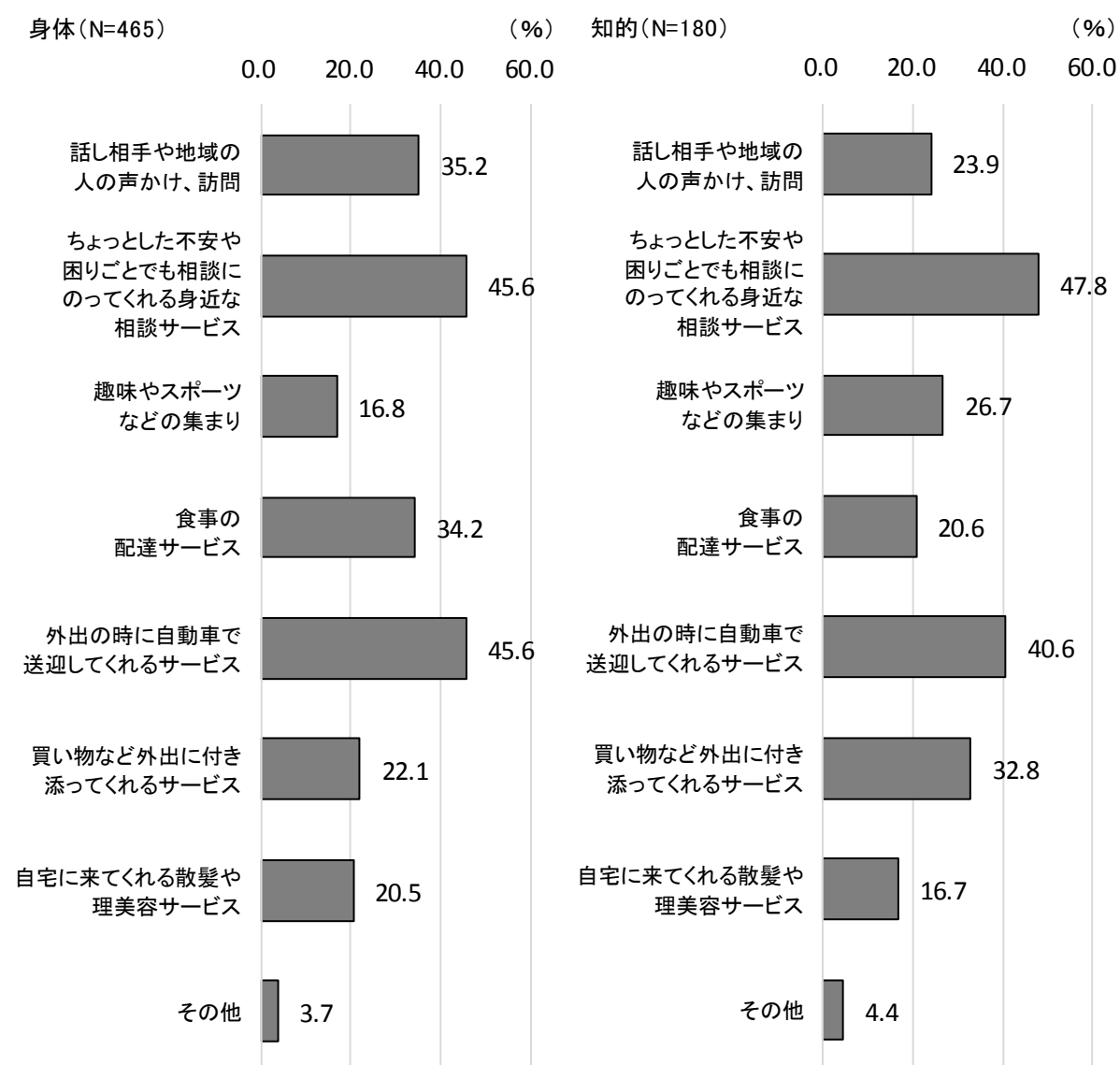
■知的：利用意向



問 19 問 18 にあげた福祉サービス以外で、特にどのような支援が必要だと思いますか。
(複数回答) ※不明・無回答は除く

問 18 のサービス以外で、特に必要な支援について、身体障害者では「ちょっとした不安や困りごとでも相談にのってくれる身近な相談サービス」「外出の時に自動車で送迎してくれるサービス」が最も高く、ともに 45.6%となっています。

知的障害者では「ちょっとした不安や困りごとでも相談にのってくれる身近な相談サービス」が 47.8%と最も高く、次いで「外出の時に自動車で送迎してくれるサービス」が 40.6%となっています。



■その他回答(身体)

内容	件数
病院への送迎	1
症状が悪くなると意思疎通ができなくなる	1
今のところ必要ない	3

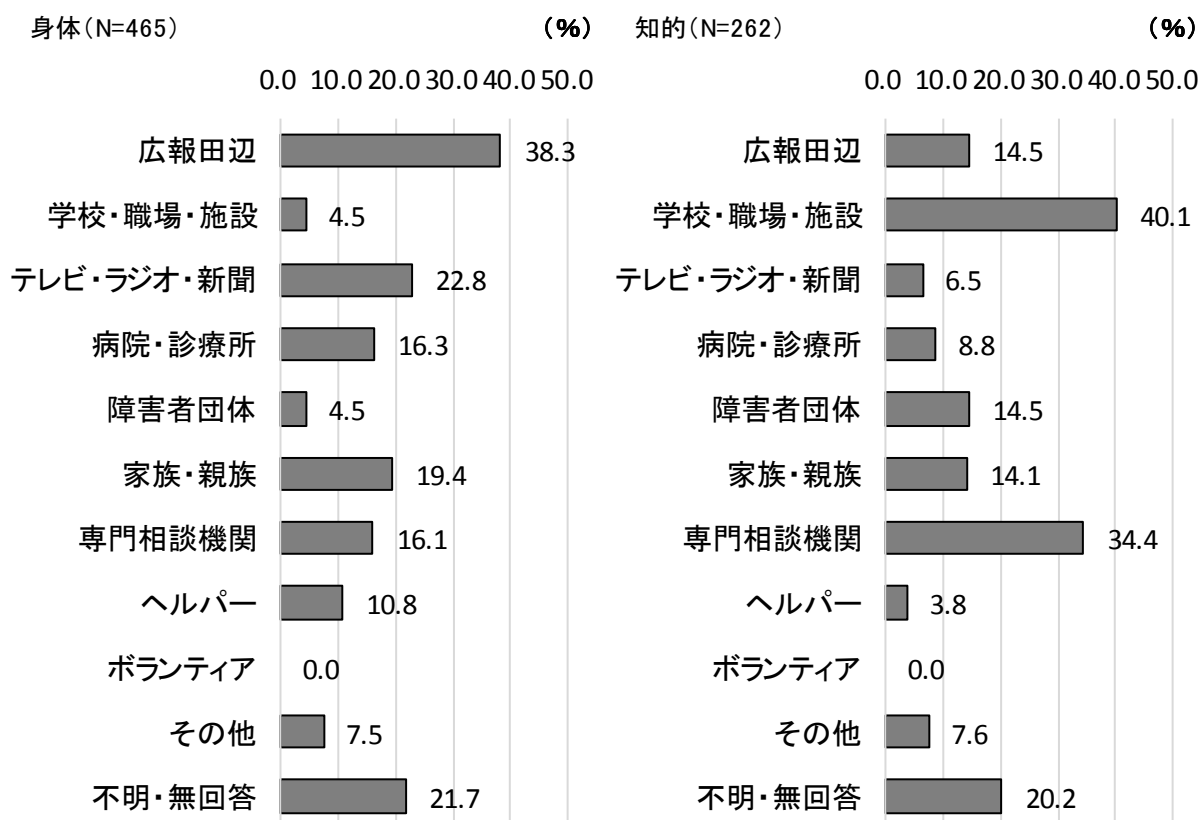
■その他回答(知的)

内容	件数
今のところ必要ない	1
わからない	1

問 20 現在、サービスに関する情報をどこから入手していますか。(複数回答)

現在、サービスに関する情報の入手先について、身体障害者では「広報田辺」が 38.3%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞」が 22.8%となっています。

知的障害者では「学校・職場・施設」が 40.1%と最も高く、次いで「専門相談機関」が 34.4%となっています。



■その他回答(身体)

内容	件数
インターネット	11
入手していない	6
ケアマネジャー	5
友人・知人	4
看護師・訪問看護師	3
市役所	1
作業所の仲間同士	1
近所の集まりの場	1
意識していない	1

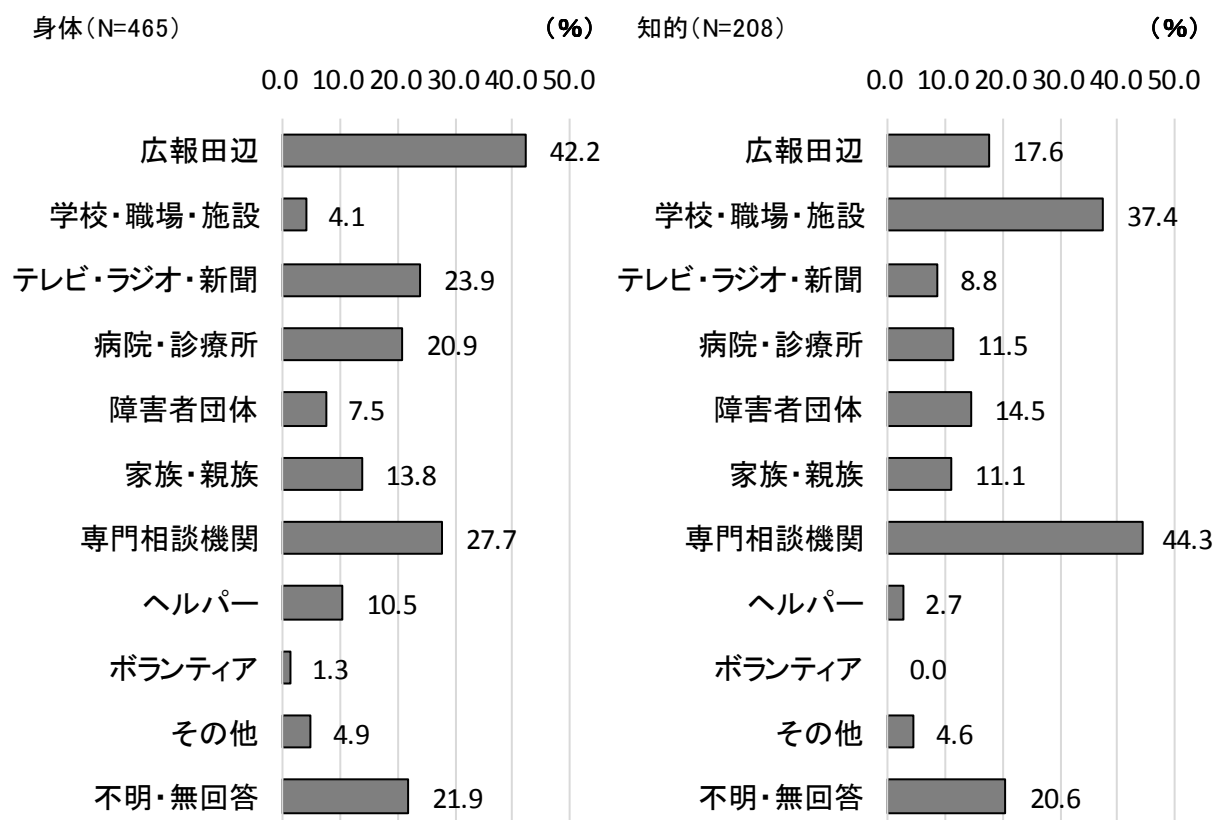
■その他回答(知的)

内容	件数
施設職員	7
保護者同士	3
友人	2
作業所	1
インターネット	1
広告・新聞	1
わからない	1

問 21 今後、サービスに関する情報をどこから入手したいと思いますか。(複数回答)

今後、サービスに関する情報の希望する入手先について、身体障害者では「広報田辺」が 42.2%と最も高く、次いで「専門相談機関」が 27.7%となっています。

知的障害者では「専門相談機関」が 44.3%と最も高く、次いで「学校・職場・施設」が 37.4%となっています。



■その他回答(身体)

内容	件数
インターネット	8
ケアマネジャー	3
わからないので情報提供してほしい	1
わからない	1
直接本人へ情報提供	1
市役所	1
困った時にアドバイスしてもらえる場所の設置	1

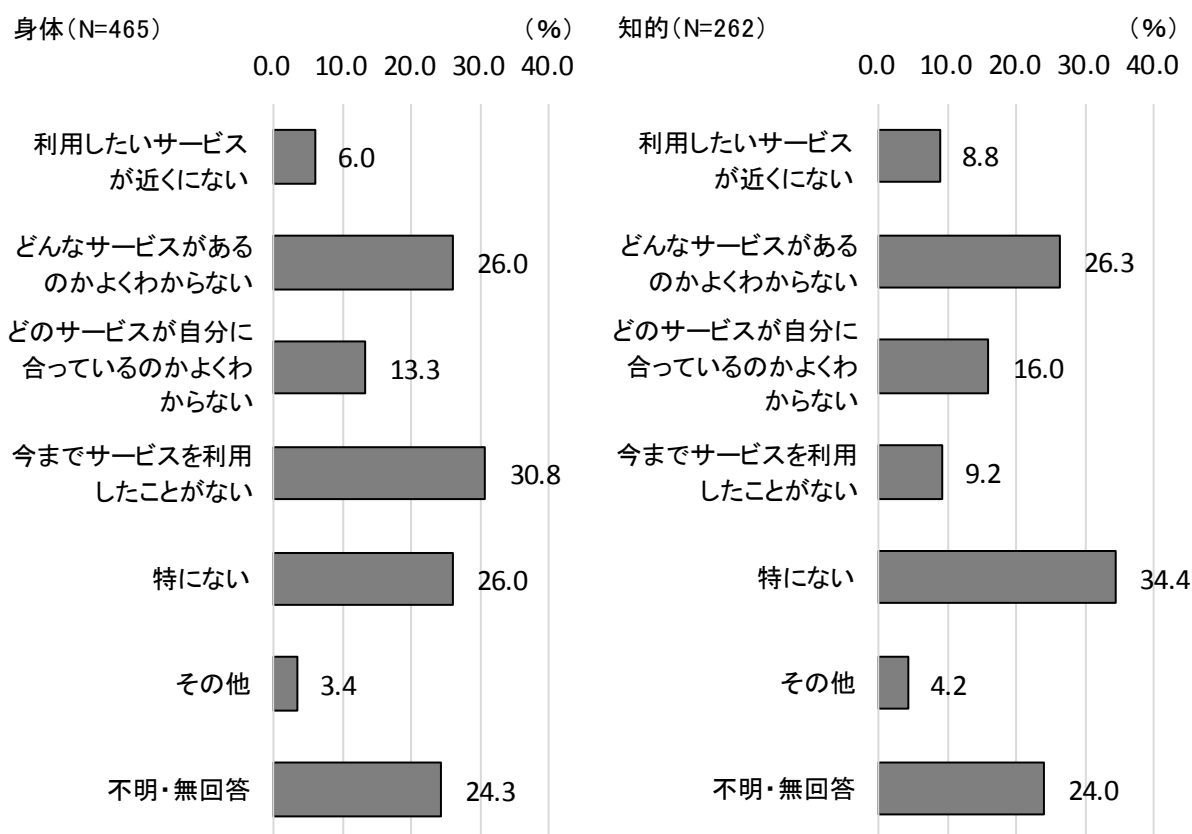
■その他回答(知的)

内容	件数
施設職員	4
友人	2
インターネット	1
わからない	3

問 22 サービス利用について不満や困ったことはありますか。(複数回答)

サービス利用で不満や困ったことについて、身体障害者では「今までサービスを利用したことがない」が30.8%と最も高く、次いで「どんなサービスがあるのかよくわからない」「特にない」がともに26.0%となっています。

知的障害者では「特にない」が34.4%と最も高く、次いで「どんなサービスがあるのかよくわからない」が26.3%となっています。



■その他回答(身体)

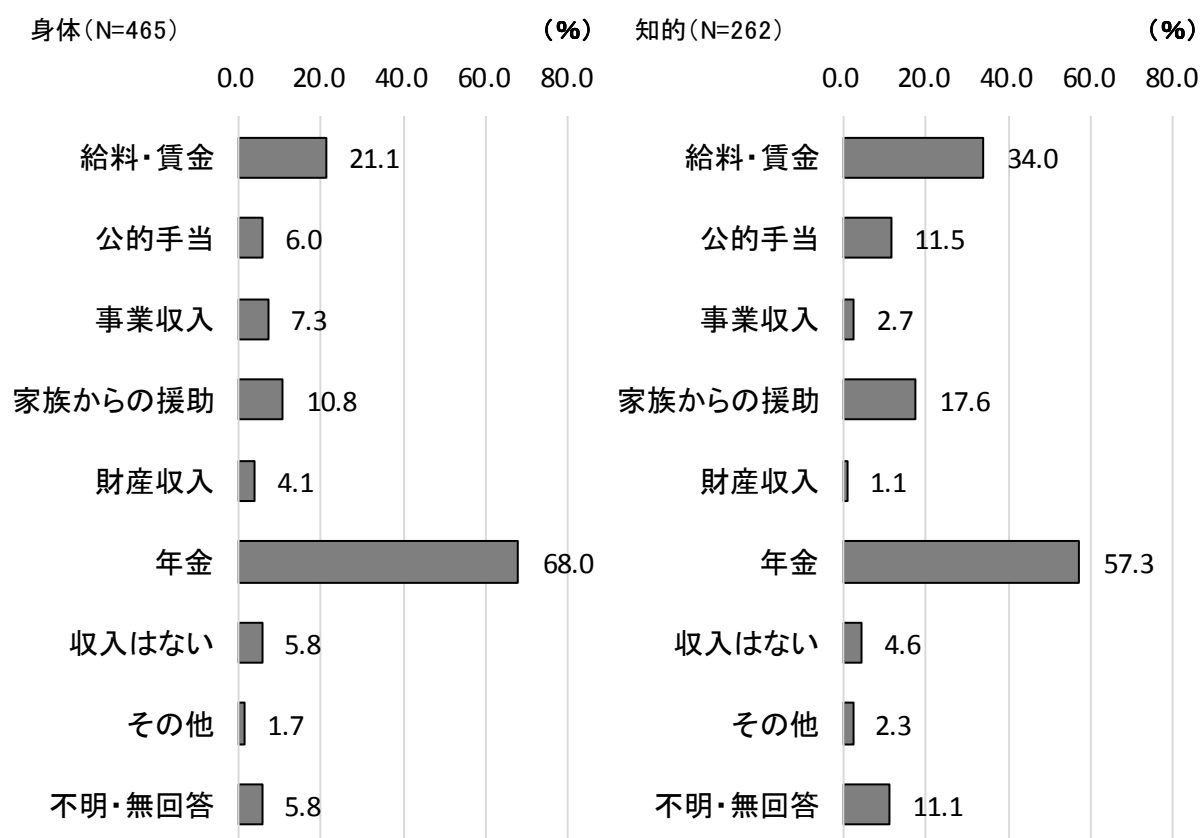
内容	件数
サービスを必要としていない	5
外出時の送迎	1
毎年の手続きが煩わしい	1
利用できるサービスがわかりにくい	1
ヘルパーの時間が短い	1

■その他回答(知的)

内容	件数
デイサービスの定員や利用可能回数	2
急な用事に対応できない	1
本人が利用したがない	1
楽しい日中活動があると良い	1
わからない	1

問 23 あなたの世帯の主な収入源は何ですか。(複数回答)

世帯の主な収入源について、身体障害者・知的障害者ともに「年金」が最も高く、それぞれ 68.0%、57.3%となっています。次いで「給料・賃金」がそれぞれ 21.1%、34.0%となっています。



■その他回答(身体)

内容	件数
仕事での収入	2
障害年金	1
貯金	1
その他	2

■その他回答(知的)

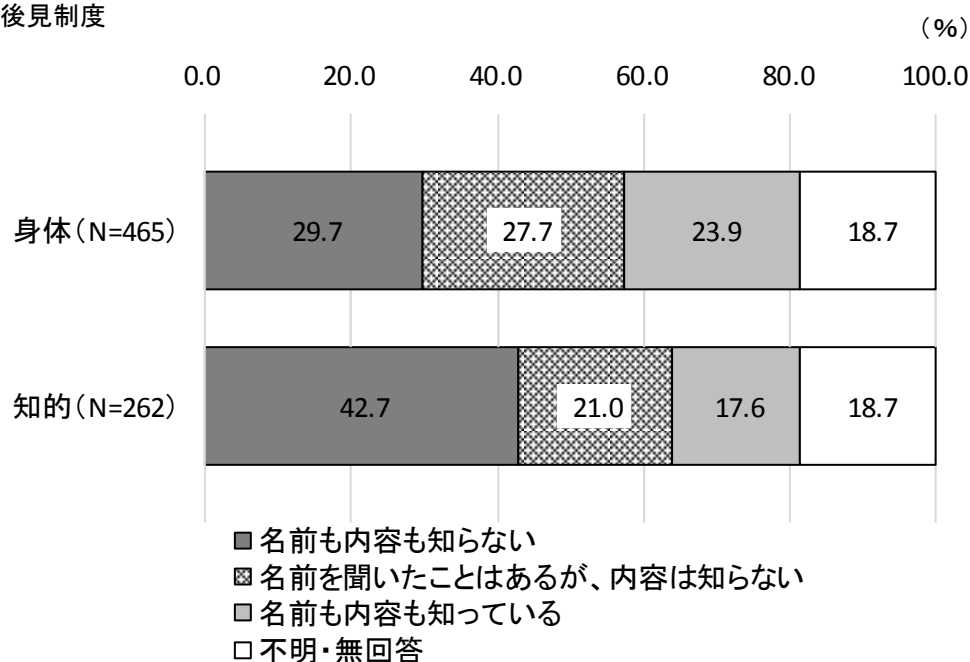
内容	件数
家族の収入(扶養)	4
わからない	1

問 24 あなたは、成年後見制度・日常生活自立支援事業を知っていますか。

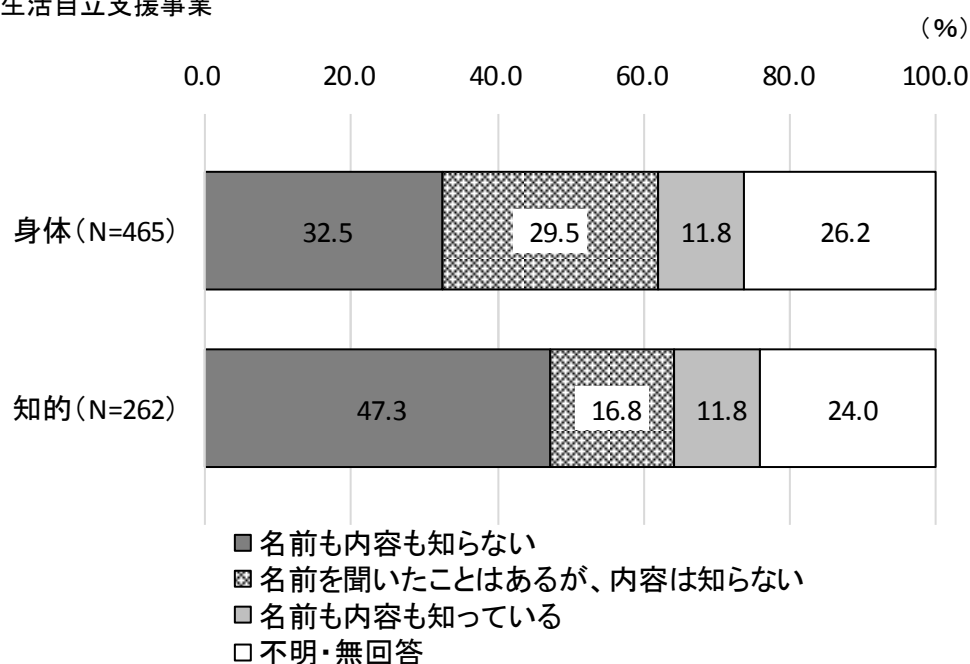
『成年後見制度』について、身体障害者では「名前も内容も知らない」が 29.7%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 27.7%、「名前も内容も知っている」が 23.9%となっています。また、知的障害者では、「名前も内容も知らない」が 42.7%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 21.0%、「名前も内容も知っている」が 17.6%となっています。

『日常生活自立支援事業』について、身体障害者では「名前も内容も知らない」が 32.5%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 29.5%、「名前も内容も知っている」が 11.8%となっています。また、知的障害者では、「名前も内容も知らない」が 47.3%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 16.8%、「名前も内容も知っている」が 11.8%となっています。

■ 成年後見制度



■ 日常生活自立支援事業

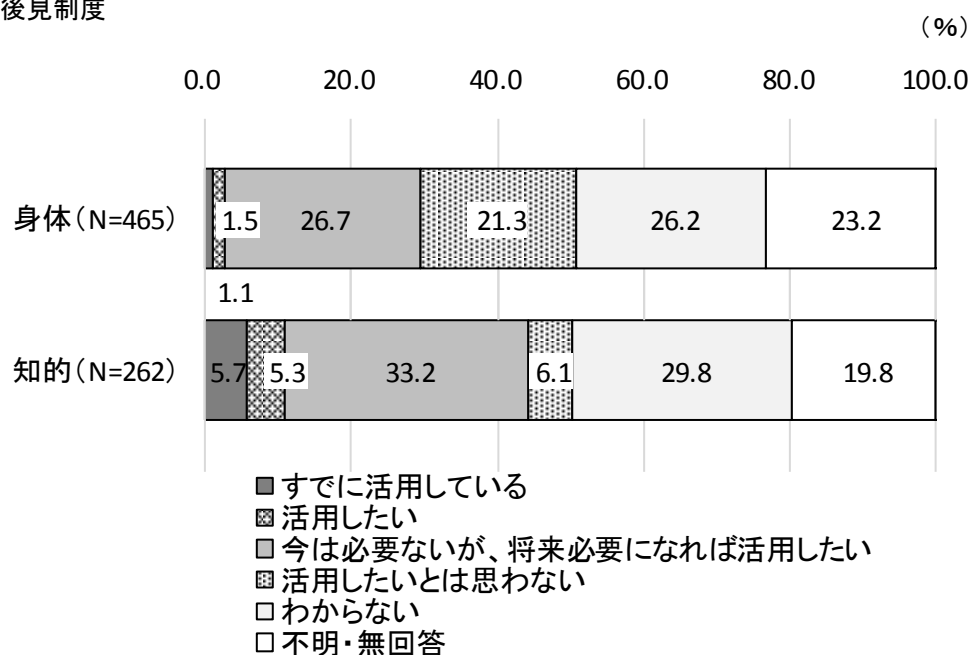


問 25 あなたは、成年後見制度・日常生活自立支援事業を活用したいと思いますか。

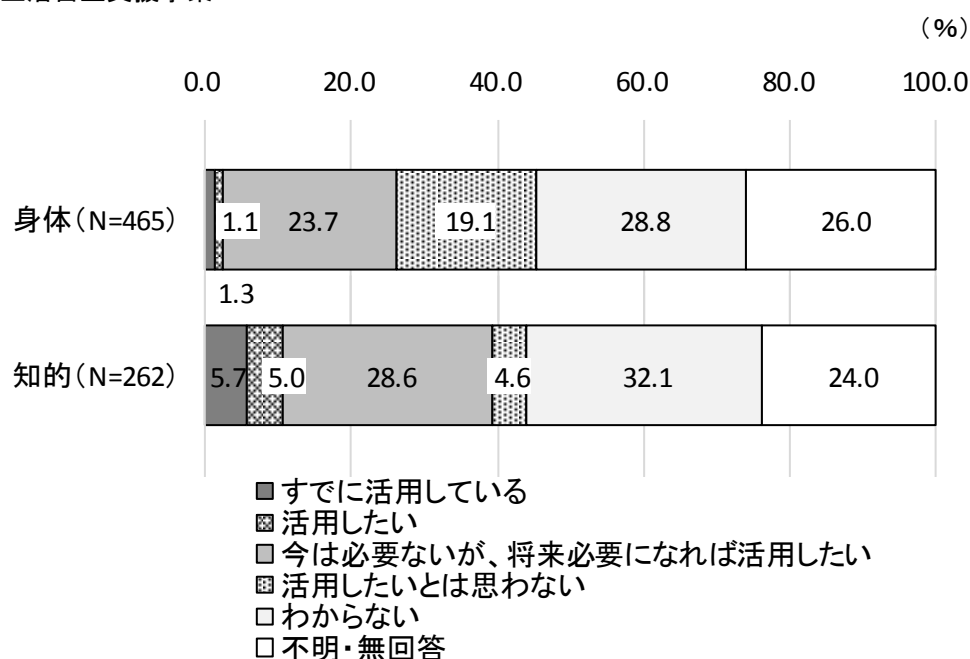
『成年後見制度に』ついて、身体障害者では「今は必要ないが、将来必要になれば活用したい」が 26.7%、次いで「わからない」が 26.2%、「活用したいとは思わない」が 21.3%となっています。また、知的障害者では、「今は必要ないが、将来必要になれば活用したい」が 33.2%、次いで「わからない」が 29.8%となっています。

『日常生活自立支援事業』について、身体障害者では「わからない」が 28.8%、次いで「今は必要ないが、将来必要になれば活用したい」が 23.7%、「活用したいとは思わない」が 19.1%となっています。また、知的障害者では、「わからない」が 32.1%、次いで「今は必要ないが、将来必要になれば活用したい」が 28.6%となっています。

■成年後見制度



■日常生活自立支援事業

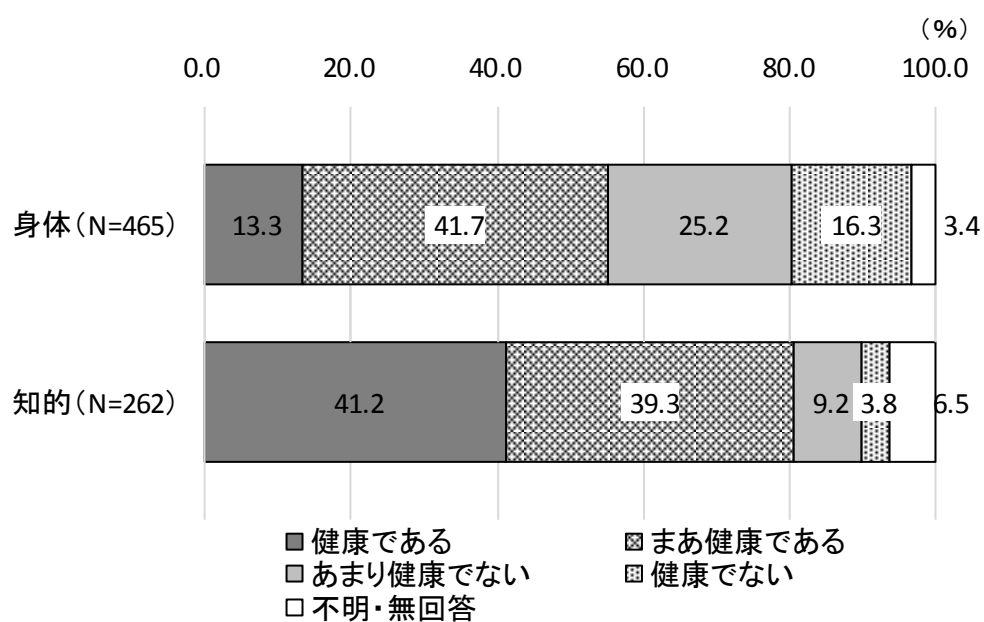


医療・保健について

問 26 あなたの健康状態はいかがですか。

健康状態について、身体障害者では「まあ健康である」が 41.7%と最も高く、次いで「あまり健康でない」が 25.2%、「健康でない」が 16.3%、「健康である」が 13.3%となっています。

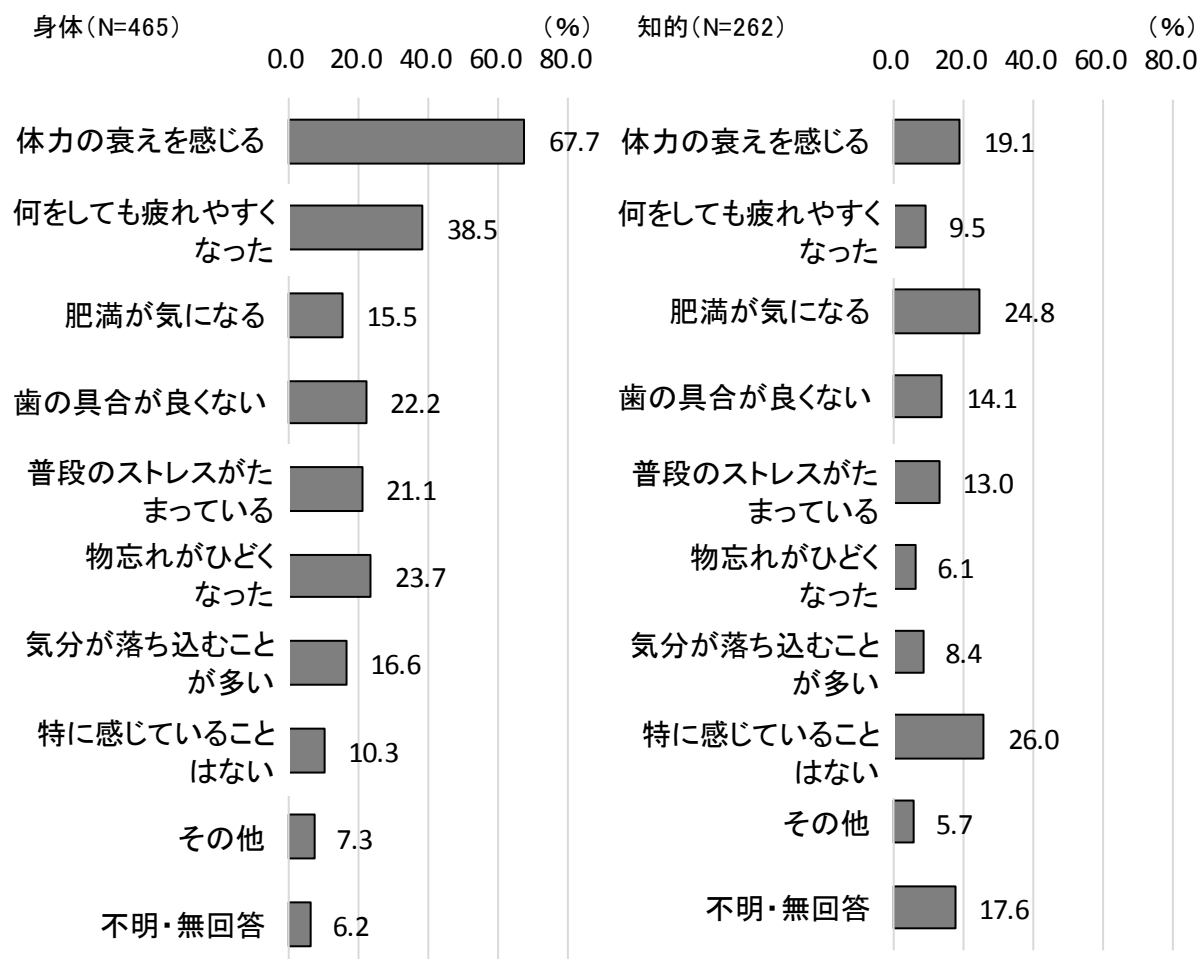
知的障害者では「健康である」が 41.2%と最も高く、次いで「まあ健康である」が 39.3%、「あまり健康でない」が 9.2%、「健康でない」が 3.8%となっています。



問 27 最近、健康状態で、感じていることは何ですか。(複数回答)

最近の健康状態で感じていることについて、身体障害者では「体力の衰えを感じる」が 67.7%と最も高く、次いで「何をしても疲れやすくなった」が 38.5%となっています。

知的障害者では「特に感じていることはない」が 26.0%と最も高く、次いで「肥満が気になる」が 24.8%となっています。



■その他回答(身体)

内容	件数
転倒への不安・足腰の衰え	4
関節や筋肉が痛い	2
聴力の低下	2
病気の不安	1
外出の際に不便を感じる	1
心臓疾患のため、無理がでない	1
睡眠不足	1
長引くステロイド服用	1
食が細くなった	1
年相応	1
身体が動かない	1
通院が辛い	1
高血圧	1
視力の低下	1
手が動かない	1
入院中	1
不整脈	1
筋肉の衰え	1
骨粗しょう症の進行	1
近所付き合いが難しい	1
物忘れが増えた	1
足腰の痛みが辛い	1
病状の進行	1
高脂血症	1
その他	1

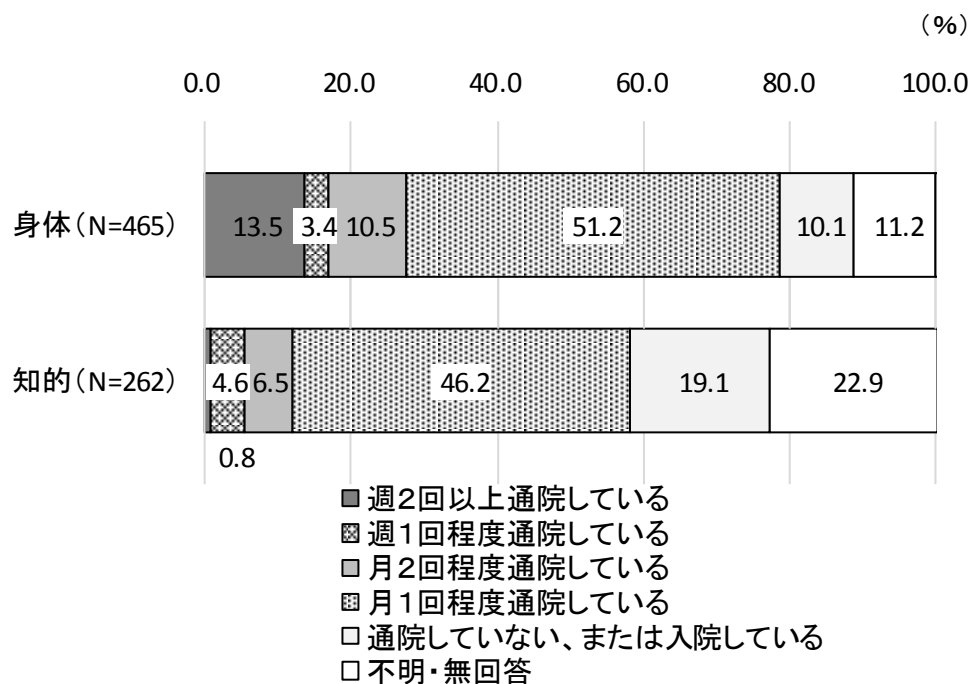
■その他回答(知的)

内容	件数
足腰が弱ってきている	3
痰が多い	1
身体的機能の低下	1
眠気が強い	1
病気を複数持っている	1
聴覚過敏が辛い	1
病院で健康管理	1
手足が悪い	1
皮膚疾患・アトピーなど	1
方耳(左)の聴力	1
わからない	1

問 28 あなたは通院していますか。また、通院している方は、どれくらいの頻度で通院していますか。

通院頻度について、身体障害者では「月 1 回程度通院している」が 51.2%と最も高く、次いで「週 2 回以上通院している」が 13.5%となっています。

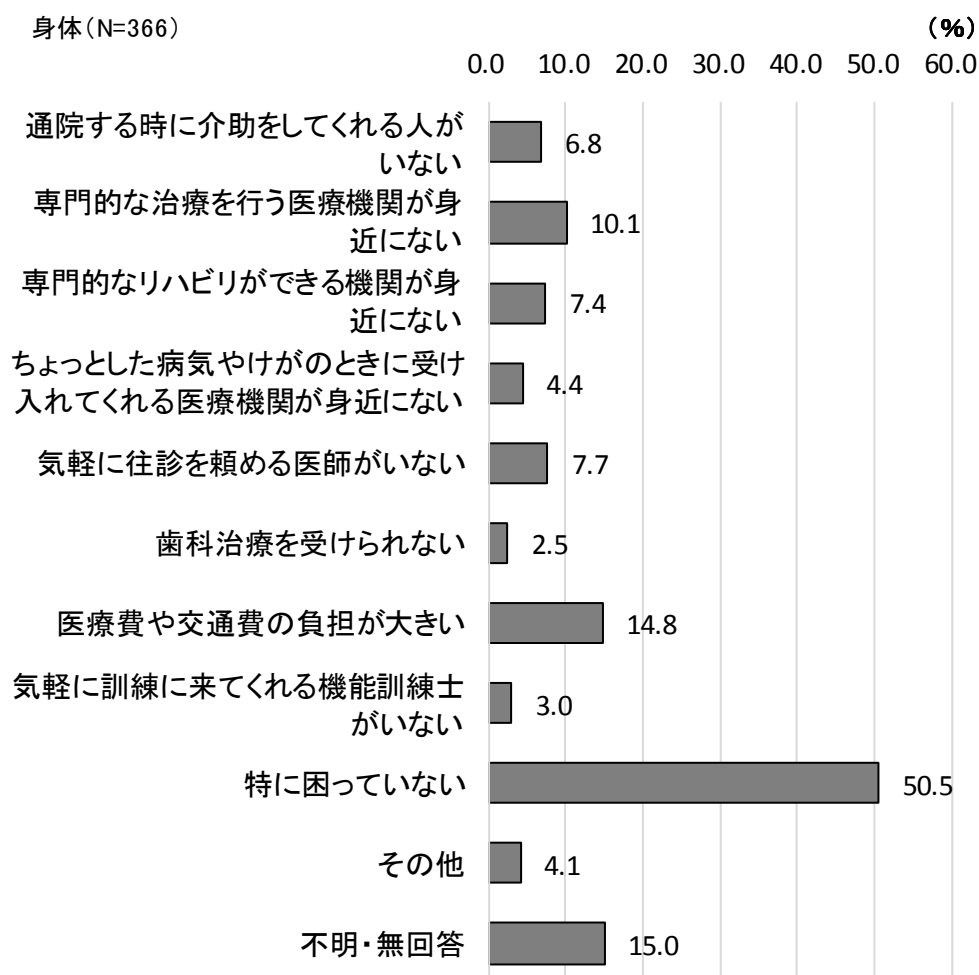
知的障害者では「月 1 回程度通院している」が 59.9%と最も高く、次いで「通院していない、または入院している」が 24.8%となっています。



問 28 で「通院している」と回答した方

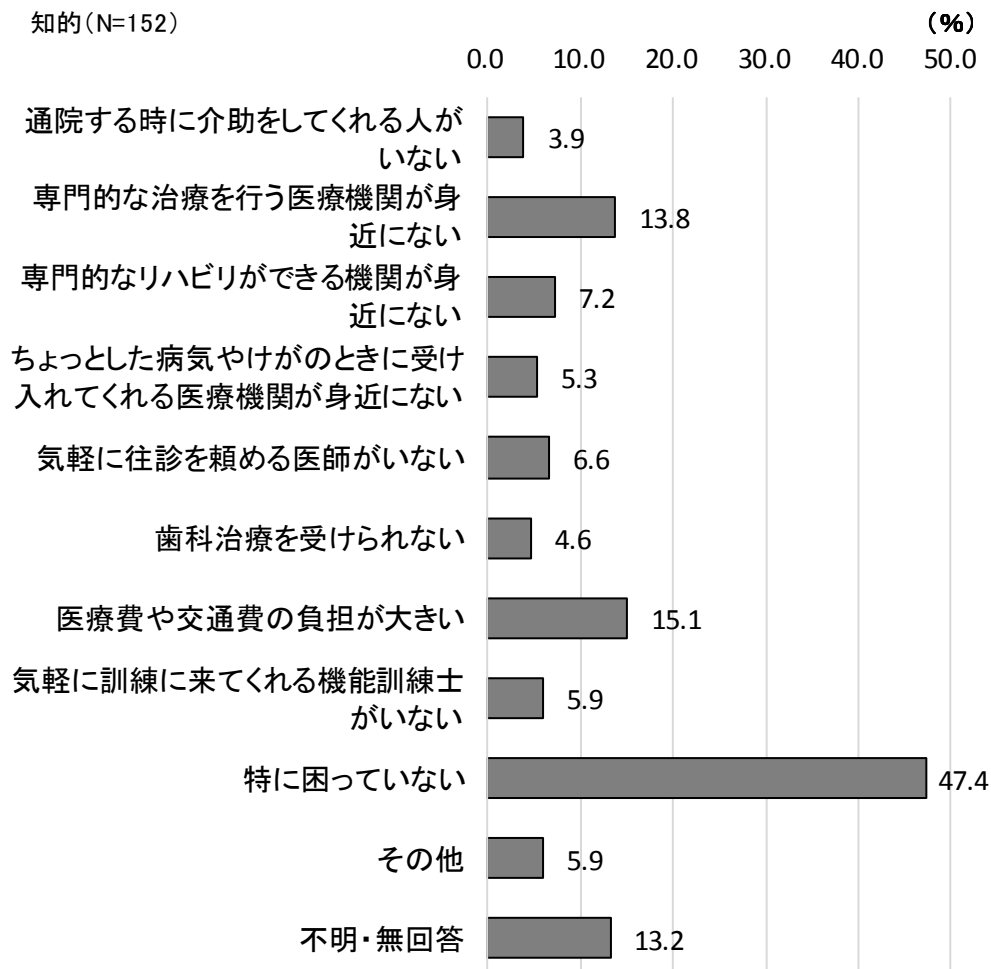
問 29 通院などでお困りのことはありますか。(複数回答)

通院などで困っていることについて、身体障害者・知的障害者ともに「特に困っていない」が最も高く、それぞれ 50.5%、47.4%となっています。次いで「医療費や交通費の負担が大きい」がそれぞれ 14.8%、15.1%となっています。



■その他回答(身体)

内容
駐車場に屋根がほしい
タクシーで通院しているがタクシー券が足りない
夜間の専門医がいない
遠方のため、交通費が高い



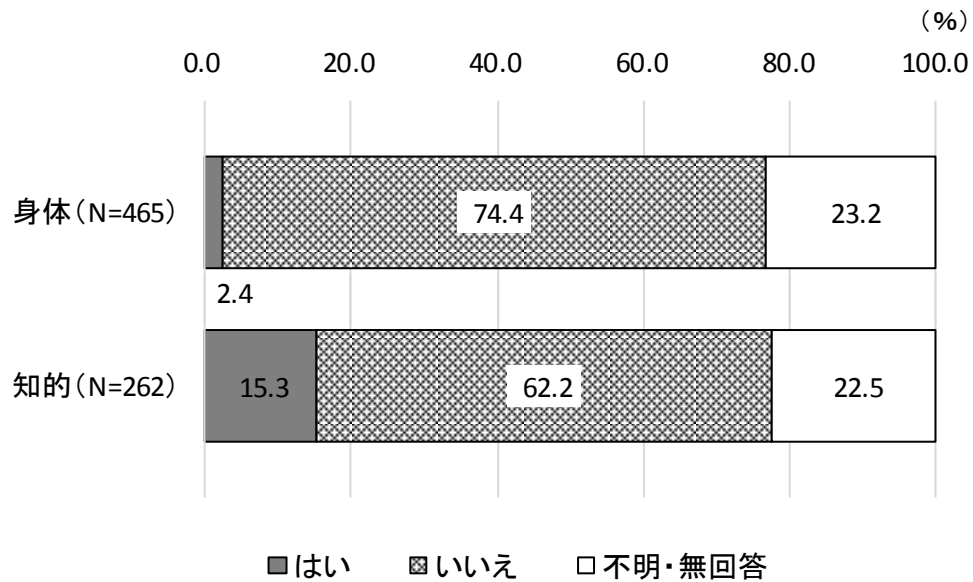
■その他回答（知的）

内容	件数
保護者以外は通院出来ない事	2
駐車場に屋根がほしい	1
説明がわかりにくい	1
医療費が高い	1
通院介助は祖母が行うことが多いが高齢で体力的に大変です	1
大きい病院がない	1
グループホームへ月に1回先生が来てくれます	1
バスが通らなくなったので不便になった	1

保育・教育について

問 30 あなたは保育所や学校に通所・通学していますか。

保育所や学校に通所・通学している人について、身体障害者では 2.4%、知的障害者では 15.3% となっています。



※問 30 で「1. はい」と回答した方

問 31 あなたの通所・通学先は次のどれにあたりますか。

通所・通学先について、身体障害者では「小・中学校・高等学校（普通学級）」が 4 件と最も多くなっています。

知的障害者では「盲学校・ろう学校・特別支援学校」が 20 件と最も多く、次いで「小・中学校（特別支援学級）」が 12 件となっています。

■身体

	件数	割合 (%)
保育所・幼稚園	0	0.0
児童発達支援 (児童デイサービス)	1	9.1
盲学校・ろう学校 特別支援学校	1	9.1
小・中学校 (特別支援学級)	2	18.2
小・中学校・高等学校 (普通学級)	4	36.4
大学・短大・専門学校	1	9.1
その他	1	9.1
不明・無回答	1	9.1
合計	11	100.0

■知的

	件数	割合 (%)
保育所・幼稚園	2	5.0
児童発達支援 (児童デイサービス)	1	2.5
盲学校・ろう学校 特別支援学校	20	50.0
小・中学校 (特別支援学級)	12	30.0
小・中学校・高等学校 (普通学級)	0	0.0
大学・短大・専門学校	1	2.5
その他	4	10.0
不明・無回答	0	0.0
合計	40	100.0

■その他回答(身体)

内容
田辺のくじら作業所

■その他回答(知的)

内容	件数
作業所	2
ふくい	1
障害児通所施設	1

問 30 で「1. はい」と回答した方

問 32 通所・通学していて、感じていることは何ですか。(複数回答)

通所・通学していて感じることにについては、身体障害者・知的障害者ともに「今の保育所や学校に満足している」が最も多く、身体障害者では3件、知的障害者では17件となっています。次いで、身体障害者では「インクルーシブ教育の理念に沿った保育や授業の内容となっていない」が3件、知的障害者では「通所・通学に時間がかかる」が12件となっています。

■身体

	件数	割合(%)
今の保育所や学校に満足している	3	27.3
障害のない児童・生徒とのふれあいが少ない	0	0.0
周囲の児童・生徒、またはその保護者の理解がない	2	18.2
送迎体制が不十分	0	0.0
通所・通学に時間がかかる	2	18.2
進路指導が不十分(自立して働けるような力をつけさせてほしい)	1	9.1
障害が理由で利用できない設備がある	2	18.2
インクルーシブ教育の理念に沿った保育や授業の内容となっていない	3	27.3
地域に学童保育があるが利用できない	0	0.0
学童保育がない	0	0.0
特にない	2	18.2
その他	2	18.2
不明・無回答	2	18.2
合計	11	100.0

■知的

	件数	割合(%)
今の保育所や学校に満足している	17	42.5
障害のない児童・生徒とのふれあいが少ない	7	17.5
周囲の児童・生徒、またはその保護者の理解がない	2	5.0
送迎体制が不十分	2	5.0
通所・通学に時間がかかる	12	30.0
進路指導が不十分(自立して働けるような力をつけさせてほしい)	3	7.5
障害が理由で利用できない設備がある	1	2.5
インクルーシブ教育の理念に沿った保育や授業の内容となっていない	2	5.0
地域に学童保育があるが利用できない	0	0.0
学童保育がない	4	10.0
特にない	8	20.0
その他	2	5.0
不明・無回答	1	2.5
合計	40	100.0

■その他回答(身体)

内容
障害を理由に拒まれた
カウンセリング指導者が少ない

■その他回答(知的)

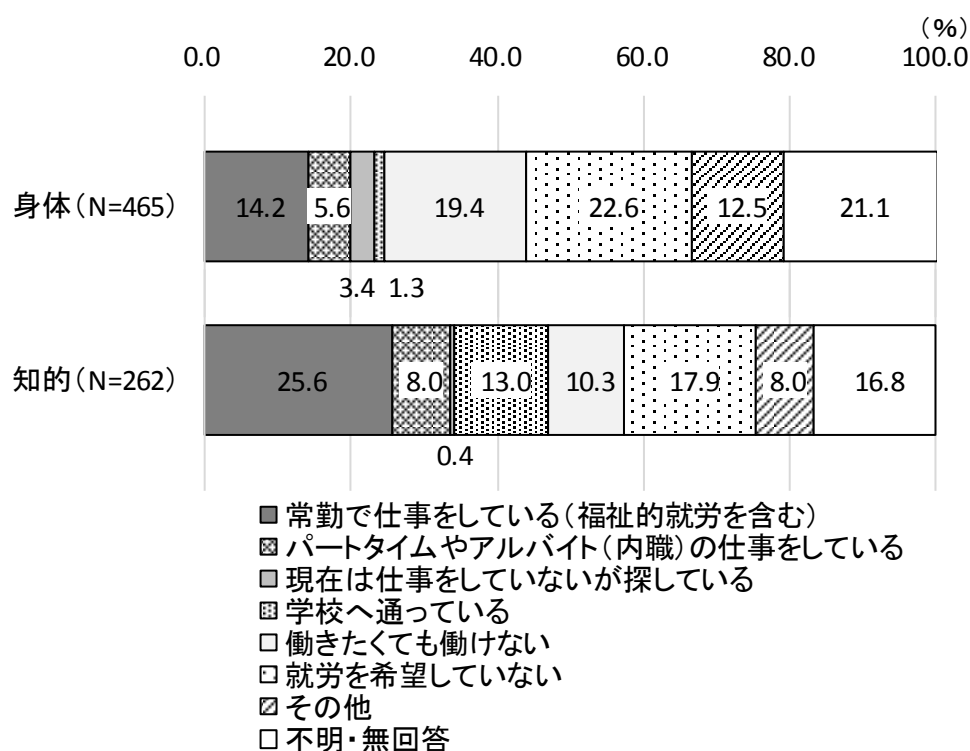
内容
学級閉鎖の時、預け先がない
自分だけの空間が持てていない事

仕事について

問 33 就労の状況や形態は次のどれですか。

就労の状況や形態について、身体障害者では「就労を希望していない」が 22.6%と最も高く、次いで「働きたくても働けない」が 19.4%、「常勤で仕事をしている（福祉的就労を含む）」が 14.2%となっています。

知的障害者では「常勤で仕事をしている（福祉的就労を含む）」が 25.6%と最も高く、次いで「就労を希望していない」が 17.9%、「学校へ通っている」が 13.0%となっています。



■ その他回答（身体）

内容	件数
自営業（手伝い含む）	10
仕事はできない	5
農業	4
働いていない	3
年齢的に仕事をしていない	2
週1回程度働いている	1
シルバー人材センター	1
専業主婦	1
僧侶	1
通園している	1
電話の対応をしている	1
入院中	1
非常勤での法人役員	1
一人暮らしをしたら働きたい	1

■ その他回答（知的）

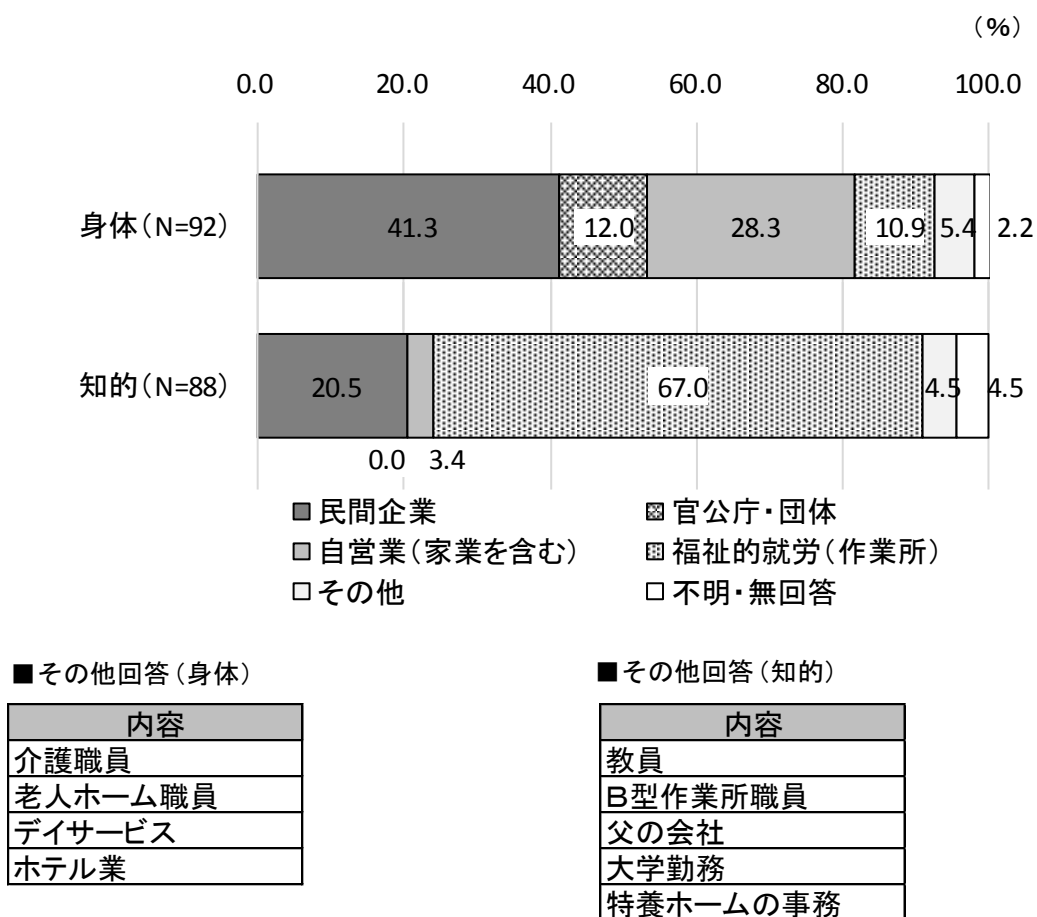
内容	件数
作業所で働いている	4
生活介護事業	3
障害のため働けない	2
年齢的に仕事をしていない	2
入院中のため仕事をしていない	1
通園している	1
自立訓練施設に通っている	1
家事手伝い	1

問 33 で 1 ～ 2 と回答した「仕事をしている」方

問 34 （１）就労先は次のどれですか。

就労先について、身体障害者では「民間企業」が 41.3%と最も高く、次いで「自営業（家業を含む）」が 28.3%となっています。

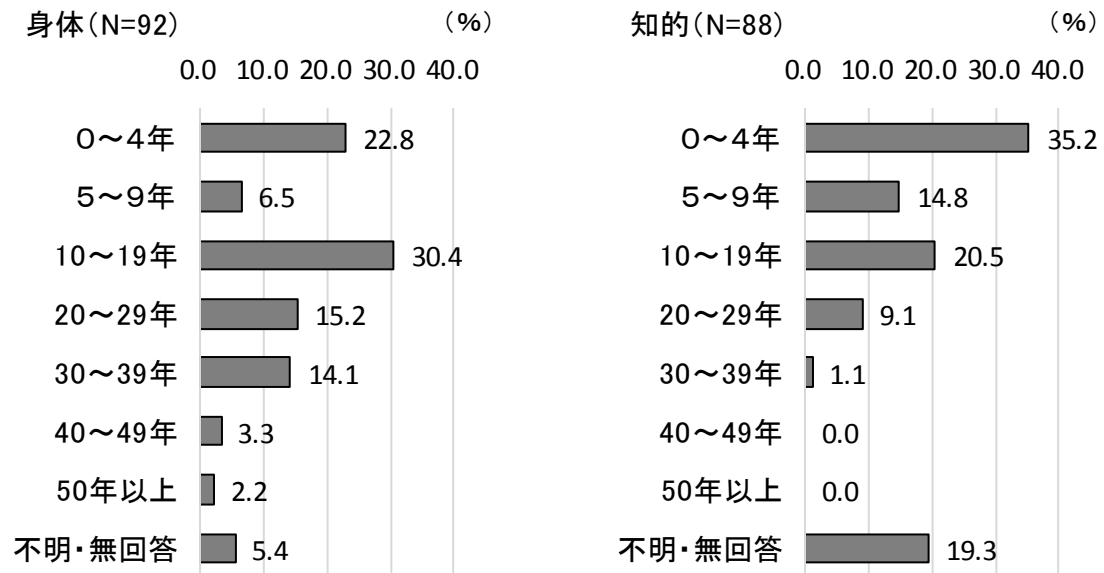
知的障害者では「福祉的就労（作業所）」が 67.0%と最も高く、次いで「民間企業」が 20.5%となっています。



(2) 現在の仕事の就労期間はどのくらいですか。＜平成 29 年 7 月 1 日現在＞

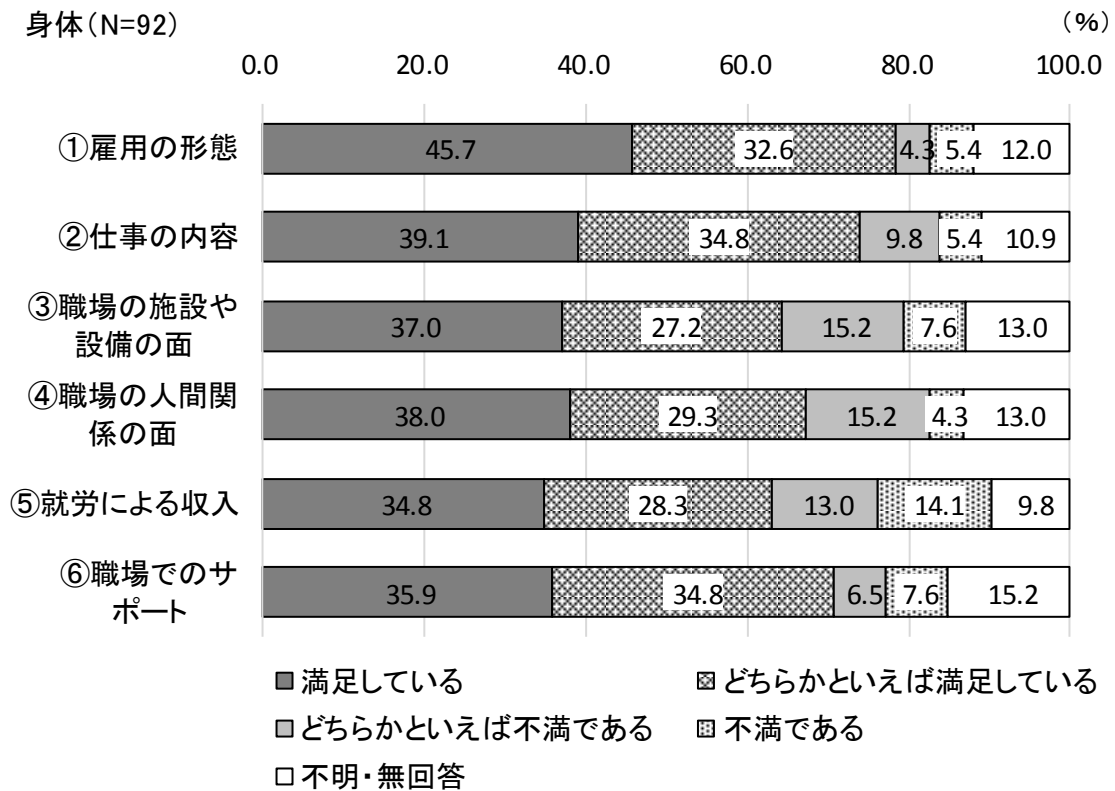
現在の仕事の就労期間について、身体障害者では「10～19 年」が 30.4%と最も高く、次いで「0～4 年」が 22.8%となっています。

知的障害者では「0～4 年」が 35.2%と最も高く、次いで「10～19 年」が 20.5%となっています。

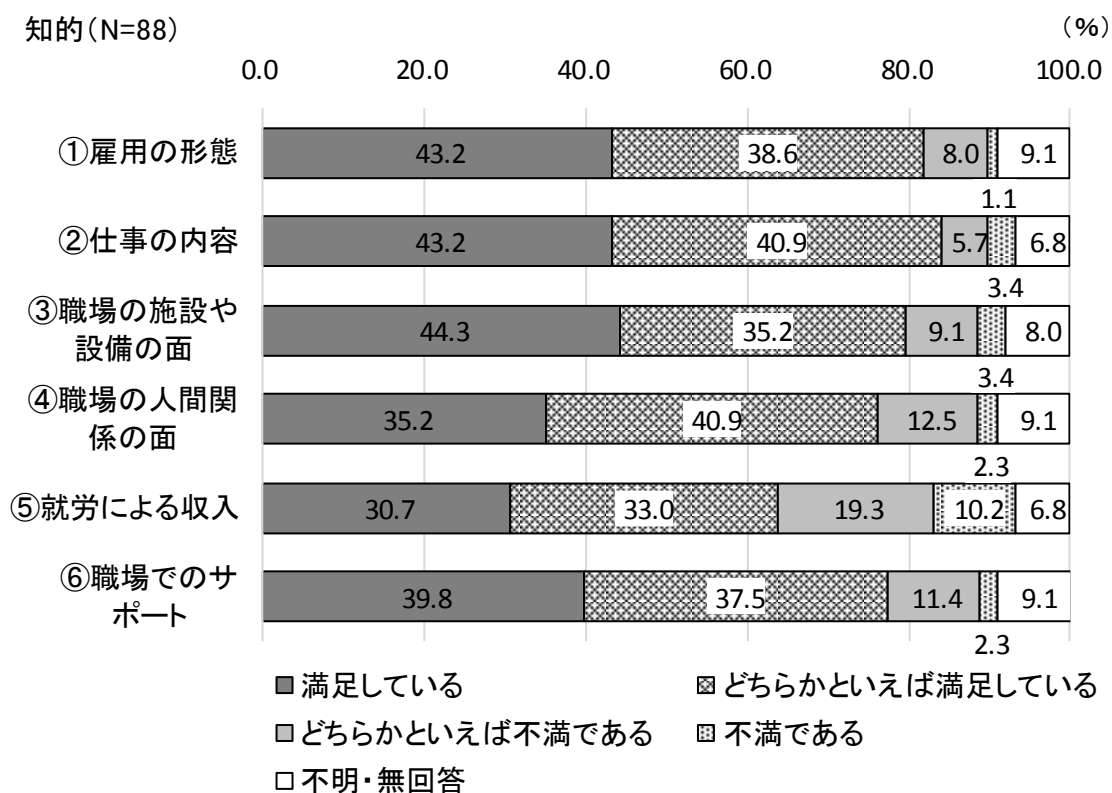


(3) あなたは現在の仕事や職場に満足していますか。

仕事や職場に満足しているかについて、「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計を<満足>、「どちらかといえば不満である」「不満である」の合計を<不満>とすると、身体障害者ではいずれの項目においても6割以上の満足度があり、特に『①雇用の形態』『②仕事の内容』『⑥職場でのサポート』では7割を超える高い満足度となっています。一方で、『③職場の施設や設備の面』『⑤就労による収入』への<不満>は2割以上となっています。



知的障害者ではいずれの項目においても6割以上の満足度があり、特に『①雇用の形態』『②仕事の内容』では8割を超える高い満足度となっています。＜不満＞については『⑤就労による収入』が29.5%と最も高くなっています。



問 33 で 3 ～ 4 と回答した「仕事を探している」または「学校へ通っている」方
問 35 あなたはどのような仕事に就きたいですか。

希望する就労の形態について、身体障害者・知的障害者ともに「常勤で仕事をしたい」が最も多く、それぞれ 9 件、18 件となっています。

希望する就労先については、身体障害者では「民間企業」が 8 件、知的障害者では「福祉的就労（作業所）」が 13 件となっています。

〔希望する就労の形態〕

■身体

	件数	割合 (%)
常勤で仕事をしたい	9	40.9
パートタイムやアルバイトの仕事をしたい	5	22.7
その他	1	4.5
不明・無回答	7	31.8
合計	22	100.0

■その他回答（身体）

内容
障害者ができる仕事が増えてほしい

■知的

	件数	割合 (%)
常勤で仕事をしたい	18	51.4
パートタイムやアルバイトの仕事をしたい	4	11.4
その他	0	0.0
不明・無回答	13	37.1
合計	35	100.0

■その他回答（身体）

なし

〔希望する就労先〕

■身体

	件数	割合 (%)
民間企業	8	36.4
官公庁・団体	3	13.6
自営業（家業を含む）	0	0.0
福祉的就労（作業所）	3	13.6
その他	1	4.5
不明・無回答	7	31.8
合計	22	100.0

■知的

	件数	割合 (%)
民間企業	5	14.3
官公庁・団体	1	2.9
自営業（家業を含む）	1	2.9
福祉的就労（作業所）	13	37.1
その他	4	11.4
不明・無回答	11	31.4
合計	35	100.0

■その他回答（身体）

内容
個人事業

■その他回答（知的）

内容	件数
まだ分からない	3
どこでもよい	1
ホテル	1
大工	1

問 33 で5と回答した「働きたくても働けない」方

問 36 働けない理由は何ですか。(複数回答)

「働きたくても働けない」理由について、身体障害者では「病気のため」が 44.4%と最も高く、次いで「重度の障害のため」が 35.6%となっています。

知的障害者では「重度の障害のため」が 17 件と最も多く、次いで「働く場がないため」が 7 件となっています。

■身体

	件数	割合(%)
重度の障害のため	32	35.6
病気のため	40	44.4
高齢のため	23	25.6
働く場がないため	11	12.2
希望職種がないため	1	1.1
通勤が困難なため	6	6.7
家事・育児のため	3	3.3
就学・技術習得のため	0	0.0
その他	5	5.6
不明・無回答	8	8.9
合計	90	100.0

■知的

	件数	割合(%)
重度の障害のため	17	63.0
病気のため	2	7.4
高齢のため	3	11.1
働く場がないため	7	25.9
希望職種がないため	1	3.7
通勤が困難なため	3	11.1
家事・育児のため	0	0.0
就学・技術習得のため	1	3.7
その他	0	0.0
不明・無回答	1	3.7
合計	27	100.0

■その他回答(身体)

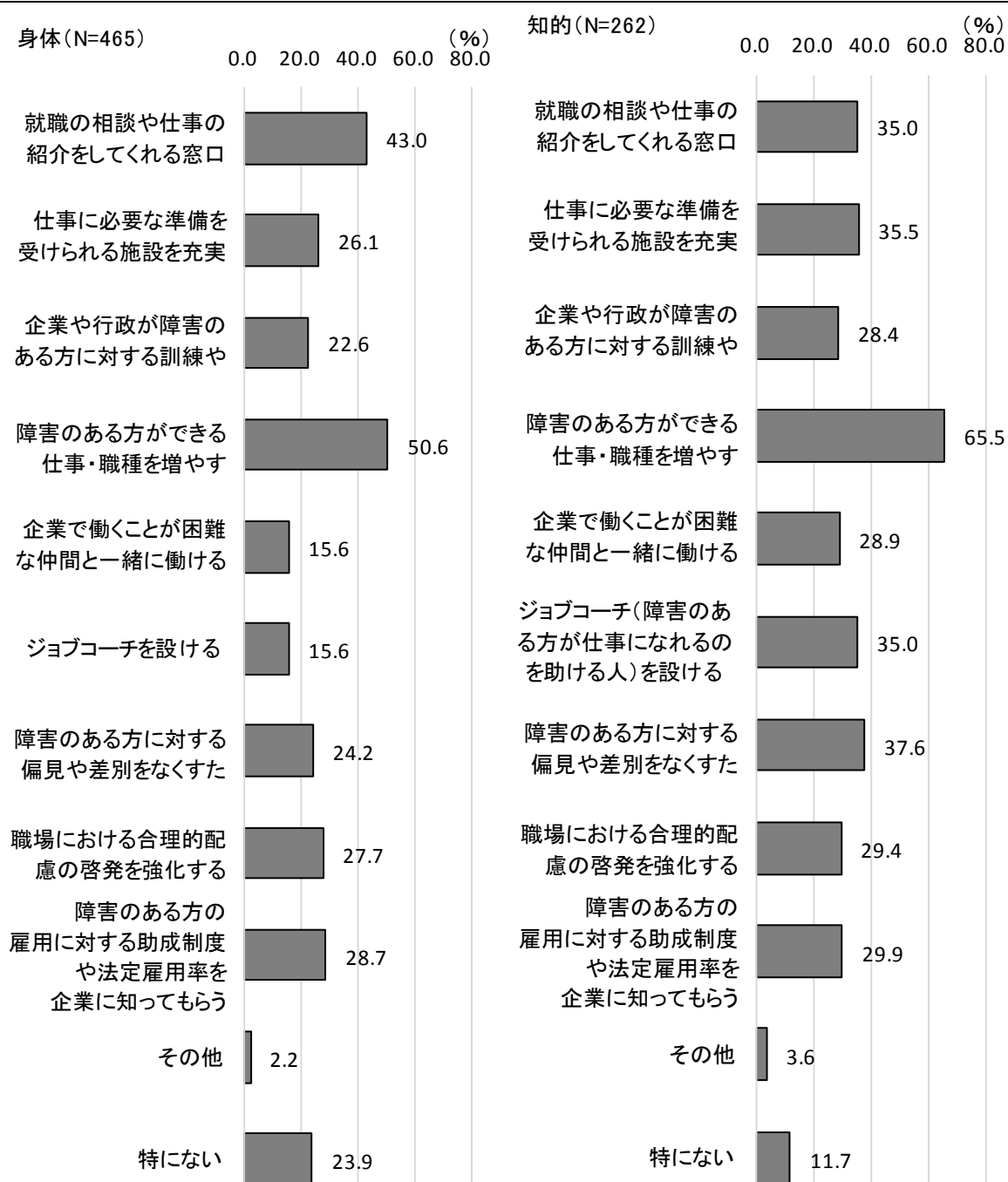
内容	件数
障害の状況のため	3
年齢のため	3
働かなくても生活ができるため	2
入院中のため	1
他の人との関係	1
体力がないため	1
介護のため	1

■その他回答(知的)

なし

問 37 企業などで安心して働ける環境づくりに向けて、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答) ※不明・無回答は除く

安心して働ける環境づくりに向けて必要なことについて、身体障害者・知的障害者ともに「障害のある方ができる仕事・職種を増やす」が最も高く、それぞれ 50.6%、65.5%となっています。次いで、身体障害者では「就職の相談や仕事の紹介をしてくれる窓口を充実させる」が 43.0%、知的障害者では「障害のある方に対する偏見や差別をなくすための啓発を強化する」が 37.6%となっています。



■ その他回答(身体)

内容	件数
分からない	2
資格取得の助成や援助	1
勤務時間を選択できるように	1

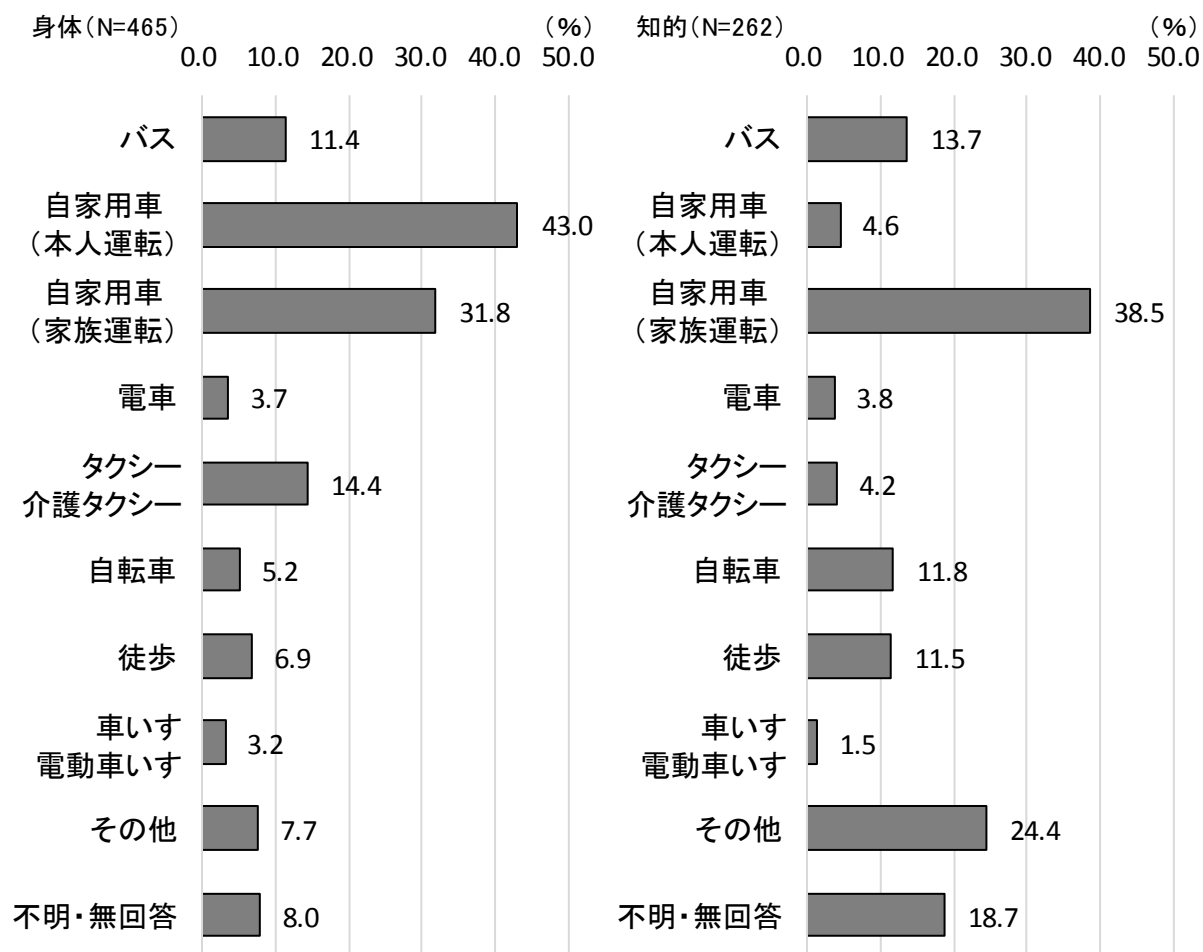
■ その他回答(知的)

生活全般について

問 38 通勤や通学、施設や病院への通院など、外出する上での交通手段は何ですか。
(複数回答)

通勤・通学、施設や病院への通院など外出時の交通手段については、身体障害者では「自家用車(本人運転)」が43.0%と最も高く、次いで「自家用車(家族運転)」が31.8%となっています。

知的障害者では「自家用車(家族運転)」が38.5%と最も高くなっています。



■その他回答(身体)

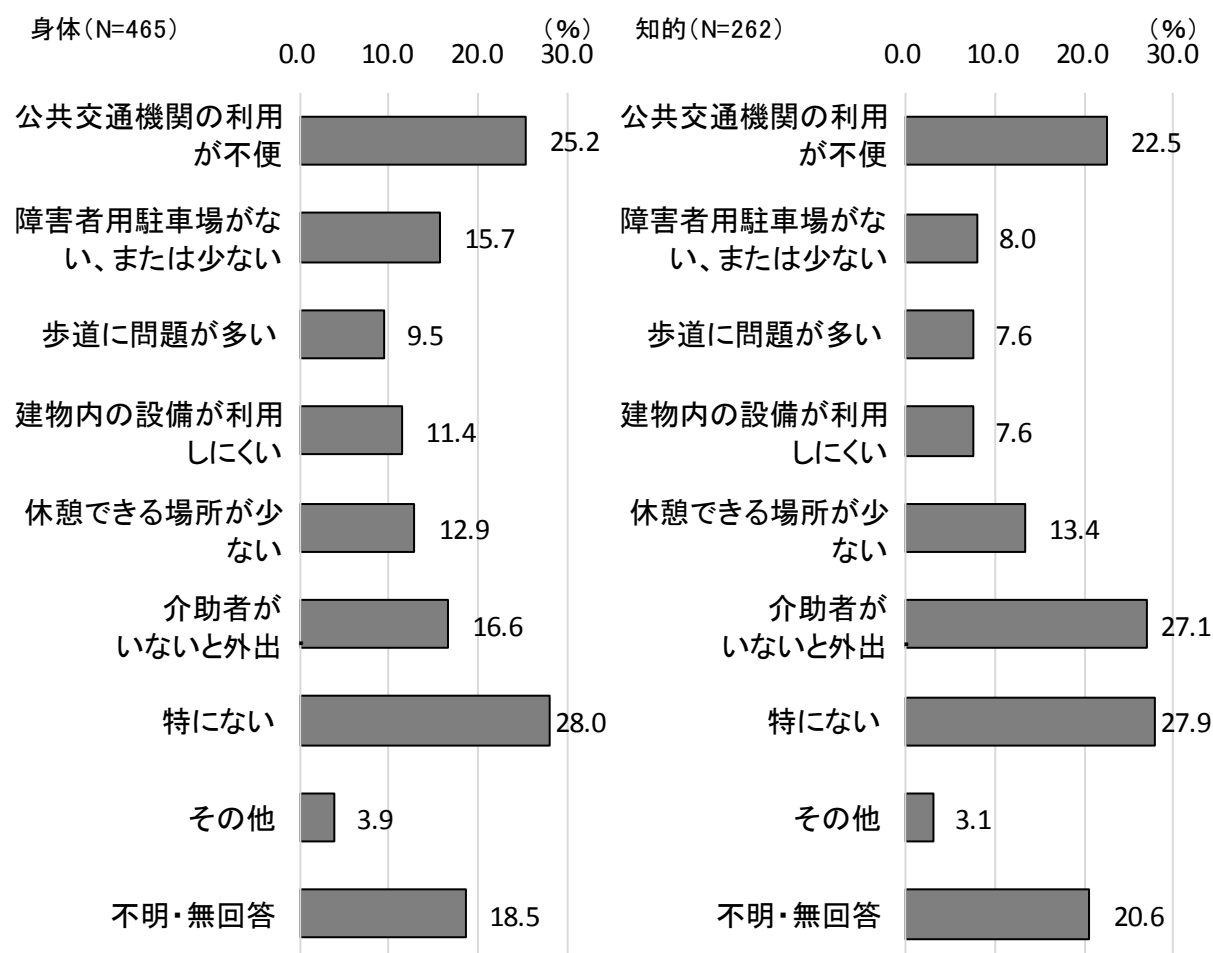
内容	件数
バイク	19
友人に依頼	4
病院の送迎	2
施設の車	2
送迎車	2
入院中	1
家族の送迎	1
動けない	1

■その他回答(知的)

内容	件数
施設の車	27
送迎車	13
バイク	8
車	1
動けない	1

問 39 外出の時、不便に感じたり困ることはありますか。(複数回答)

外出時、不便に感じたり困ることについては、身体障害者・知的障害者ともに「特にない」が最も高く、それぞれ 28.0%、27.9%となっています。次いで、身体障害者では「公共交通機関の利用が不便」が 25.2%、知的障害者では「介助者がいないと外出できない」が 27.1%となっています。



■その他回答(身体)

内容
紀南病院バスの回数が少ない
車椅子で入れる店舗が少ない
交通費が高い
障害者優先スペースに健常者が駐車している
障害者用トイレの不足
電車の料金表が見づらい
何をするにしても不便を感じる
バス停でイスなどが無いとつらい
バス停まで歩けない
道のでこぼこ
夜間や雨の際に目が見えにくくなり、自分で運転がしづらい
溝蓋がないので危険な箇所がある

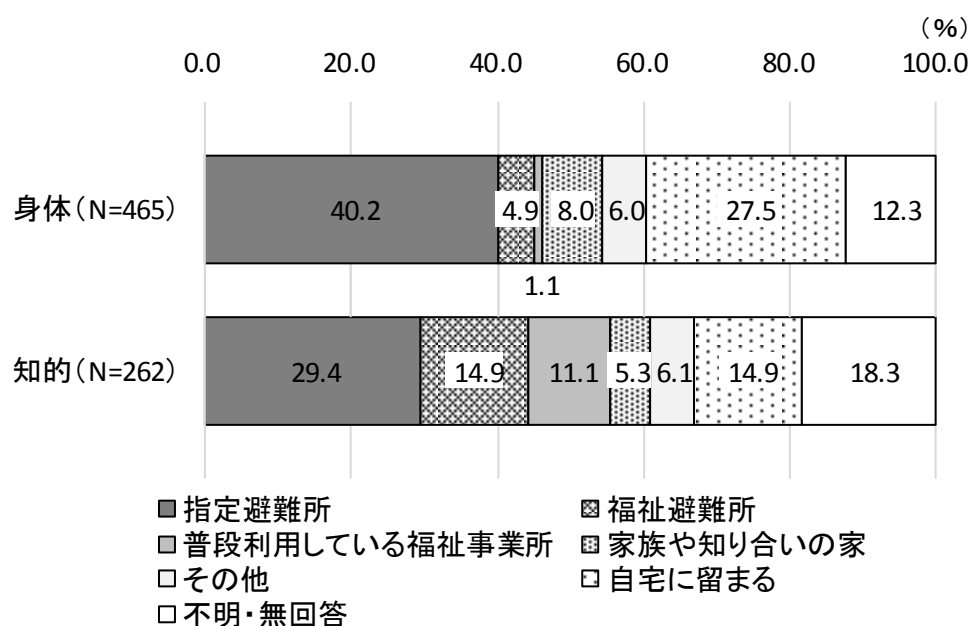
■その他回答(知的)

内容
付き添いがいないと外出しない
バイクのため天候に左右される
不明
本人に多動の傾向がある
分からない

緊急時の避難について

問 40 地震や津波などの大規模災害が発生した時、あなたはどこに避難しますか。

大規模災害が発生した時に避難する場所について、身体障害者・知的障害者ともに「指定避難所」が最も高く、それぞれ 40.2%、29.4%となっています。次いで、身体障害者では「自宅に留まる」が 27.5%、知的障害者では「福祉避難所」「自宅に留まる」がともに 14.9%となっています。

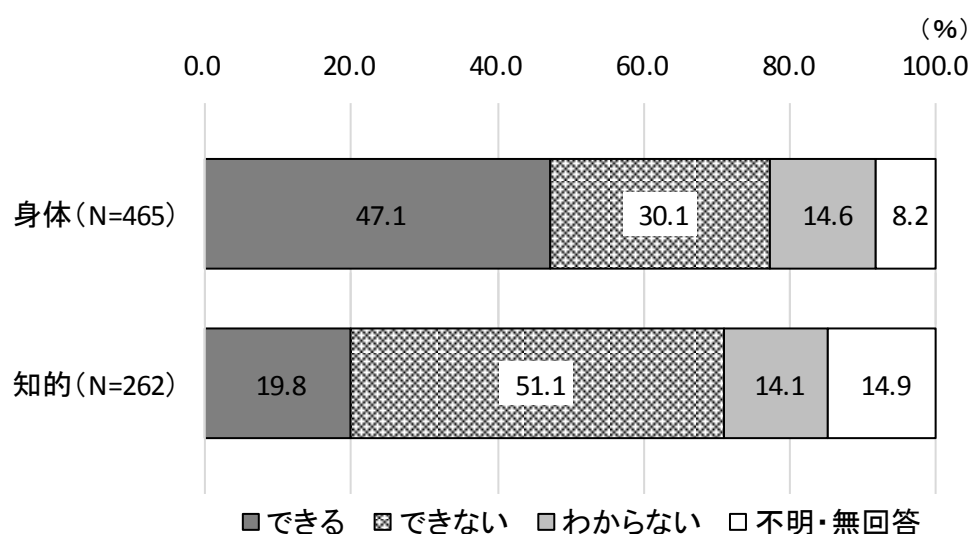


問 41 地震など災害発生時の避難方法等についておたずねします。

(1) 一人で避難することができますか。

災害発生時、一人で避難できるかについて、身体障害者では「できる」が 47.1%、「できない」が 30.1%となっています。

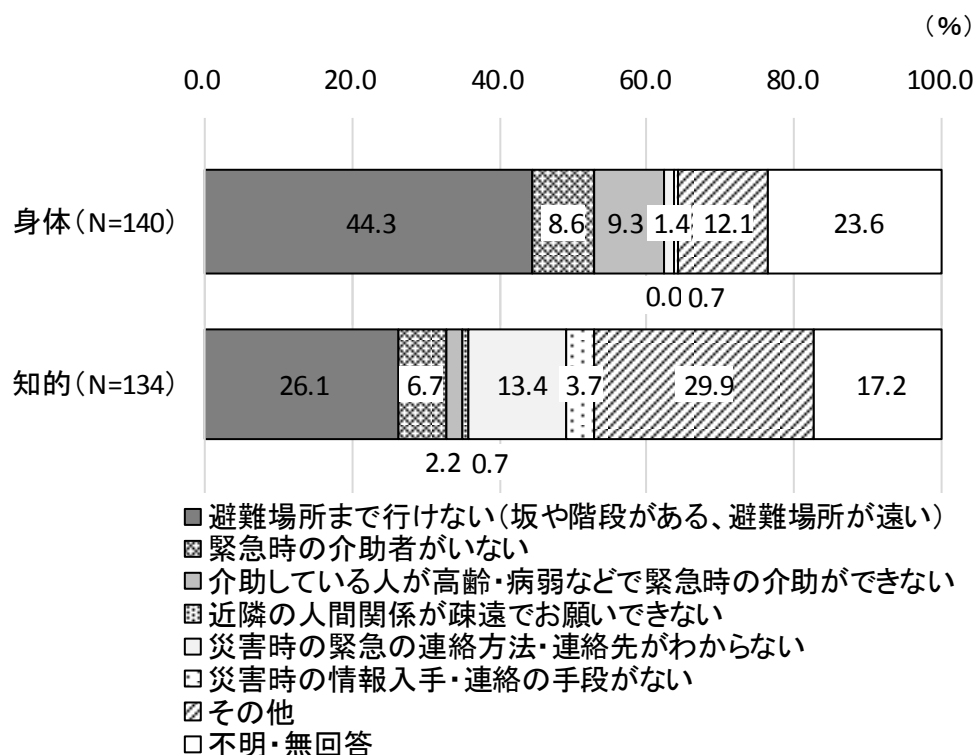
知的障害者では「できない」が 51.1%、「できる」が 19.8%となっています。



問 41（１）で２と回答した「できない」方
（２）避難するのに困ることは何ですか。

避難するのに困ることについて、身体障害者・知的障害者ともに「避難所まで行けない（坂や階段がある、避難場所が遠い）」が最も高く、それぞれ 44.3%、26.1%となっています。次いで身体障害者では「介助している人が高齢・病弱などで緊急時の介助ができない」が 9.3%、「緊急時の介助者がいない」が 8.6%となっています。知的障害者では「災害時の緊急の連絡方法・連絡先がわからない」が 13.4%、「緊急時の介助者がいない」が 6.7%となっています。

※分析文において、その他は除く



■ その他回答(身体)

内容	件数
介助が必要	2
家族を介助する必要があるため	2
自宅に留まると決めている	2
入院中のため	2
早く動けない	1
目が悪いため、外出が難しい	1
施設のスタッフの人員が不足	1
犬がいる	1

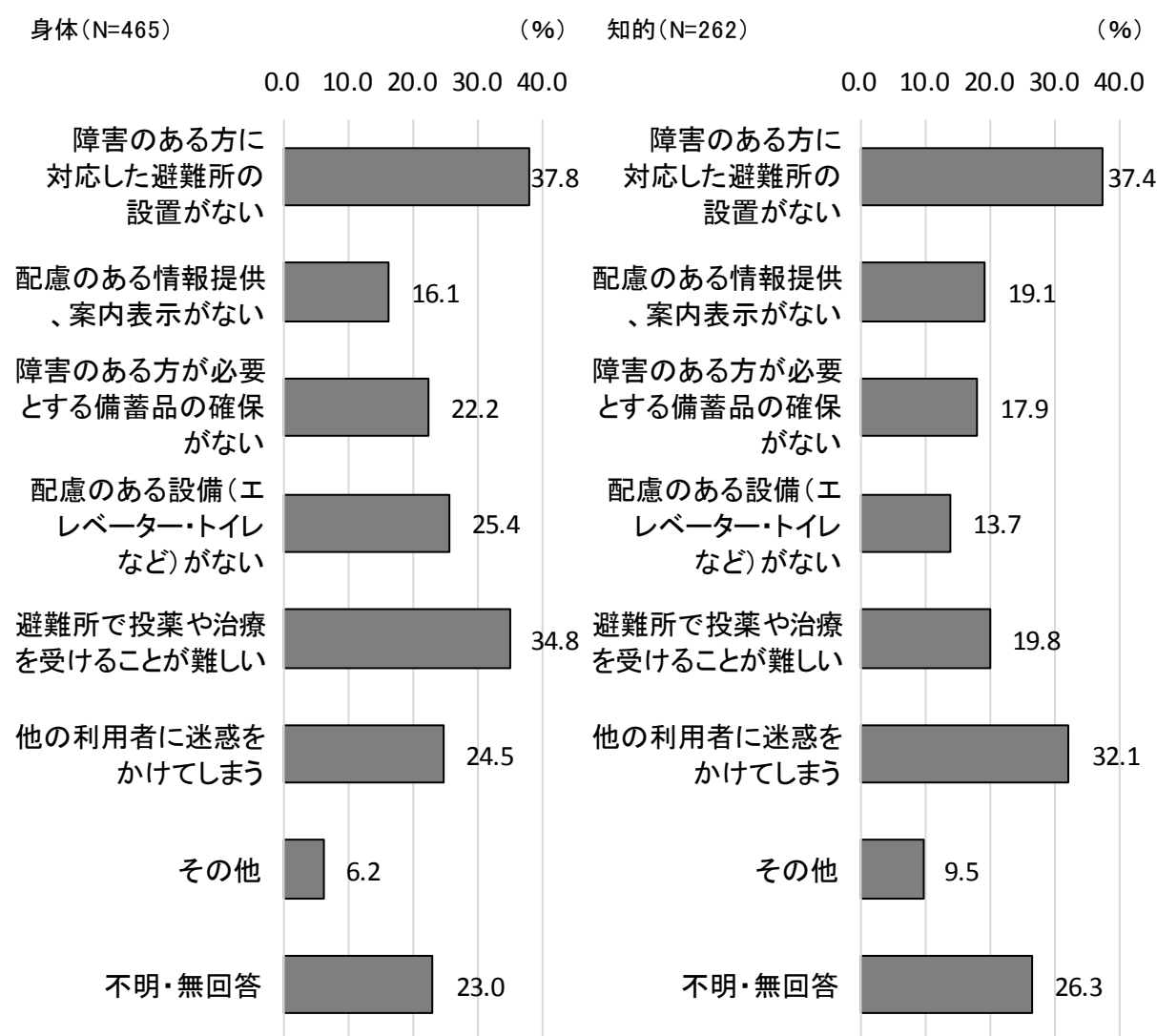
■ その他回答(知的)

内容	件数
1人で避難できる年齢ではない	7
危険や逃げるという意味が理解できない	5
支援員の支援なしでは難しい	4
介助が必要なため	3
1人では避難できないが、家族がいれば問題ない	2
パニックになってしまうため	1
施設の方の介助を受けて避難する	1
施設入所のため	1
持ち物が多く、家族で連れて行けるか不安	1
家族が福祉作業所へ預ける	1

問 42 避難所における生活や支援について不安に思うことはありますか。

(複数回答)

避難所における生活や支援について不安に思うことについて、身体障害者・知的障害者ともに「障害のある方に対応した避難所の設置がない」が最も高く、それぞれ 37.8%、37.4%となっています。次いで、身体障害者では「避難所で投薬や治療を受けることが難しい」が 34.8%、知的障害者では「他の利用者に迷惑をかけてしまう」が 32.1%となっています。



■その他回答(身体)

内容	件数
わからない	12
不安はない	3
ペットが迷惑を掛けてしまう	1
人目が気になる	1
膝が曲がらないため、生活が不安	1
入院中	1
人工透析のため	1
酸素吸入が必要	1
薬の確保	1

■その他回答(知的)

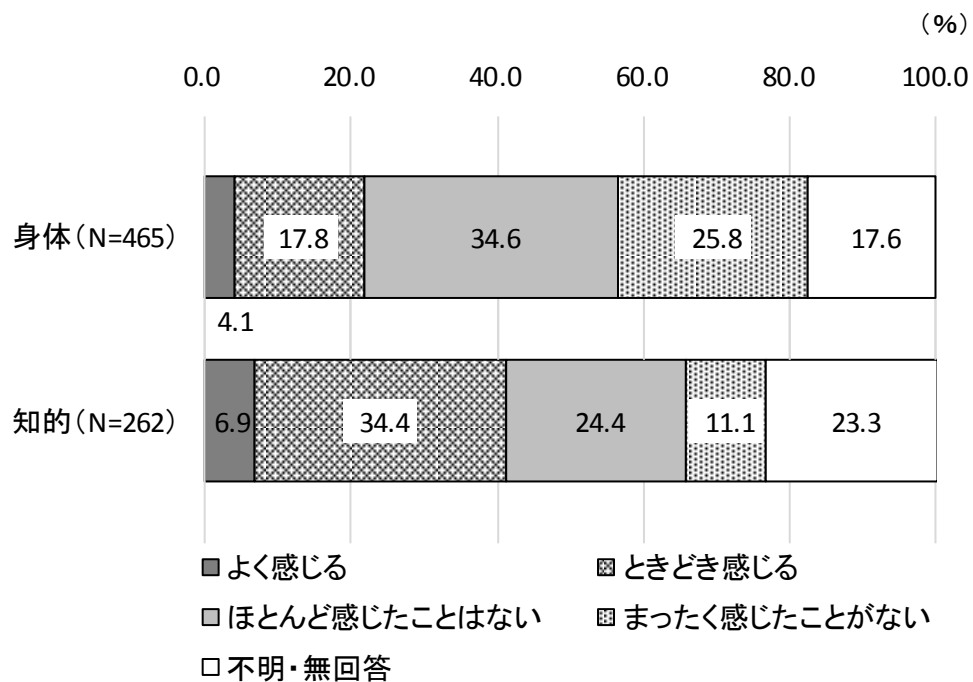
内容	件数
分からない	5
入所施設以外だと全て不安	2
不安はない	2
健常者でさえ不便なので、不安だらけ	1
利用したことがないから	1
集団生活はできない	1
ペットを連れて行けない	1
1人で逃げることも難しい	1

差別や偏見について

問 43 日常生活において、障害があるために差別や偏見、疎外感を感じることはありますか。

障害があるため、差別や偏見、疎外感を感じることはあるかについて、「よく感じる」「ときどき感じる」の合計を＜感じる＞、「ほとんど感じたことはない」「まったく感じたことがない」の合計を＜感じない＞とすると、身体障害者では＜感じる＞が 21.9%、＜感じない＞が 60.4%となっています。

知的障害者では＜感じる＞が 41.3%、＜感じない＞が 35.5%となっています。

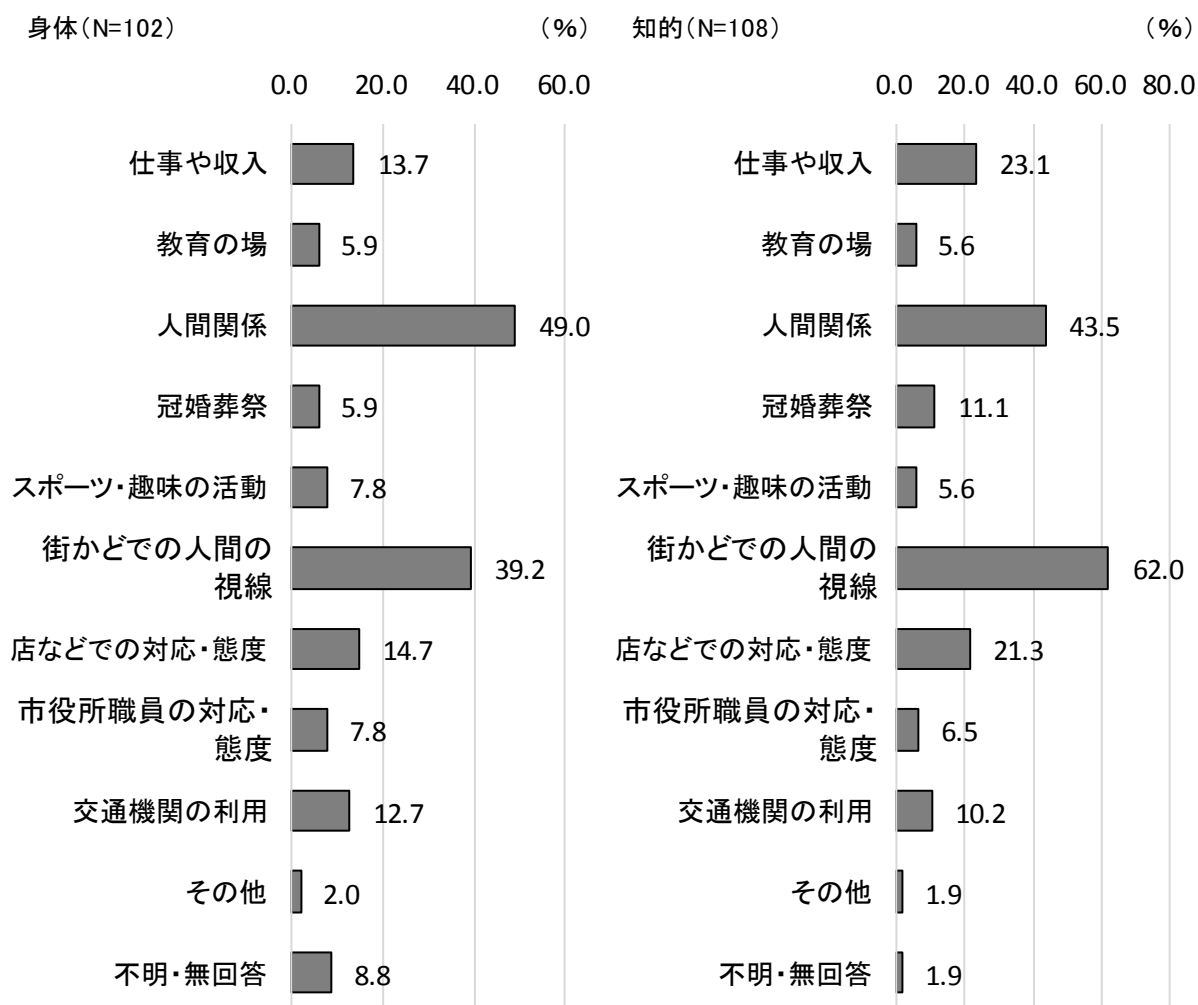


問 43 で「1. よく感じる」または「2. ときどき感じる」と回答した方

問 44 どのような時にそれを感じましたか。(複数回答)

どのような時に差別や偏見、疎外感を感じるかについて、身体障害者では「人間関係」が 49.0%と最も高く、次いで「街かどでの人間の視線」が 39.2%となっています。

知的障害者では「街かどでの人間の視線」が 62.0%と最も高く、次いで「人間関係」が 43.5%となっています。



■その他回答(身体)

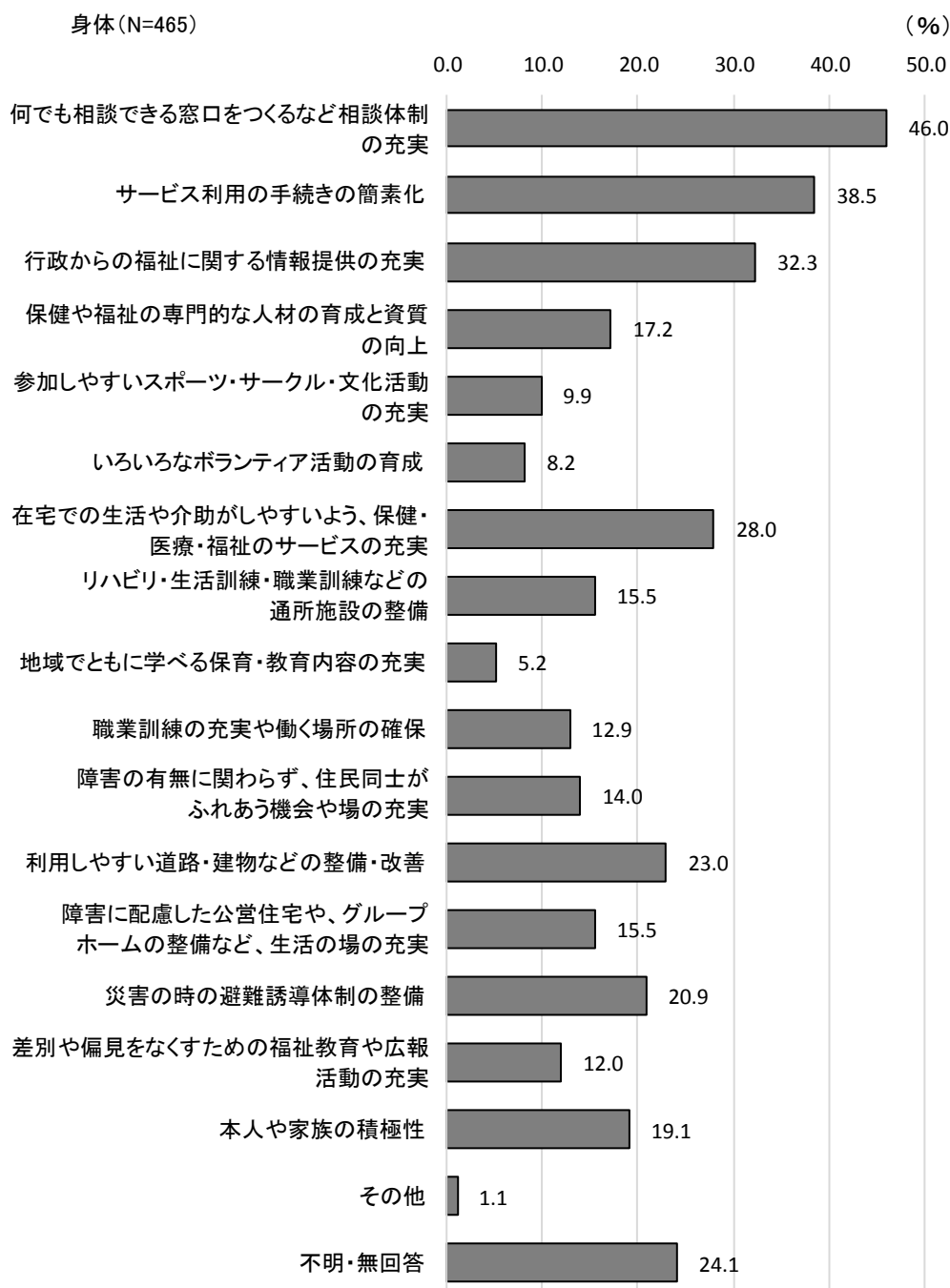
内容
医者の態度
心無い人の言動
過剰に配慮されることで、疎外感が生まれた

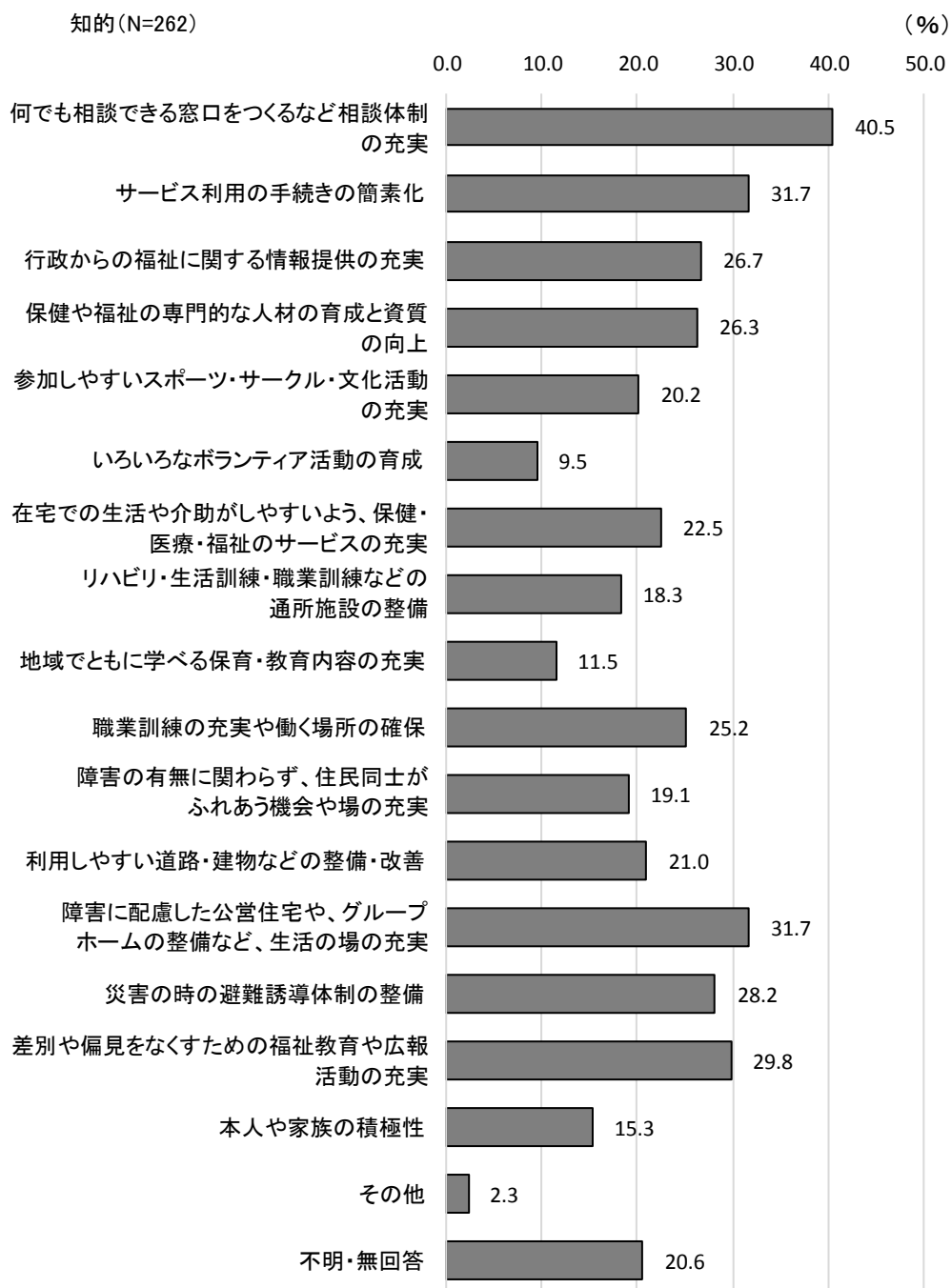
■その他回答(知的)

なし

問 45 障害のある人にとって住みよいまちをつくるために、どのようなことが必要だと考えますか。(複数回答)

障害のある人にとって住みよいまちをつくるために必要なことについて、身体障害者・知的障害者ともに「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」がそれぞれ46.0%、40.5%と最も高くなっています。次いで、身体障害者では「サービス利用の手続きの簡素化」が38.5%、「行政からの福祉に関する情報提供の充実」が32.3%となっています。知的障害者では「サービス利用の手続きの簡素化」「障害に配慮した公営住宅や、グループホームの整備など、生活の場の充実」がともに31.7%となっています。





■その他回答(身体)

内容
企業への差別禁止の徹底
すべて必要
移動手段の確保
わからない
予算の増額

■その他回答(知的)

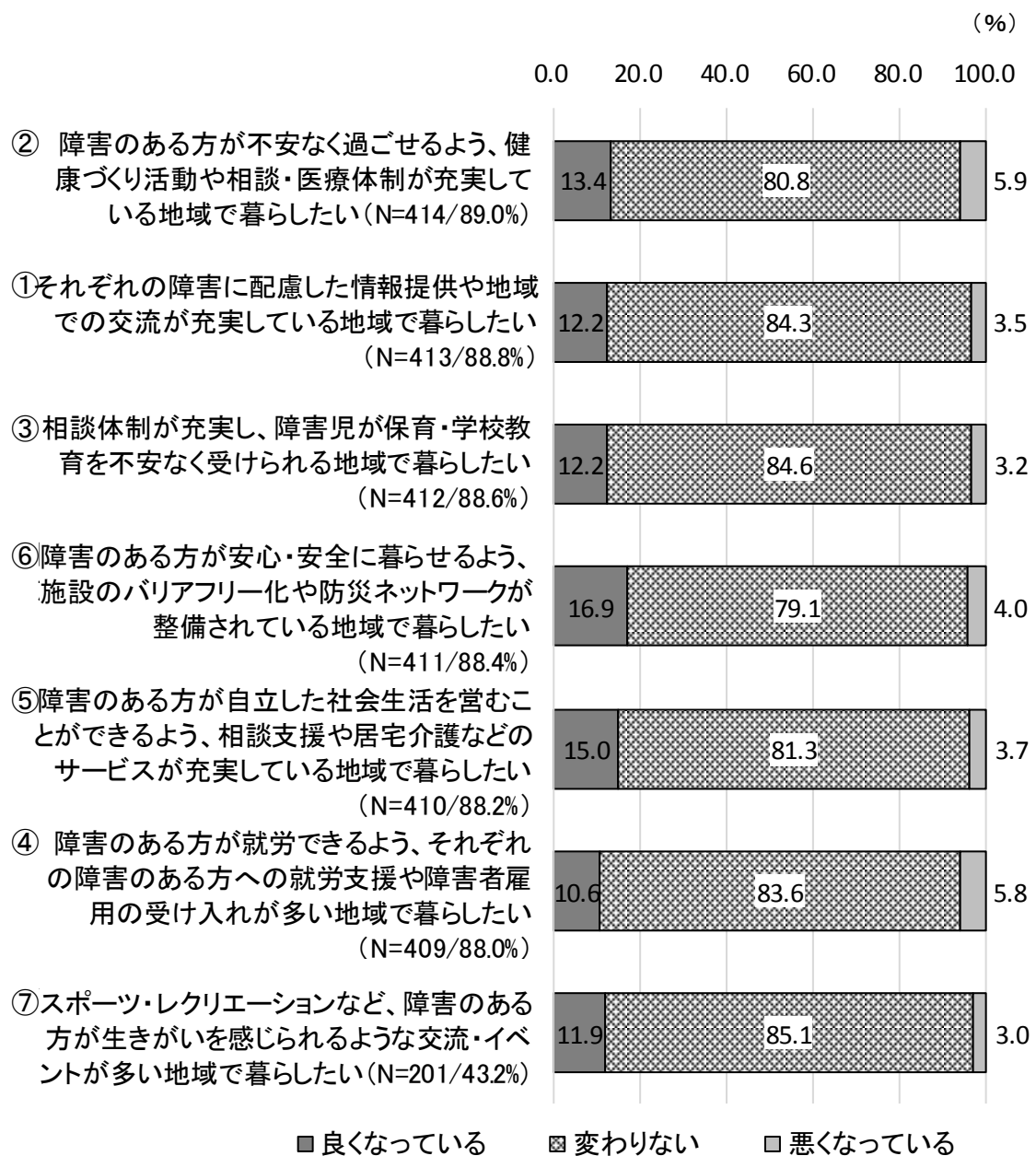
内容	件数
わからない	3
すべて必要	2

障害者施策に対する希望と実態について

問 46 障害者施策についての希望と実態について

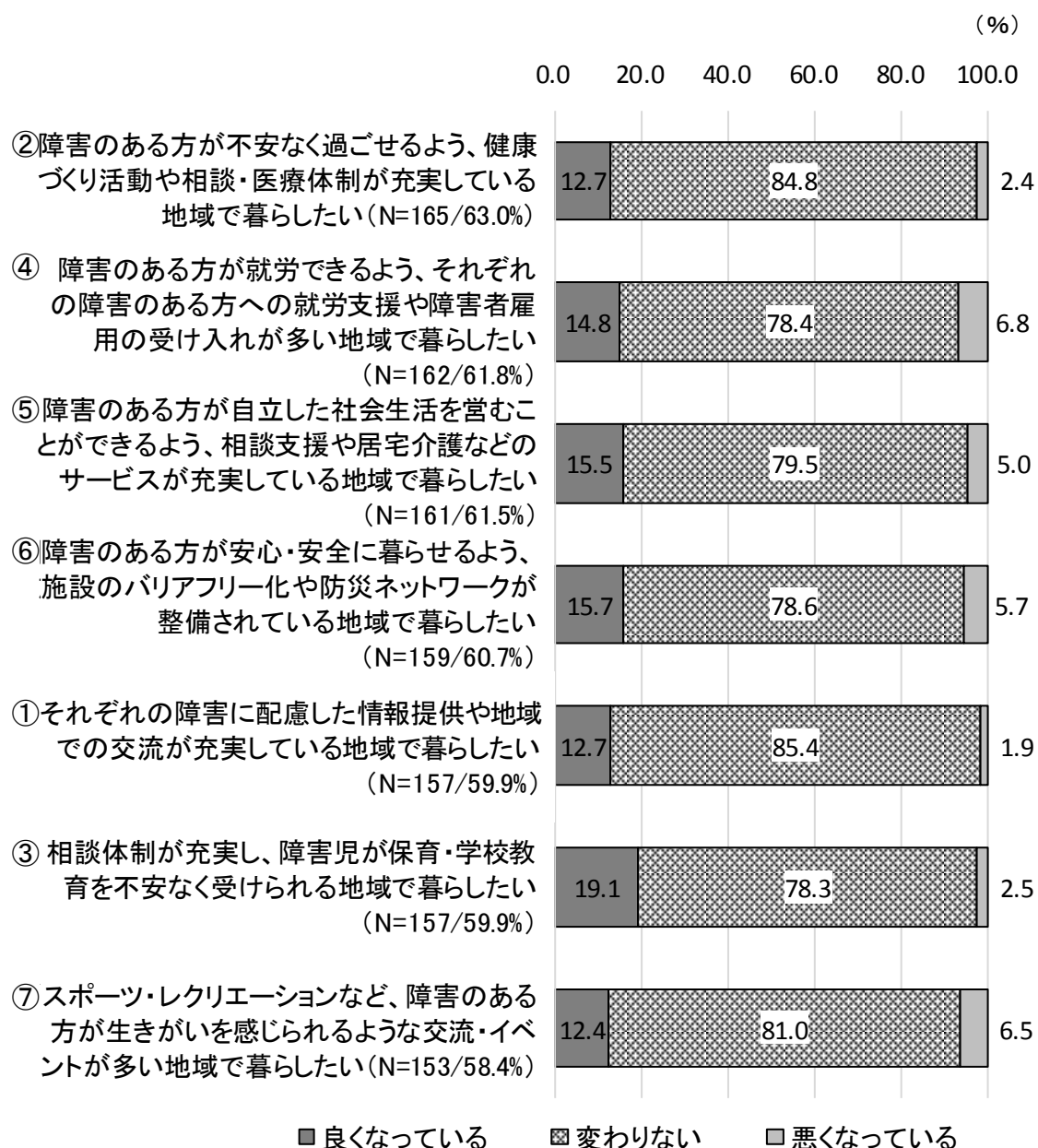
障害者施策について、身体障害者では『⑦スポーツ・レクリエーションなど、障害のある方が生きがいを感じられるような交流・イベントが多い地域で暮らしたい』を除く項目で、8割以上の方が重要と思うとし、『⑥障害のある方が安心・安全に暮らせるよう、施設のバリアフリー化や防災ネットワークが整備されている地域で暮らしたい』で「良くなっている」が16.9%と最も高くなっています。

■身体：重要と思う項目順に並び替え



知的障害者ではいずれの項目においても、5割以上の方が重要としており、『②障害のある方が不安なく過ごせるよう、健康づくり活動や相談・医療体制が充実している地域で暮らしたい』が63.0%と最も高くなっています。障害者施策の実態は『③相談体制が充実し、障害児が保育・学校教育を不安なく受けられる地域で暮らしたい』で「良くなっている」が19.1%と最も高くなっています。

■知的：重要と思う項目順に並び替え

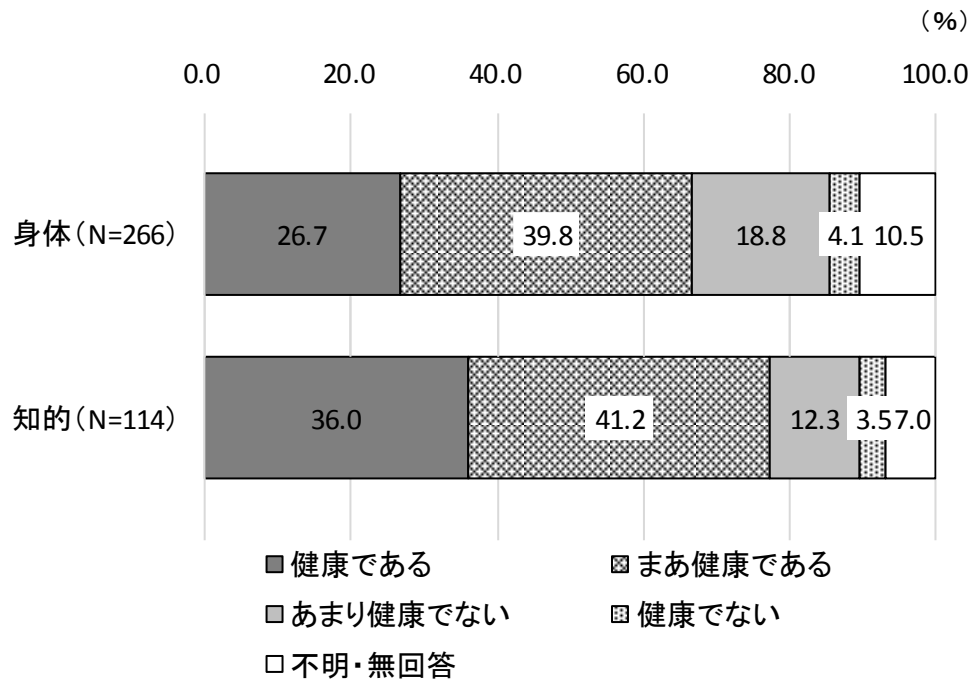


家庭内の主な介助者の方の状況について

※問 17 で「1」～「13」と回答した方のみ限定

問 47 介助者の健康状態はいかがですか。

介助者の健康状態について、身体障害者・知的障害者の介助者ともに「まあ健康である」が最も高く、それぞれ 39.8%、41.2%となっています。次いで「健康である」がそれぞれ 26.7%、36.0%となっています。

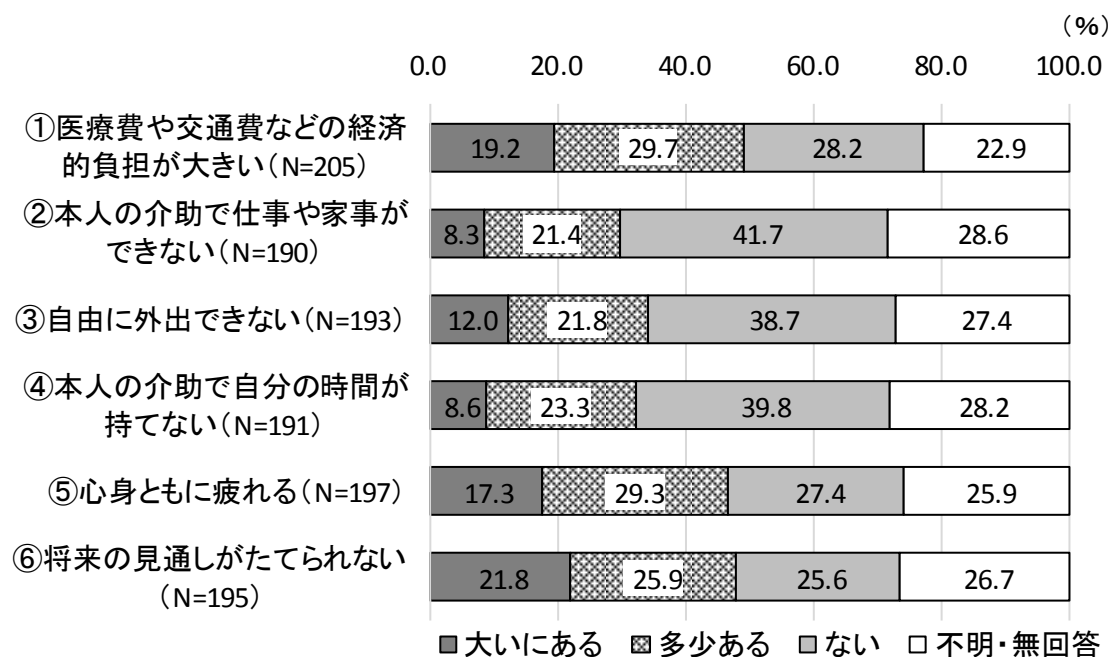


問 48 介助者として①～⑥のうち、あてはまるものは何ですか。

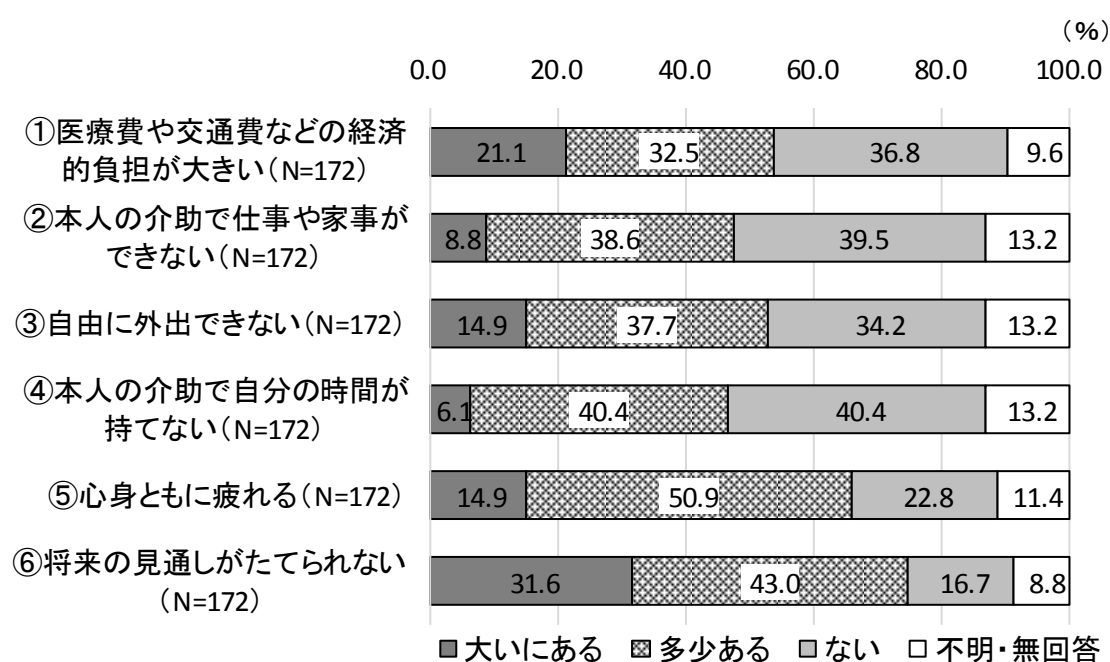
介助者としてあてはまるものについて、身体障害者の介助者では『⑥将来の見通しがたてられない』『⑤心身ともに疲れる』の割合が高くなっています。

知的障害者の介助者では『⑥将来の見通しがたてられない』『⑤心身ともに疲れる』の割合が高くなっています。

■身体



■知的

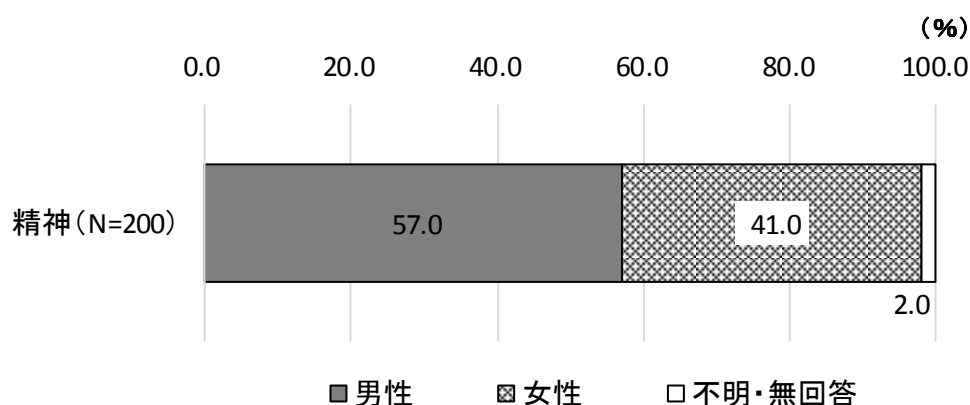


Ⅲ 精神障害者対象調査

回答者の基本的事項について

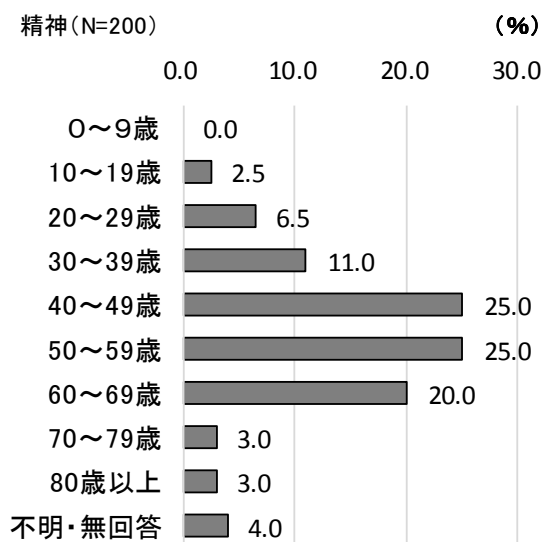
問1 あなたの性別を教えてください。

性別について、「男性」が 57.0%、「女性」が 41.0%となっています。



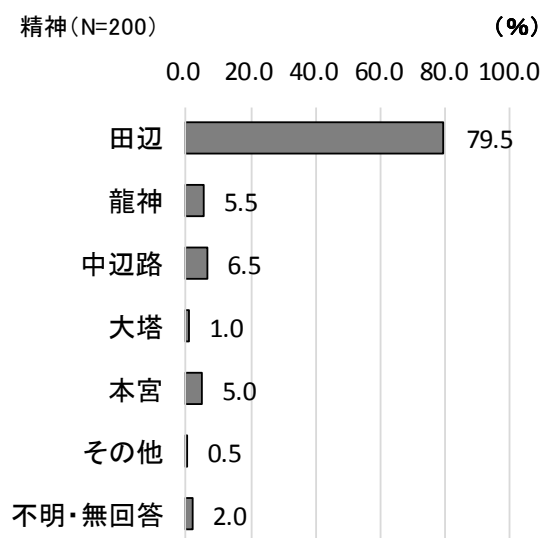
問2 あなたの年齢は何歳ですか。 ＜平成 29 年 7 月 1 日現在＞

年齢について、「40～49 歳」「50～59 歳」が最も高く、ともに 25.0%となっています。



問3 あなたのお住まいはどちらの地区ですか。

居住地区について、「田辺」が 79.5%と最も高くなっています。

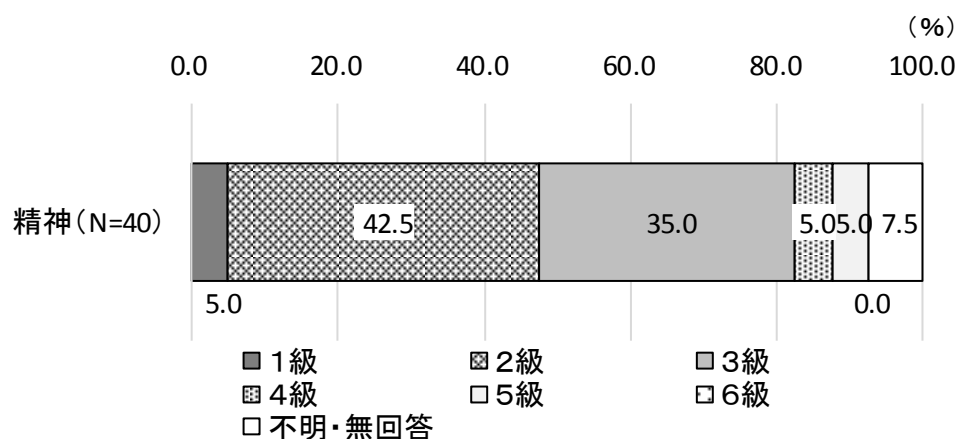


問4 あなたは次の手帳をお持ちですか。お持ちの場合は手帳の等級もお答えください。(複数回答)

【1 身体障害者手帳】

(1) 身体障害者手帳等級

身体障害者手帳等級について、「2級」が42.5%と最も高く、次いで「3級」が35.0%となっています。



※ 精神(N=40)とは、精神障害者の方で身体障害者手帳をお持ちの方

(2) 障害内容 (複数回答)

障害内容について、「下肢機能障害」が3件と最も多くなっています。

	件数	割合 (%)
視覚障害	0	0.0
聴覚障害	2	5.0
平衡機能障害	1	2.5
音声・言語、そしゃく機能障害	1	2.5
上肢機能障害	2	5.0
下肢機能障害	3	7.5
体幹機能障害	1	2.5
心臓機能障害	0	0.0
腎臓機能障害	1	2.5
呼吸機能障害	1	2.5
ぼうこう・直腸機能障害	2	5.0
小腸機能障害	0	0.0
肝臓機能障害	1	2.5
その他	19	47.5
不明・無回答	12	30.0
合計	40	100.0

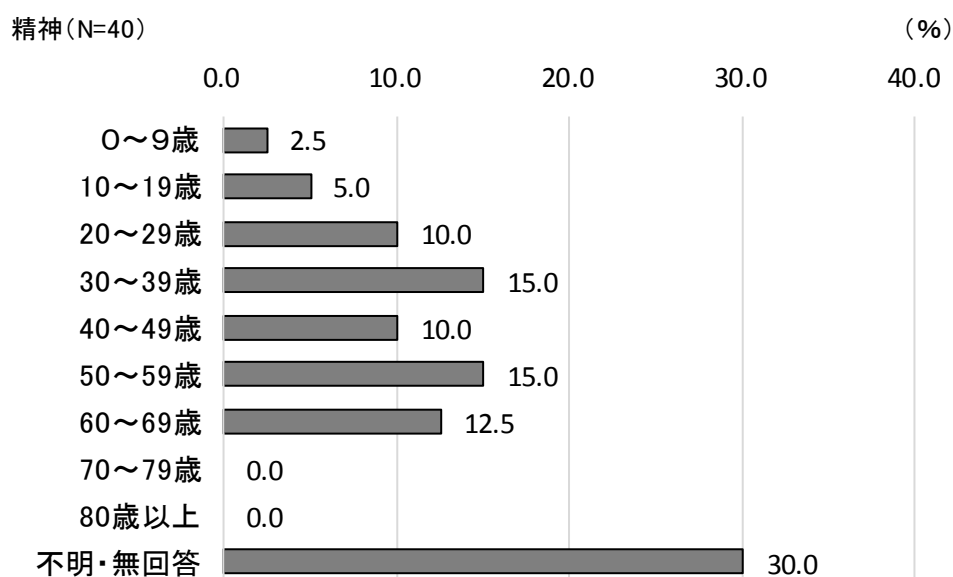
■その他回答(精神)

内容	件数
精神障害	3
統合失調症	2
脳性麻痺	1
認知症	1
コルサコフ症候群	1
うつ	1

※ 精神(N=40)とは、精神障害者の方で身体障害者手帳を

(3) 身体障害者手帳取得年齢

身体障害者手帳取得年齢について、「30～39 歳」「50～59 歳」が最も高く、ともに 15.0%となっています。



※ 精神(N=40)とは、精神障害者の方で身体障害者手帳をお持ちの方

【2 療育手帳】

(1) 療育手帳の判定

療育手帳の判定について、「B 2」が 7 件と最も多くなっています。

	件数	割合 (%)
A1	1	9.1
A2	0	0.0
B1	2	18.2
B2	7	63.6
不明・無回答	1	9.1
合計	11	100.0

※ 精神(N=11)とは、精神障害者の方で療育手帳をお持ちの方

(2) 療育手帳の取得年齢

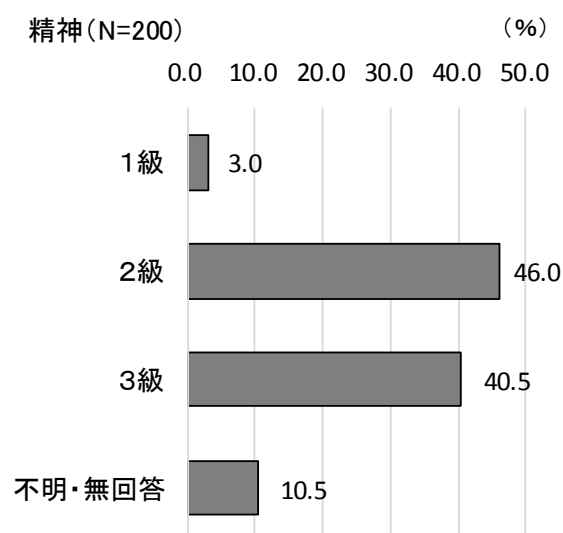
療育手帳の取得年齢について、「10～19 歳」「20～29 歳」「40～49 歳」がそれぞれ 2 件となっています。

	件数	割合 (%)
0～9歳	0	0.0
10～19歳	2	18.2
20～29歳	2	18.2
30～39歳	1	9.1
40～49歳	2	18.2
50～59歳	0	0.0
60～69歳	1	9.1
70～79歳	0	0.0
80歳以上	0	0.0
不明・無回答	3	27.3
合計	11	100.0

【3 精神障害者保健福祉手帳】

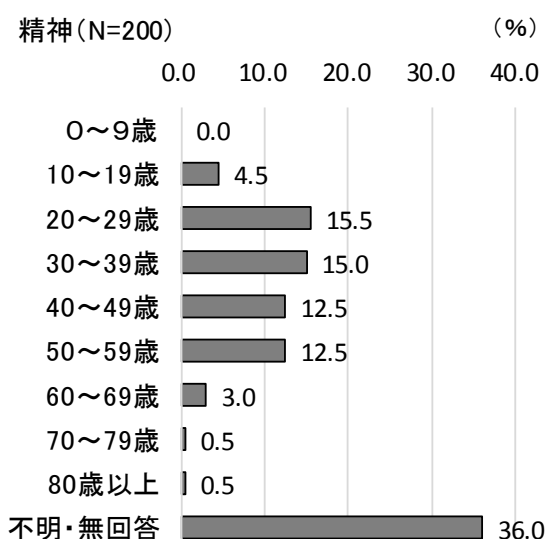
（１）精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳の等級について、「２級」が46.0%、「３級」が40.5%、「１級」が3.0%となっています。



（２）精神障害者保健福祉手帳取得年齢

精神障害者保健福祉手帳取得年齢について、「20～29歳」が15.5%と最も高く、次いで「30～39歳」が15.0%となっています。

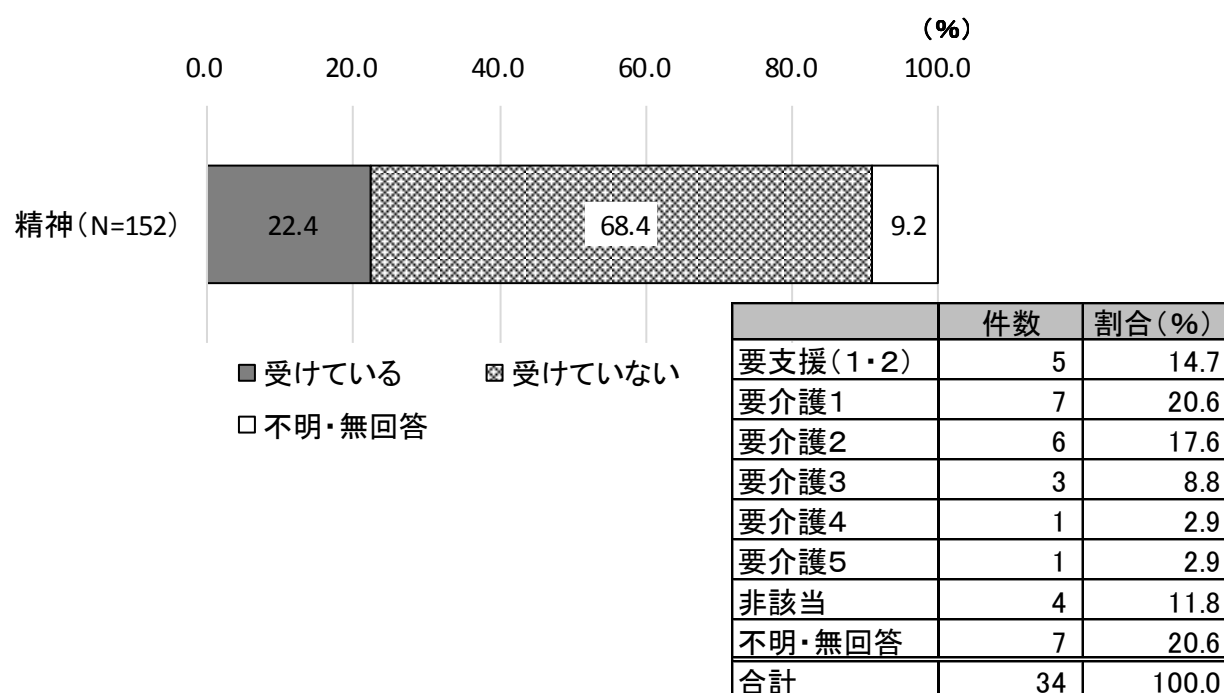


現在、40歳以上の方

問5 あなたは、介護保険法の要介護認定を受けていますか。受けている場合は要介護度もお答えください。

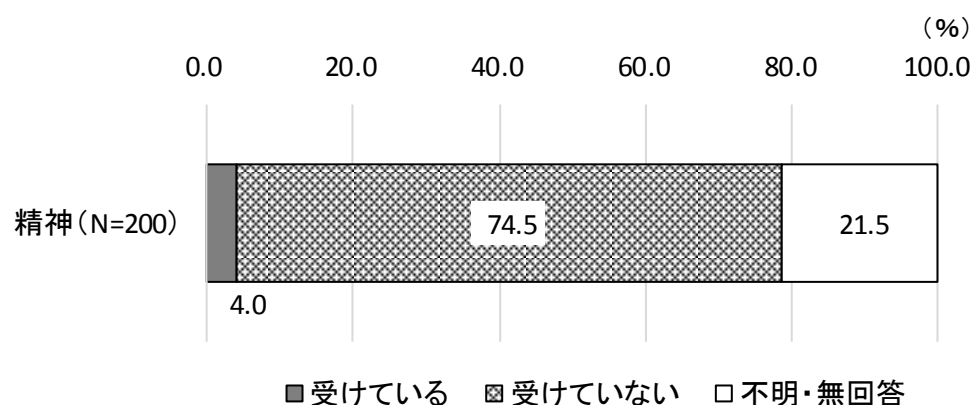
介護保険法の要介護認定について、「受けている」が22.4%となっています。

要介護度については、「要介護1」が7件と最も多くなっています。



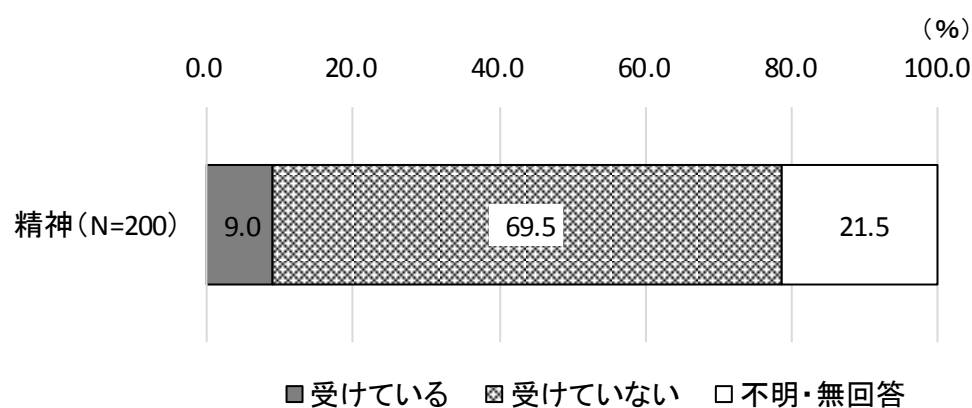
問6 あなたは、難病（特定疾患）の認定を受けていますか。

難病（特定疾患）の認定について、「受けている」が4.0%となっています。



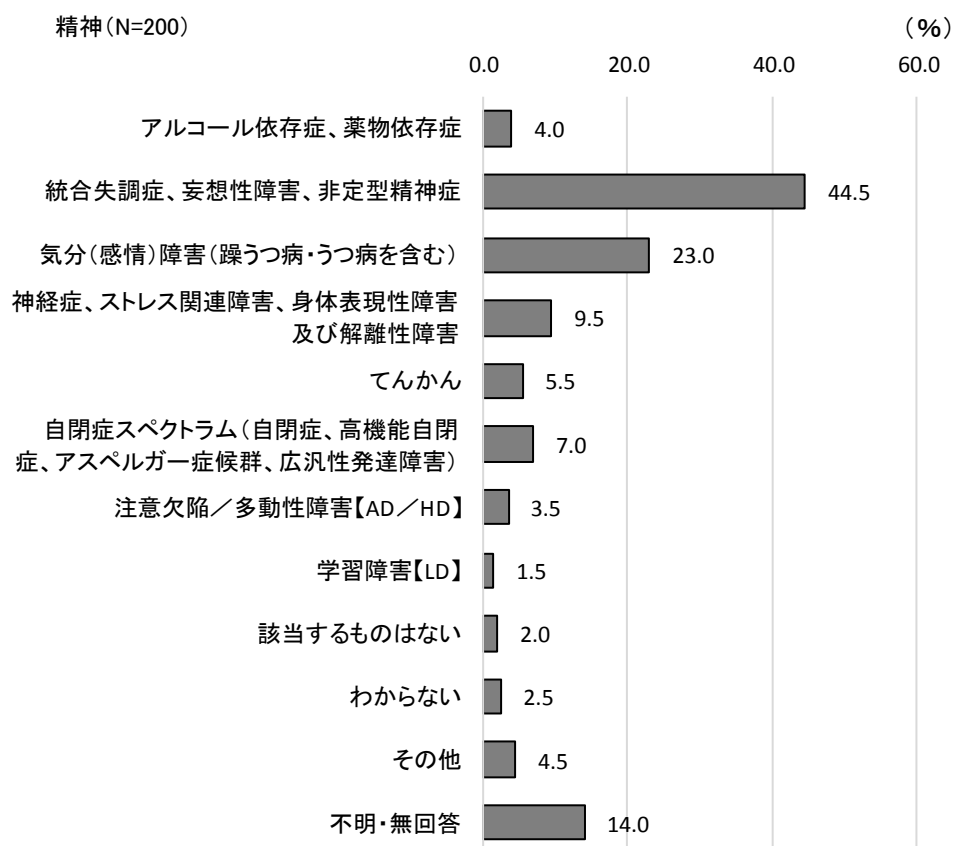
問7 あなたは発達障害（広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害など）の診断を受けていますか。

発達障害の診断について、「受けている」が9.0%となっています。



問8 次のうち該当するものがありますか。

次の症状のうち該当するものがあるかについて、「総合失調症、妄想性障害、非定型精神症」が44.5%と最も高く、次いで「気分（感情）障害（躁うつ病・うつ病を含む）」が23.0%となっています。



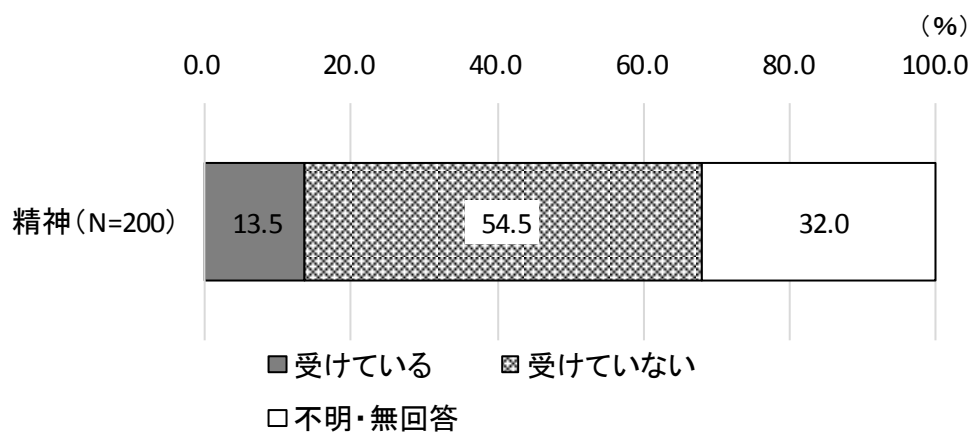
■その他回答（精神）

内容
幻聴
小児麻痺
摂食障害
全般性不安障害
聴覚、接触が過敏
解離性障害□

問 9 あなたは、障害者総合支援法の障害支援区分を受けていますか。受けている場合は障害支援区分もお答えください。

障害者総合支援法の障害支援区分認定について、「受けている」が 13.5%となっています。

障害支援区分については、「区分 3」が 12 件と最も多く、次いで「区分 2」が 5 件となっています。

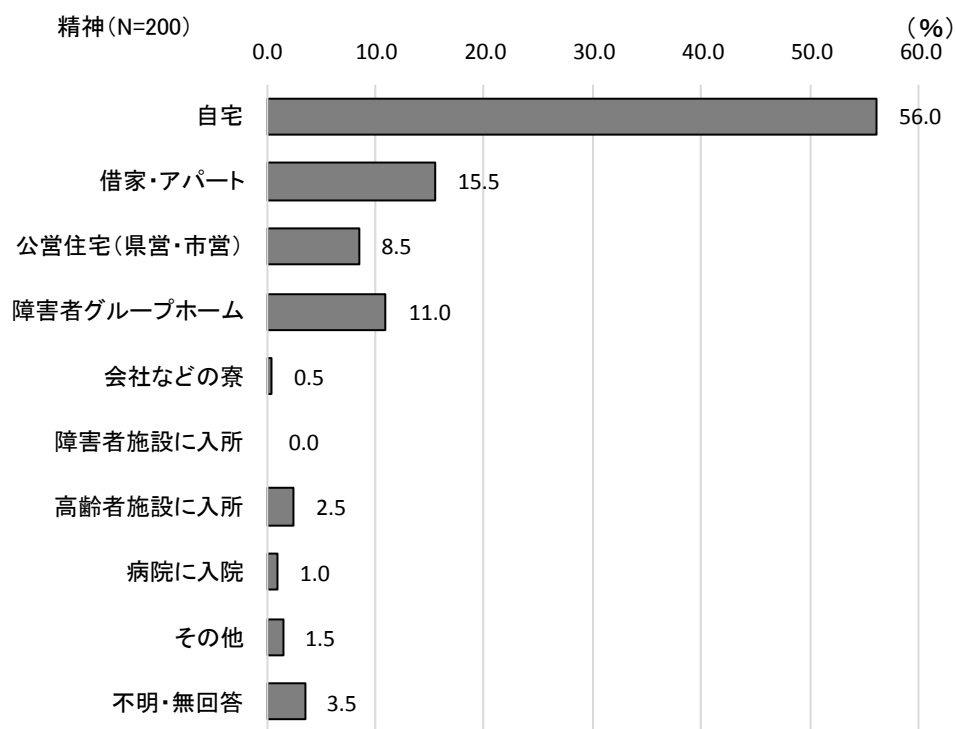


	件数	割合 (%)
区分1	1	3.7
区分2	5	18.5
区分3	12	44.4
区分4	2	7.4
区分5	0	0.0
区分6	0	0.0
非該当	2	7.4
不明・無回答	5	18.5
合計	27	100.0

生活支援について

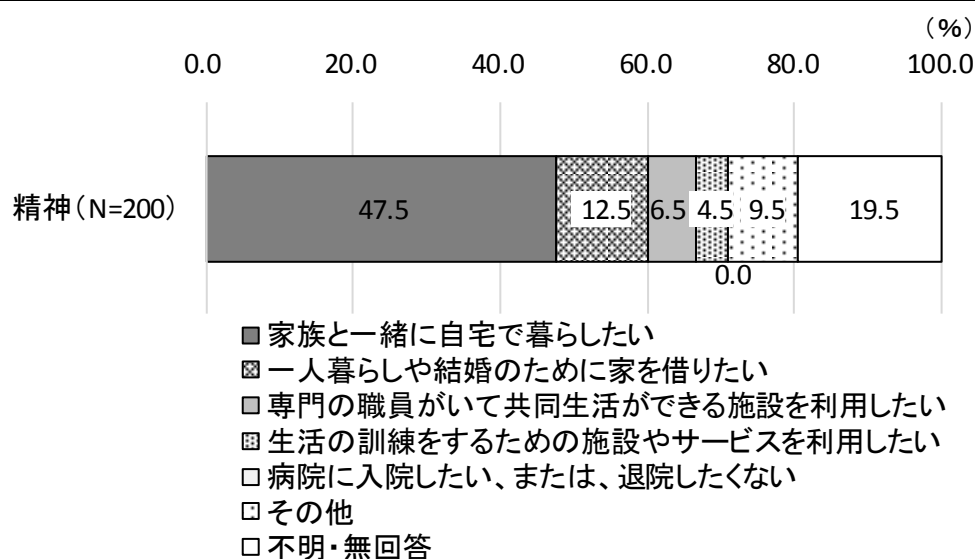
問 10 あなたは、現在どこで暮らしていますか。

現在の住まいについて、「自宅」が 56.0%と最も高く、次いで「借家・アパート」が 15.5%、「障害者グループホーム」が 11.0%となっています。



問 11 次にあげる「生活の場」のうち、今後暮らしたいと思うのはどれですか。

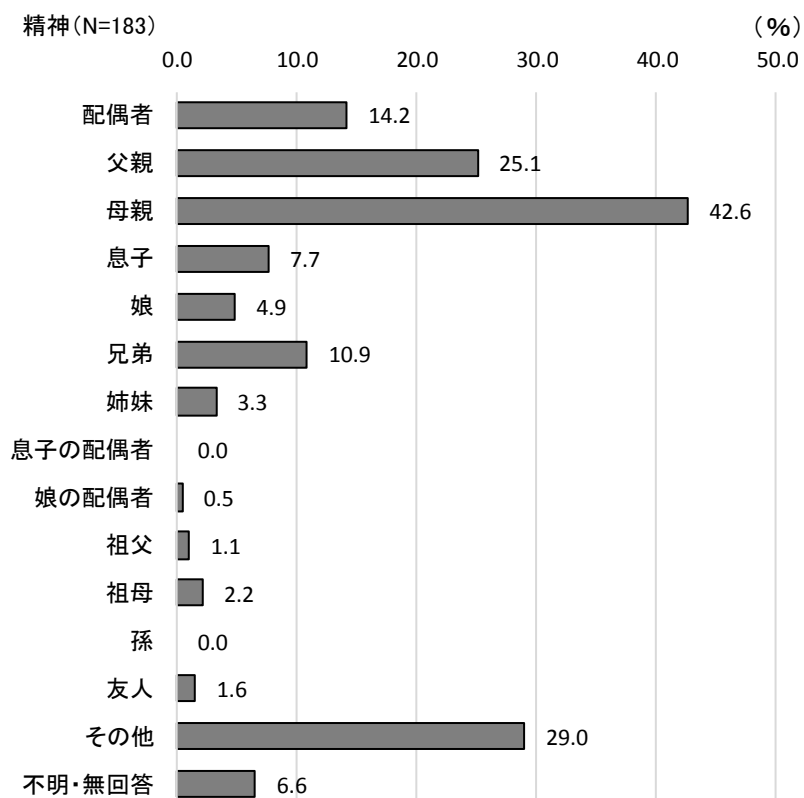
今後暮らしたいと思う「生活の場」について、「家族と一緒に自宅で暮らしたい」が 47.5%と最も高く、次いで「一人暮らしや結婚のために家を借りたい」が 12.5%となっています。



※問 10 で 1 ～ 4 のいずれかを選択した自宅で生活している方

問 12 現在、一緒に暮らしている人は誰ですか。(複数回答)

現在、一緒に暮らしている人について、「母親」が 42.6%と最も高く、次いで「父親」が 25.1%となっています。



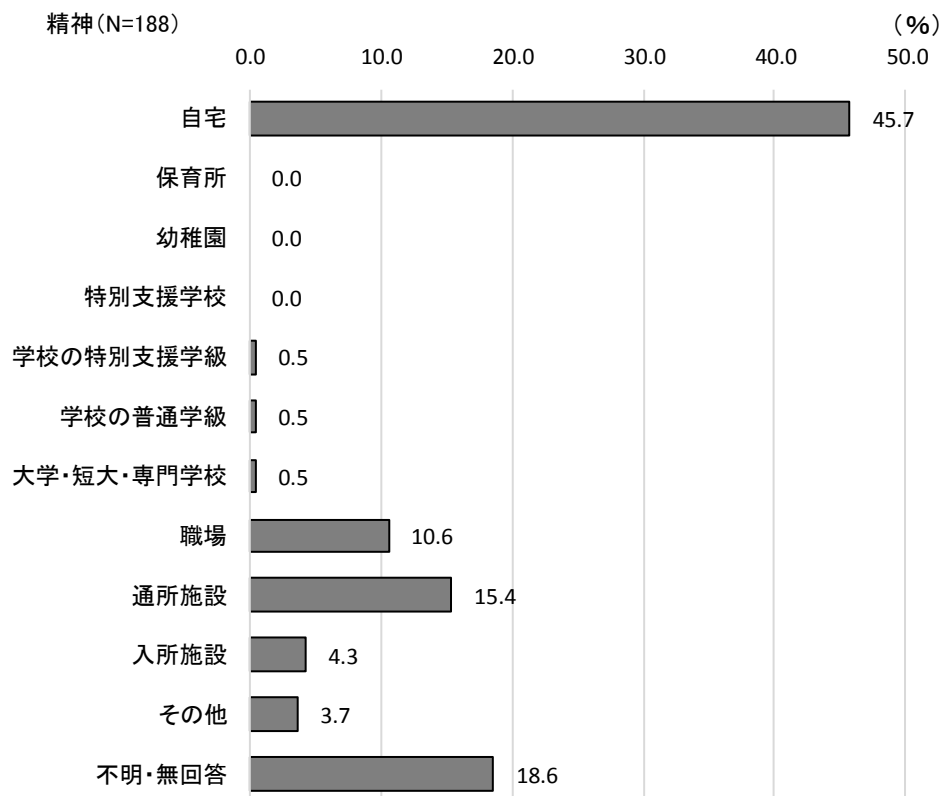
■その他回答(精神)

内容	件数
一人暮らし	24
グループホームのメンバー	9
おじ・おば	1
作業所	1
施設に入所	1
配偶者	1
配偶者の兄弟	1

※問 10 で「8. 病院に入院」「9. その他」以外を選択した方

問 13 平日の昼間を主にどこでお過ごしですか。

平日の昼間を過ごしている場所について、「自宅」が 45.7%と最も高く、次いで「通所施設」が 15.4%となっています。



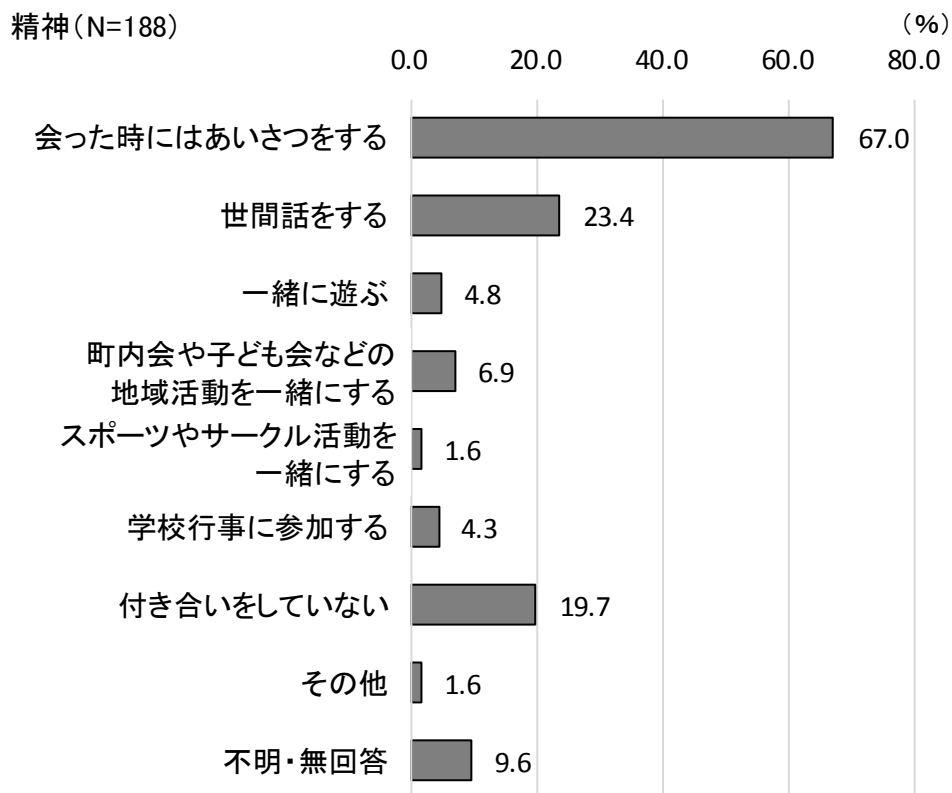
■その他回答 (精神)

内容	件数
作業所	4
家族と外出	1

※問 10 で「8. 病院に入院」「9. その他」以外を選択した方

問 14 地域の人とどのようなお付き合いをされていますか。(複数回答)

地域の方の付き合いについて、「会ったときにはあいさつをする」が 67.0%と最も高く、次いで「世間話をする」が 23.4%となっています。



■その他回答(精神)

内容
施設での交流

※問 10 で「8. 病院に入院」を選択した方

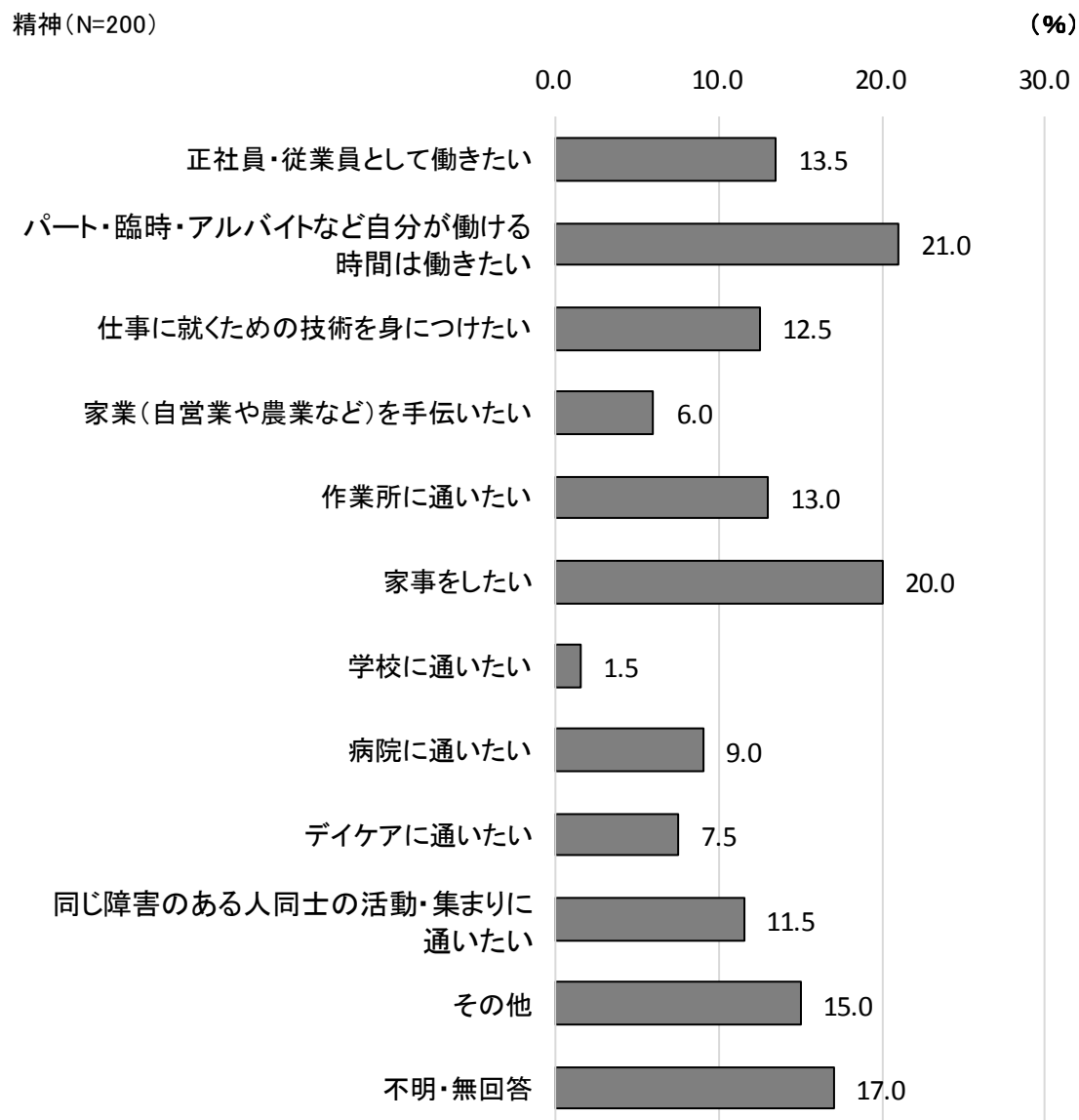
問 15 今後、退院するためにどのような条件が必要だと思いますか。(複数回答)

退院するために必要な条件について、「緊急時に助けてくれる人がいること」が2件、「支援スタッフのいる住宅施設を利用すること」「通えるなじみの場所があること」「パートナーや友人など理解者がいること」「生活をするためのお金があること」「食事の準備や洗濯・掃除など家事を手伝ってくれる人がいること」「金銭管理を手伝ってくれる人がいること」がそれぞれ1件となっています。

	件数	割合(%)
賃貸住宅など住む家を準備すること	0	0.0
支援スタッフのいる住宅施設を利用すること	1	50.0
仕事に就くこと、またはそのための準備をすること	0	0.0
通えるなじみの場所があること	1	50.0
パートナーや友人など理解者がいること	1	50.0
生活をするためのお金があること	1	50.0
保証人(アパートや施設利用などの契約時に必要)がいること	0	0.0
食事の準備や洗濯・掃除など家事を手伝ってくれる人がいること	1	50.0
金銭管理を手伝ってくれる人がいること	1	50.0
体調や服薬のアドバイスをくれる人がいること	0	0.0
どんなものが必要なのか相談に乗ってくれる人がいること	0	0.0
緊急時に助けてくれる人がいること	2	100.0
特にない	0	0.0
その他	0	0.0
不明・無回答	0	0.0
合計	2	100.0

問 16 今後、日中はどのようなことをしていきたいですか。入院中の方は、退院後を想定してお答えください。(複数回答)

今後、日中はどのようなことをしたいかについて、「パート・臨時・アルバイトなど自分が働ける時間は働きたい」が21.0%と最も高く、次いで「家事をしたい」が20.0%となっています。

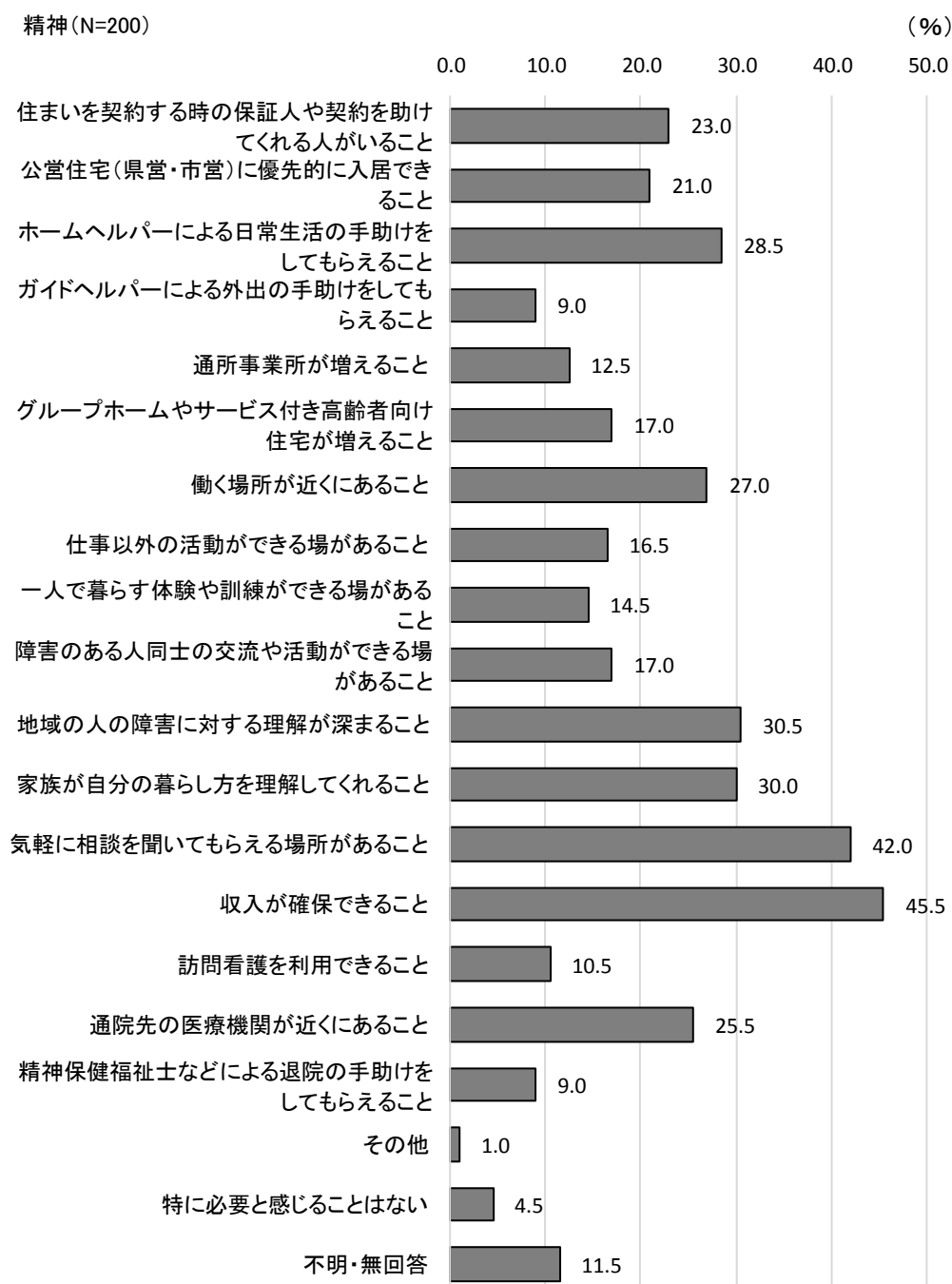


■その他回答(精神)

内容	件数
自宅で静かに過ごしたい	6
今のままでいい	3
家事をして、趣味も楽しみたい	2
他人に迷惑をかけず、ゆっくり過ごしたい	1
簡単な仕事	1
体と心を治して、元気になりたい	1
家族の介護	1
自宅ではないところで過ごしたい	1

問 17 地域で自立した生活をするにあたって、どのようなことが必要だと思いますか。
(複数回答)

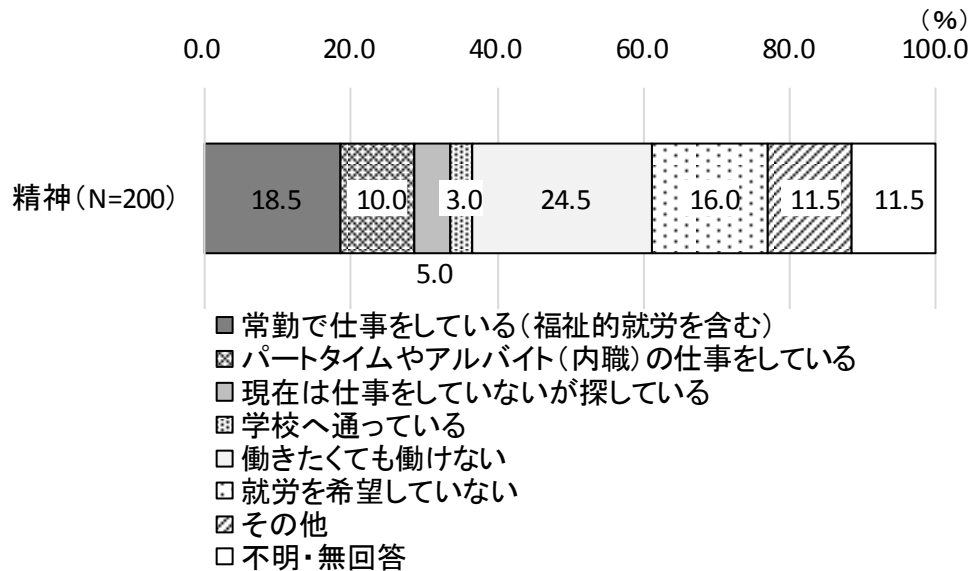
地域で自立した生活をするにあたって必要なことについて、「収入が確保できること」が 45.5%と最も高く、次いで「気軽に相談を聞いてもらえる場所があること」が 42.0%となっています。



仕事について

問 18 就労の状況や形態は次のどれですか。

就労の状況や形態について、「働きたくても働けない」が 24.5%と最も高く、次いで「常勤で仕事をしている（福祉的就労を含む）」が 18.5%となっています。



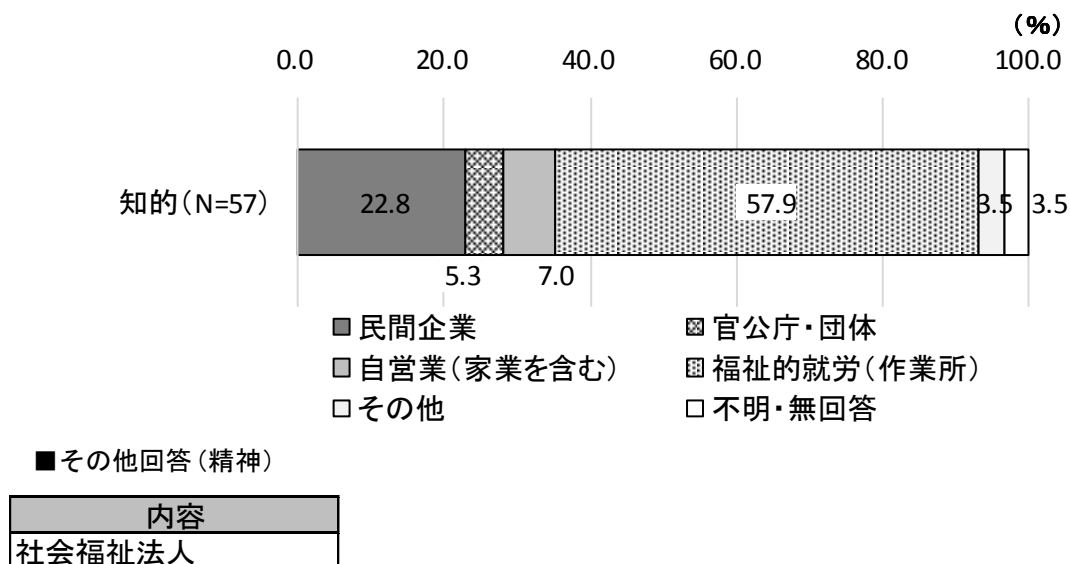
■ その他回答(精神)

内容	件数
作業所	8
自営業(手伝い含む)	3
就労できない	1
高齢のため仕事をしていない	1
カフェ	1

問 18 で 1 ～ 2 と回答された「就労している方」

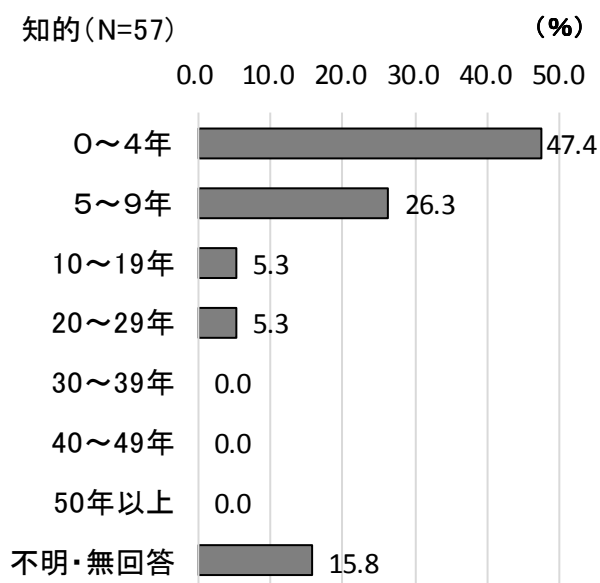
問 19 (1) 就労先

就労先について、「福祉的就労（作業所）」が 57.9%と最も高く、次いで「民間企業」が 22.8%となっています。



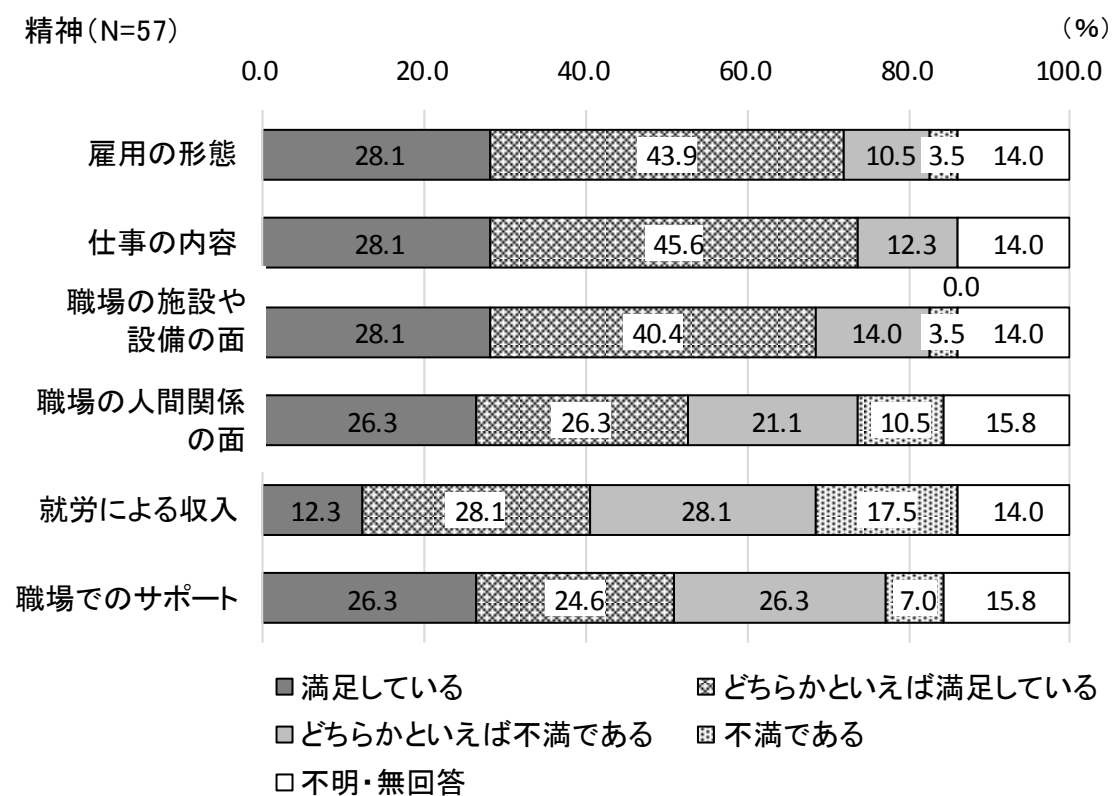
(2) 現在の仕事の就労期間はどのくらいですか。＜平成 29 年 7 月 1 日現在＞

現在、仕事の就労期間について、「0～4年」が 47.4%と最も高く、次いで「5～9年」が 26.3%となっています。



(3) あなたは現在の仕事や職場に満足していますか。

仕事や職場に満足しているかについて、「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計を<満足>、「どちらかといえば不満である」「不満である」の合計を<不満>とすると、『雇用の形態』『仕事の内容』『職場の施設や設備の面』で<満足>が高くなっており、『職場の人間関係』『就労による収入』『職場でのサポート』で<不満>が高くなっています。



問 18 で 3 ～ 4 と回答した方

問 20 あなたはどのような仕事に就きたいですか。

(1) 就労の形態

希望する就労形態は、「常勤で仕事をしたい」が5件となっています。

	件数	割合(%)
常勤で仕事をしたい	5	31.3
パートタイムやアルバイトの仕事をしたい	1	6.3
その他	1	6.3
不明・無回答	9	56.3
合計	16	100.0

■その他回答(精神)

内容
家業

(2) 就労先

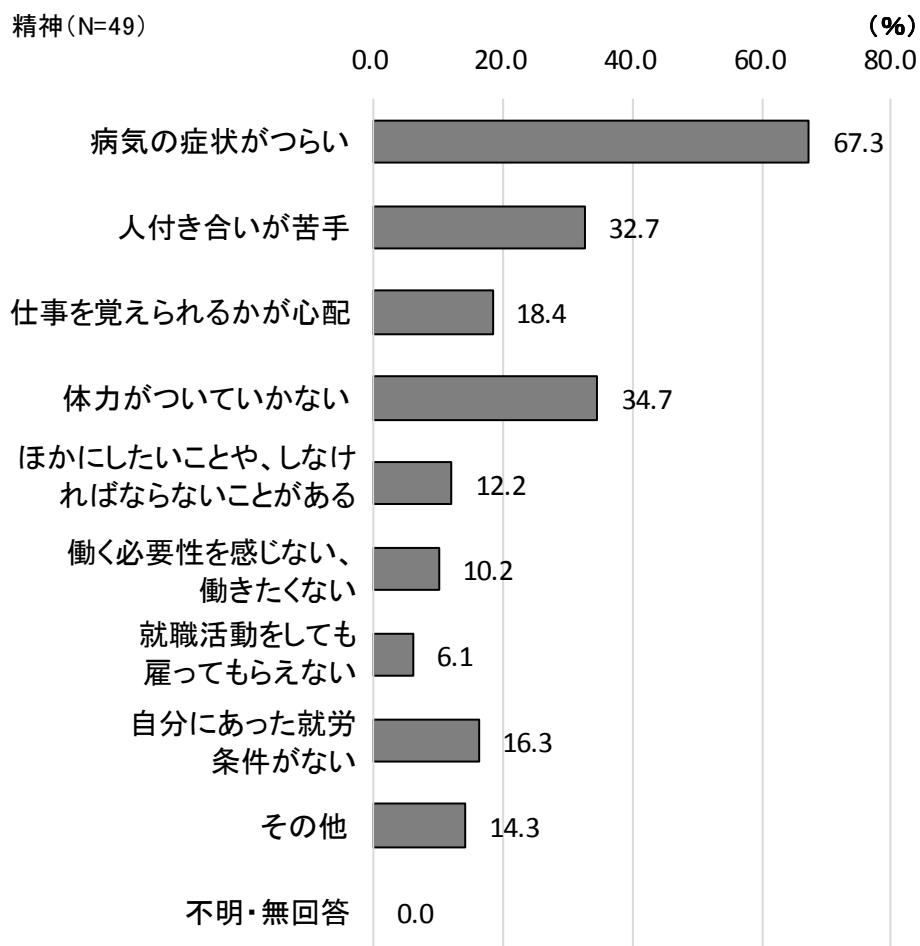
希望する就労先については、「民間企業」「官公庁・団体」「福祉的就労(作業所)」がそれぞれ2件となっています。

	件数	割合(%)
民間企業	2	12.5
官公庁・団体	2	12.5
自営業(家業を含む)	1	6.3
福祉的就労(作業所)	2	12.5
その他	0	0.0
不明・無回答	9	56.3
合計	16	100.0

問 18 で 5 ～ 6 と回答した方

問 21 働けない理由は何ですか。(複数回答)

働けない理由について、「病気の症状がつらい」が 67.3%と最も高く、次いで「体力がついていかない」が 34.7%、「人付き合いが苦手」が 32.7%となっています。



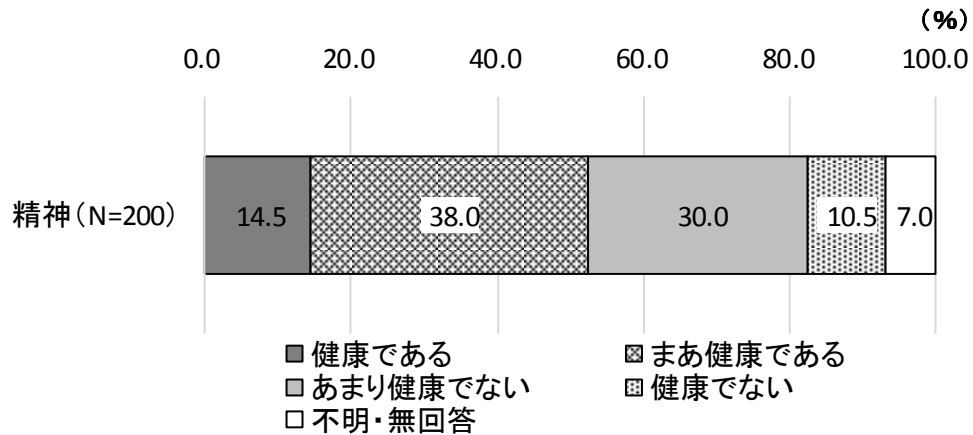
■その他回答(精神)

内容	件数
親の介護・介助	2
教えてもらわないとできない	1
身体が痛い	1
企業の理解とサポートがない	1
ドクターストップ	1
認知症	1

医療・保健について

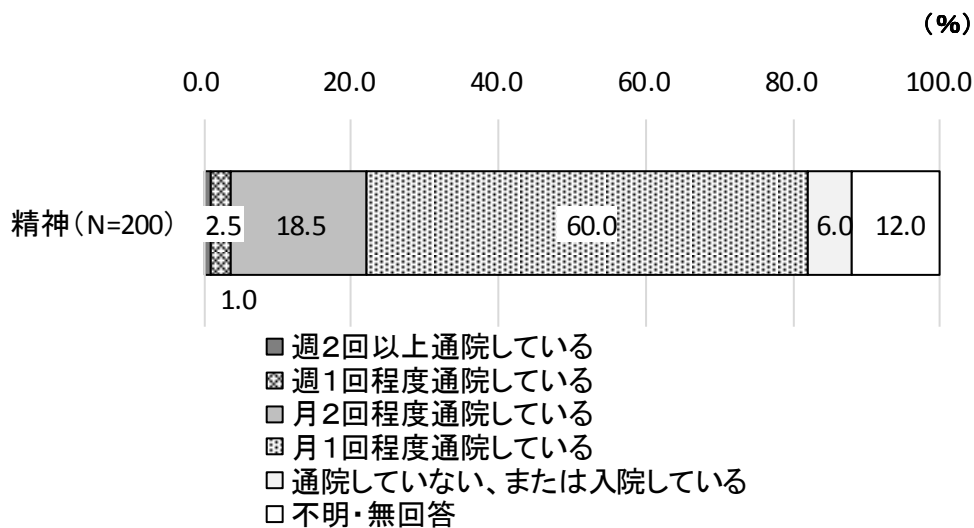
問 22 あなたの健康状態はいかがですか。

健康状態について、「まあ健康である」が 38.0%、次いで「あまり健康でない」が 30.0%、「健康である」が 14.5%、「健康でない」が 10.5%となっています。



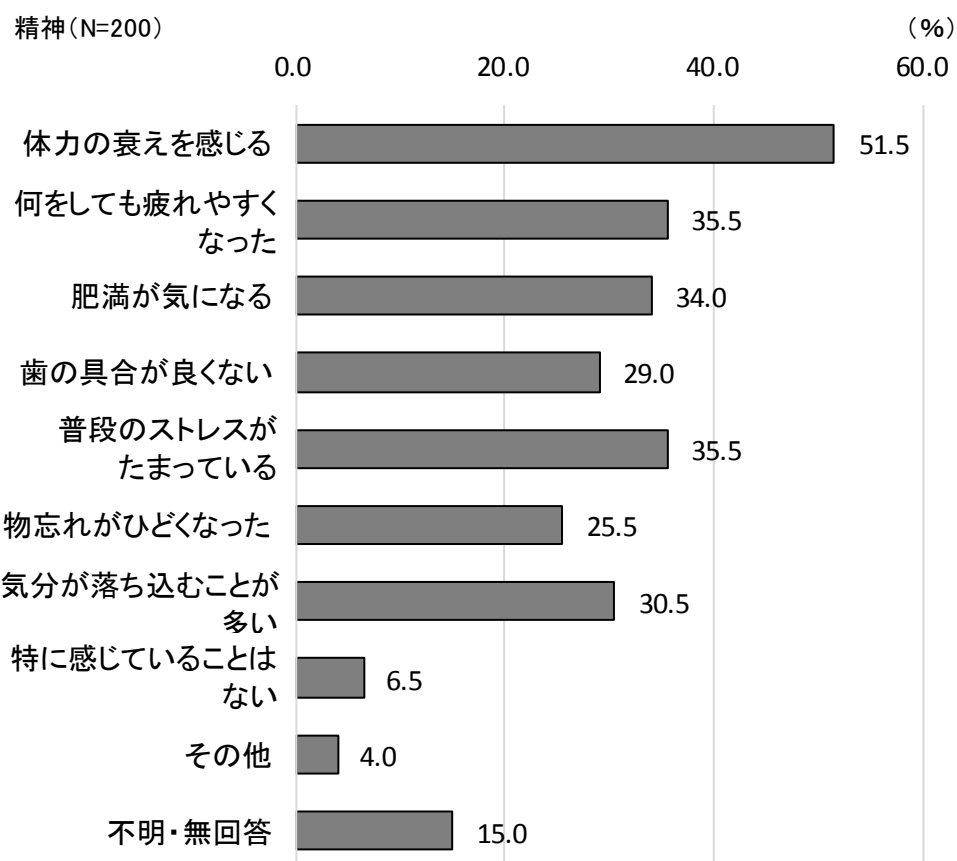
問 23 あなたは通院していますか。また、通院の頻度はどのくらいですか。

通院の頻度について、「月 1 回程度通院している」が 60.0%と最も高く、次いで「月 2 回程度通院している」が 18.5%となっています。



問 24 最近の健康状態で、感じていることは何ですか。(複数回答)

最近の健康状態で感じていることについて、「体力の衰えを感じる」が 51.5%と最も高く、次いで「何をしても疲れやすくなった」「普段のストレスがたまっている」がともに 35.5%となっています。



■その他回答(精神)

内容	件数
病気との付き合いの難しさ故のストレス	1
ひきつけを起こす	1
寝たきりの状態	1
症状がよく出る	1
その他	2

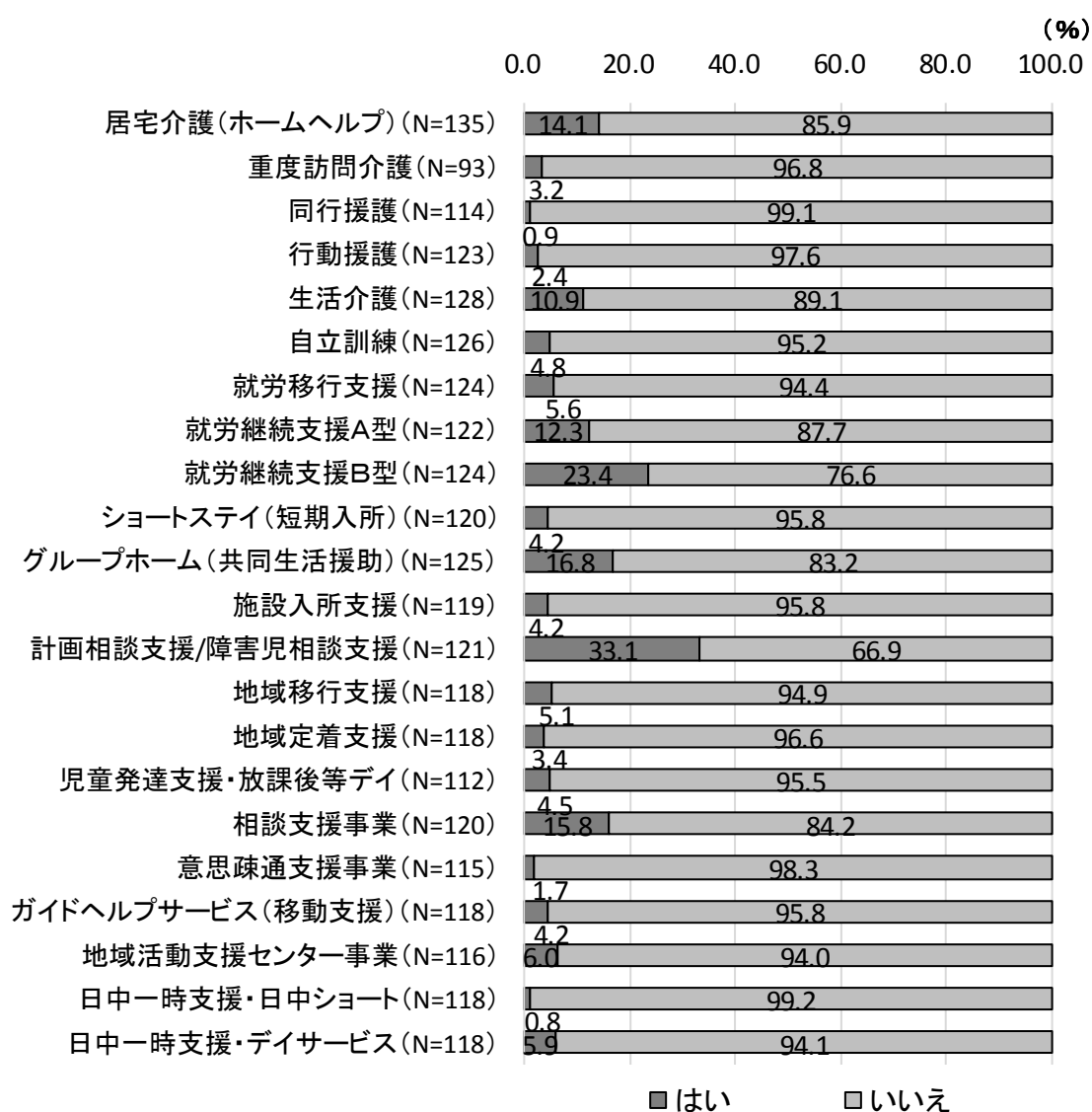
福祉サービスについて

問 25 あなたは次の各種サービスを利用していますか、また今後利用したいですか。
※不明・無回答は除く

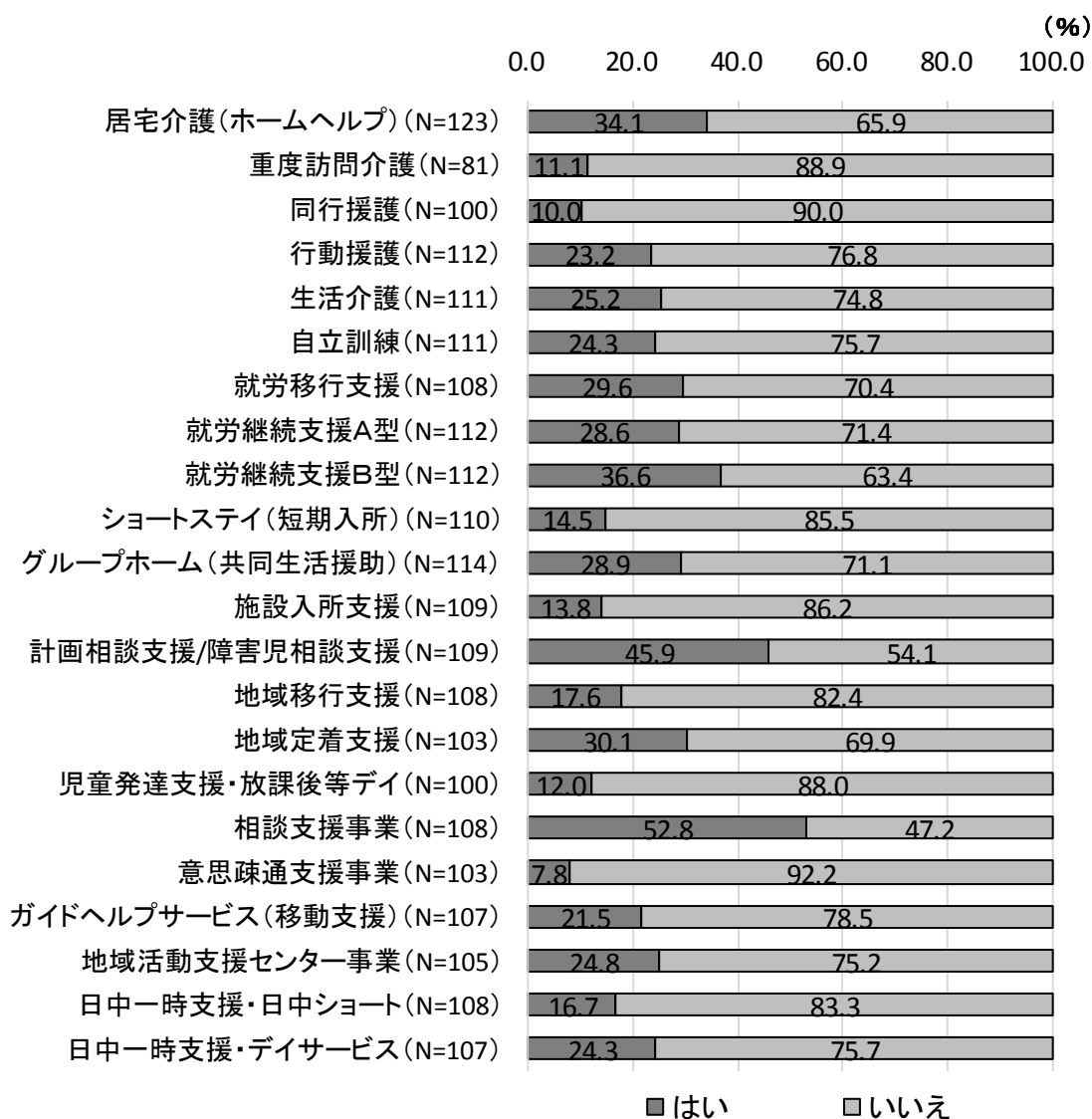
各種サービスの利用状況について、「計画相談支援/障害児相談支援」が 33.1%と最も高く、次いで「就労継続支援B型」が 23.4%となっています。

利用意向については、「相談支援事業」が 52.8%と最も高く、次いで「計画相談支援/障害児相談支援」が 45.9%となっています。

■利用状況

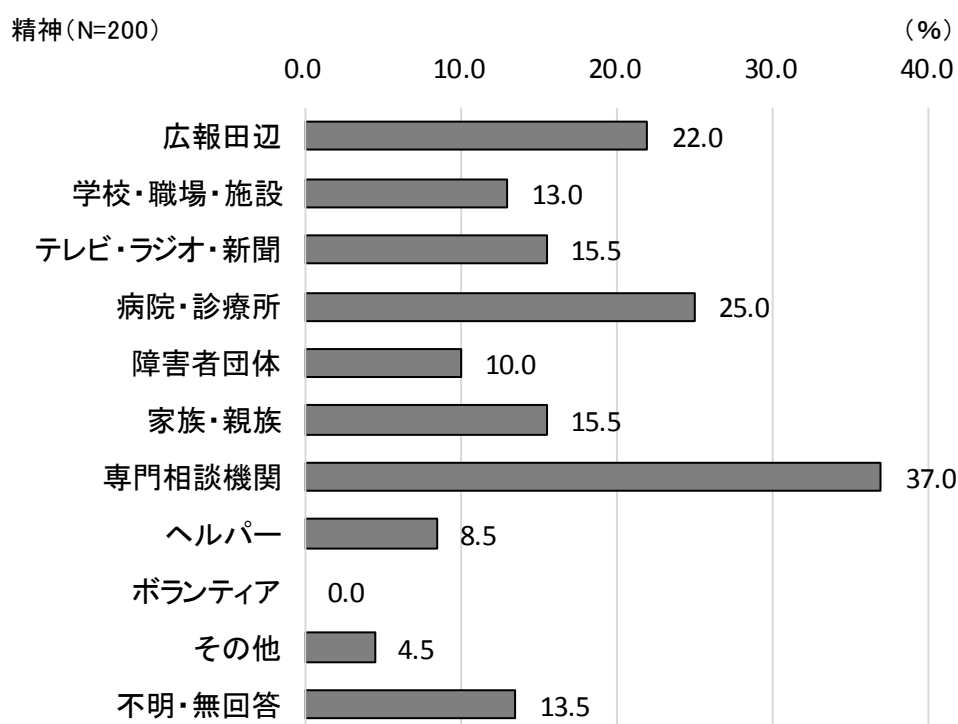


■利用意向



問 26 現在、サービスに関する情報をどこから入手していますか。(複数回答)

サービスに関する情報の入手先について、「専門相談機関」が 37.0%と最も高く、次いで「病院・診療所」が 25.0%となっています。

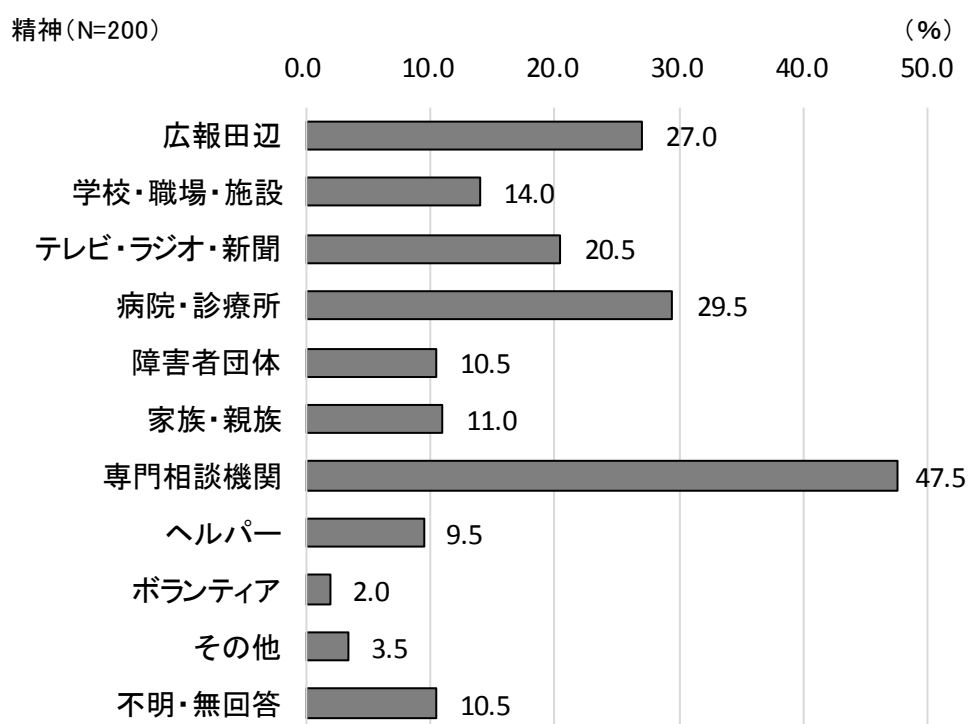


■その他回答(精神)

内容	件数
グループホーム	2
友人	2
入手できない	1
包括支援センター	1
デイケア	1

問 27 今後、サービスに関する情報をどこから入手したいと思いますか。(複数回答)

サービスに関する情報の希望する入手先について、「専門相談機関」が 47.5%と最も高く、次いで「病院・診療所」が 29.5%となっています。



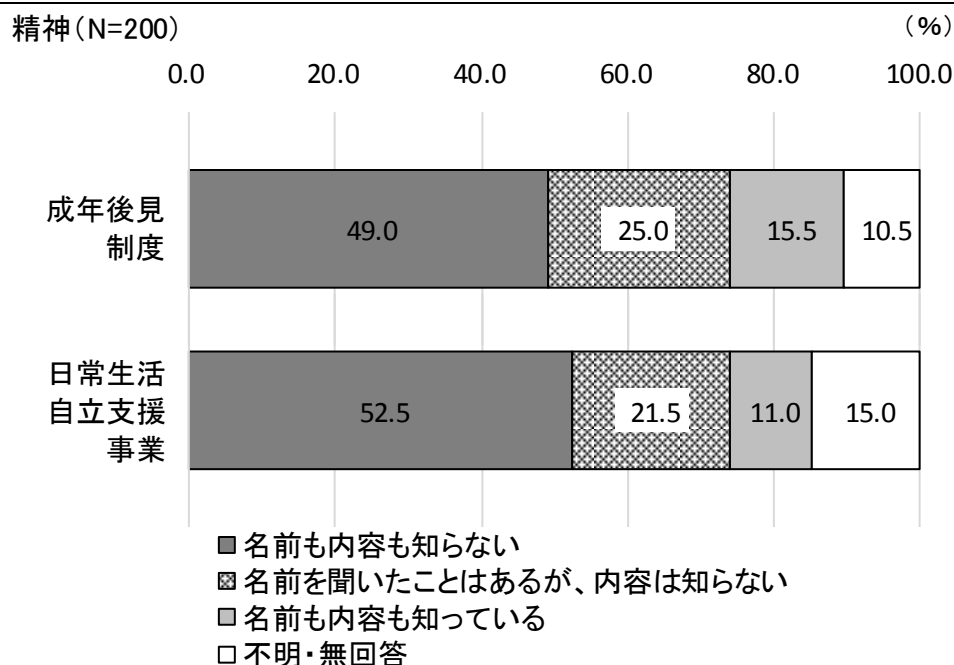
■その他回答(精神)

内容	件数
グループホーム	2
市役所	1
インターネット	1
デイケア	1

問 28 あなたは、成年後見人制度や日常生活自立支援事業を知っていますか。

『成年後見制度』について、「名前も内容も知らない」が 49.0%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 25.0%、「名前も内容も知っている」が 15.5%となっています。

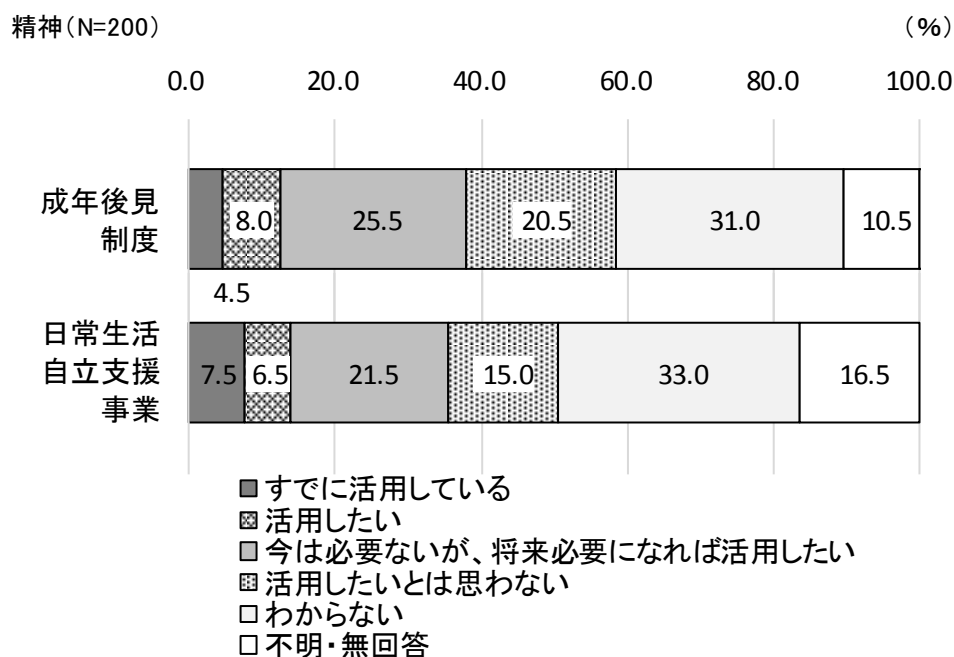
『日常生活自立支援事業』について、「名前も内容も知らない」が 52.5%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 21.5%、「名前も内容も知っている」が 11.0%となっています。



問 29 あなたは、成年後見人制度や日常生活支援事業を活用したいと思いますか。

『成年後見制度』では、「わからない」が 31.0%と最も高く、次いで「今は必要ないが、将来必要になれば活用したい」が 25.5%、「活用したいとは思わない」が 20.5%となっています。

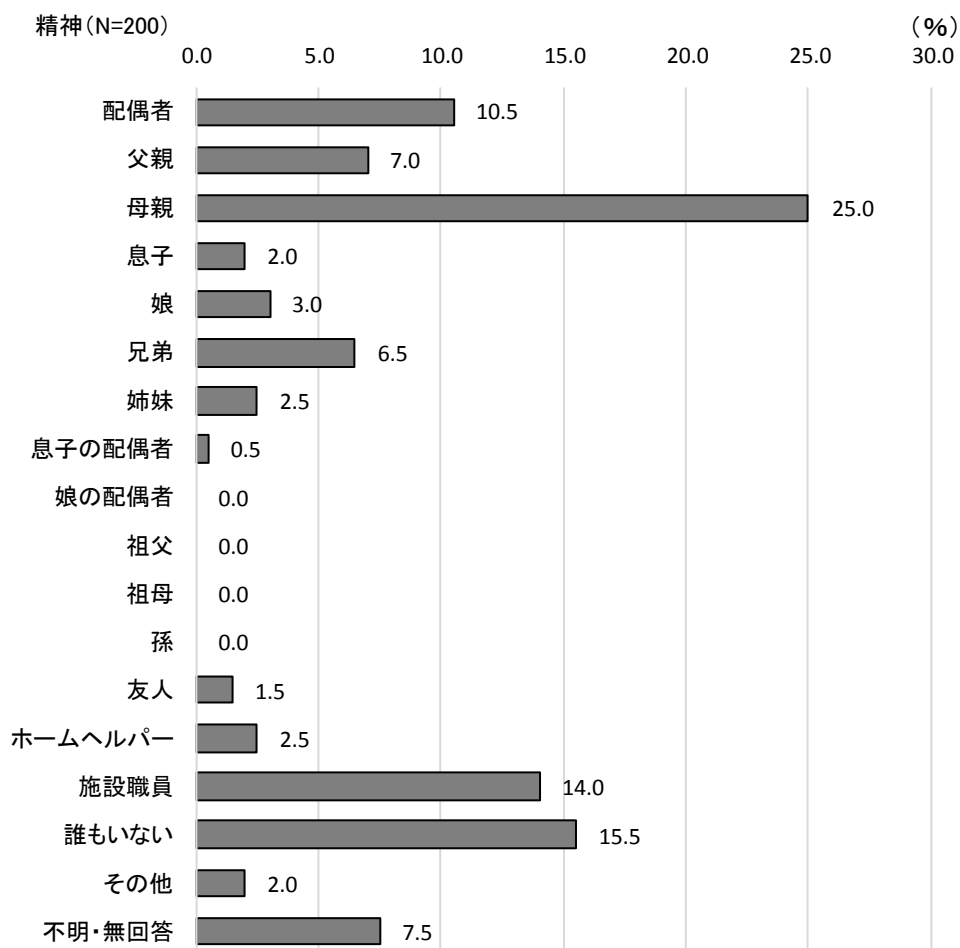
『日常生活支援事業』では、「わからない」が 33.0%と最も高く、次いで「今は必要ないが、将来必要になれば活用したい」が 21.5%、「活用したいとは思わない」が 15.0%となっています。



主な介助者について

問 30 主な介助者はどなたですか。

主な介助者について、「母親」が 25.0%と最も高く、次いで「誰もいない」が 15.5%、「施設職員」が 14.0%となっています。



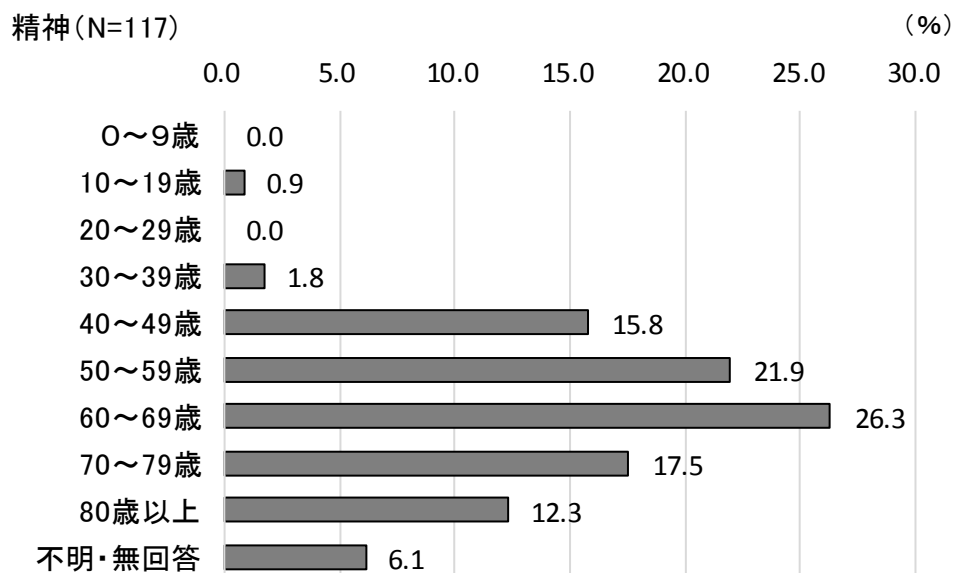
■その他回答(精神)

内容	件数
グループホーム職員	1
兄弟の配偶者	1
必要ない	2

※問 30 で 1 ～13 と回答した方のみ

問 31 主な介助者の方の年齢は何歳ですか。＜平成 29 年 7 月 1 日現在＞

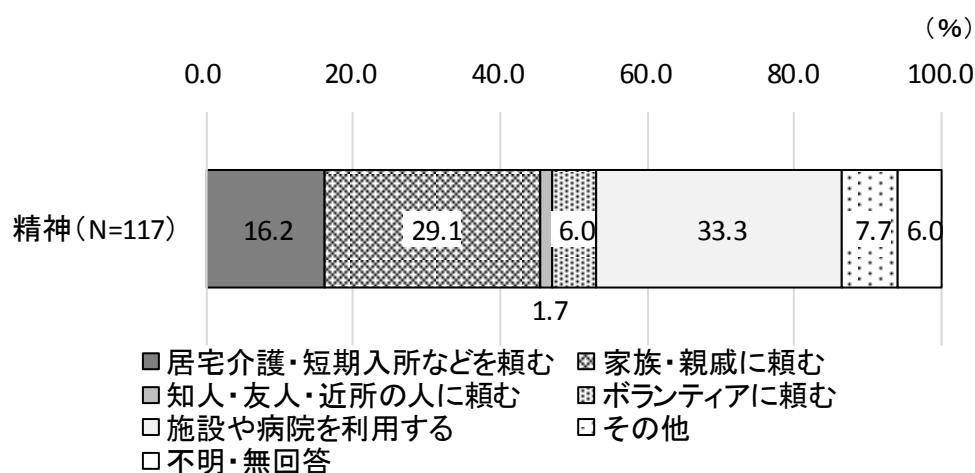
主な介助者の年齢について、「60～69 歳」が 26.3%と最も高く、次いで「50～59 歳」が 21.9%となっています。



※問 30 で 1 ～13 と回答した方のみ

問 32 主な介助者に介護・援助してもらえなくなった場合、どのようにしたいと思いますか。(複数回答)

主な介助者に介護・援助してもらえなくなった場合、どのようにしたいかについて、「施設や病院を利用する」が 33.3%と最も高く、次いで「家族・親戚に頼む」が 29.1%となっています。



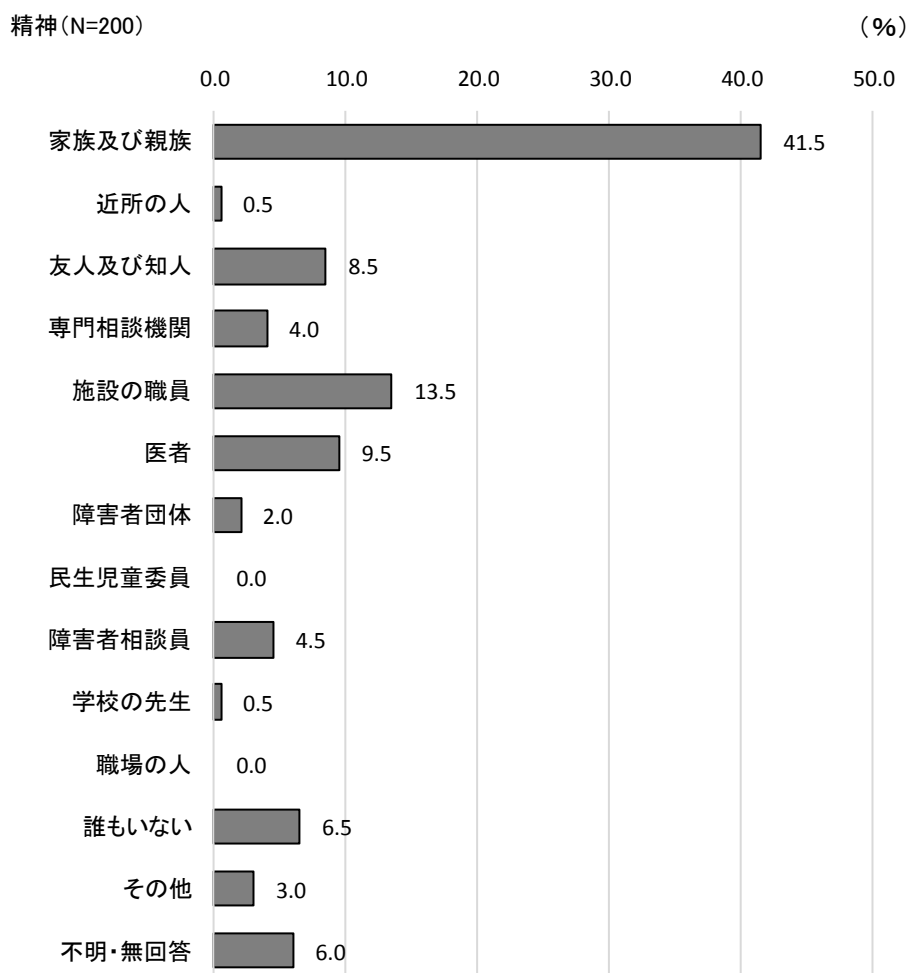
■その他回答(精神)

内容	件数
将来を考えられない	3
ホームヘルパー	2
グループホームに入居中	1
我慢する	1

生活全般について

問 33 悩みや困ったことを相談するのはどなた・どこですか。(複数回答)

悩みや困ったことを相談する相手・相談先について、「家族及び親族」が 41.5%と最も高く、次いで「施設の職員」が 13.5%となっています。

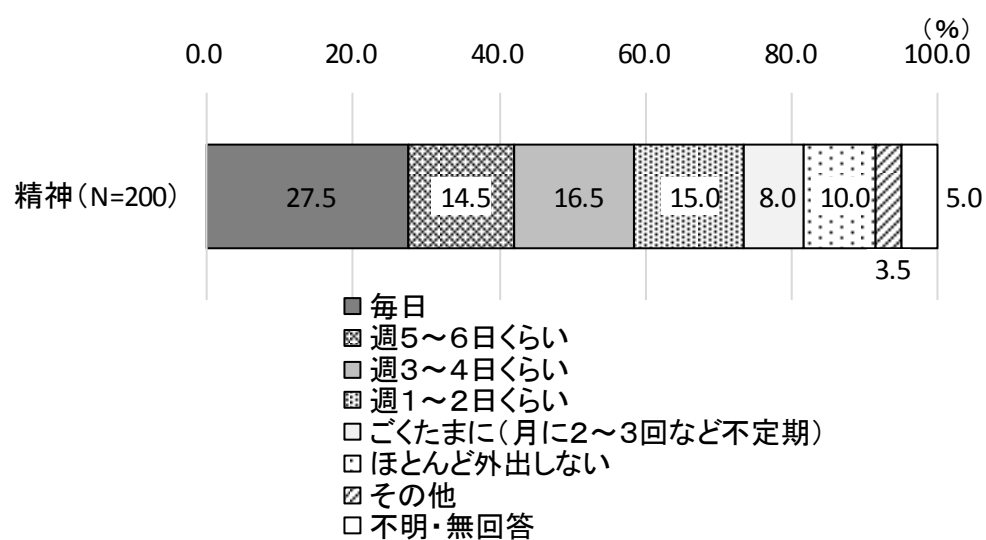


■その他回答(精神)

内容	件数
ゆめふる	2
ホームの職員	1
病院の先生	1
教会	1

問 34 現在どのくらいの頻度で外出していますか。

現在の外出頻度について、「毎日」が 27.5%と最も高く、次いで「週 3～4 日くらい」が 16.5%となっています。

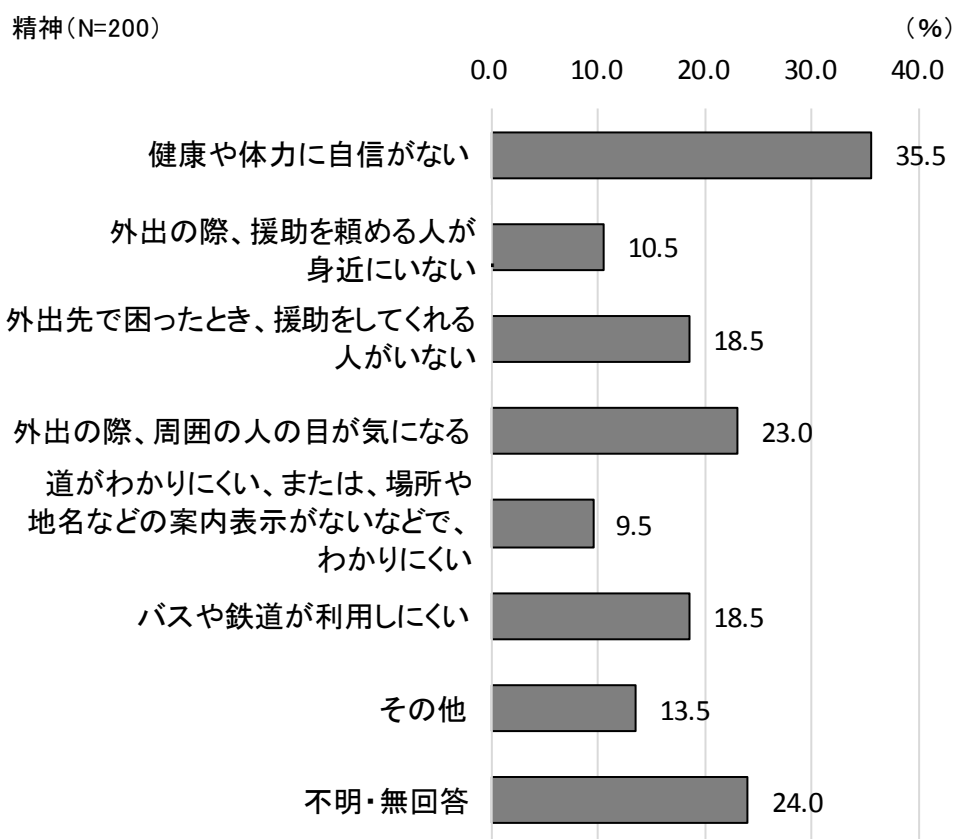


■ その他回答 (精神)

内容	件数
月に1回	2
入院中	2
3ヶ月に1回	1

問 35 外出する上で困りのことはありますか。(複数回答)

外出する上で困っていることについて、「健康や体力に自信がない」が 35.5%と最も高く、次いで「外出の際、周囲の人の目が気になる」が 23.0%となっています。



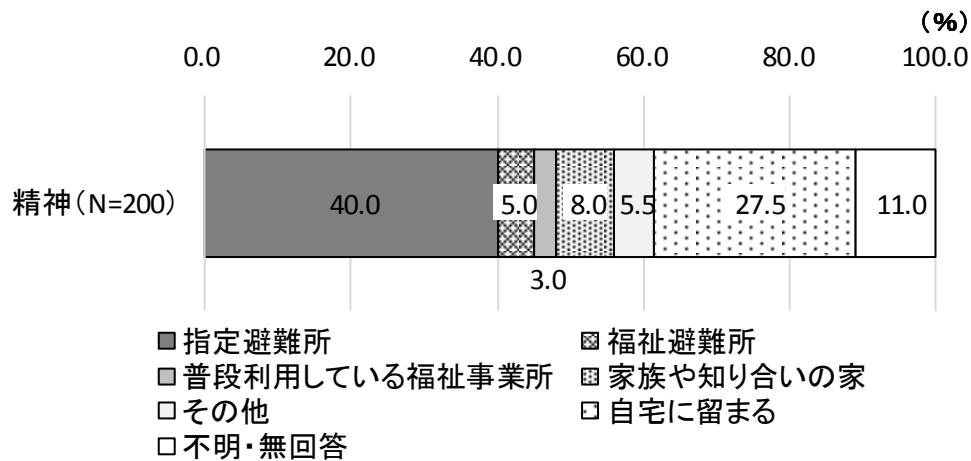
■その他回答(精神)

内容	件数
バス停が近くにない	2
友人がいない	2
雨の日の移動手段がない	1
移動費が高い	1
外出したがらない	1
車がないので不便	1
体調が悪い	1
バスの運行本数が少ない	1
不安が多い	1
見通しの悪い場所が多い	1
付き添いが必要	1

緊急時の避難について

問 36 地震や津波などの大規模災害が発生したとき、あなたはどこに避難しますか。

大規模災害が発生したときに避難する場所について、「指定避難所」が 40.0%と最も高く、次いで「自宅に留まる」が 27.5%となっています。



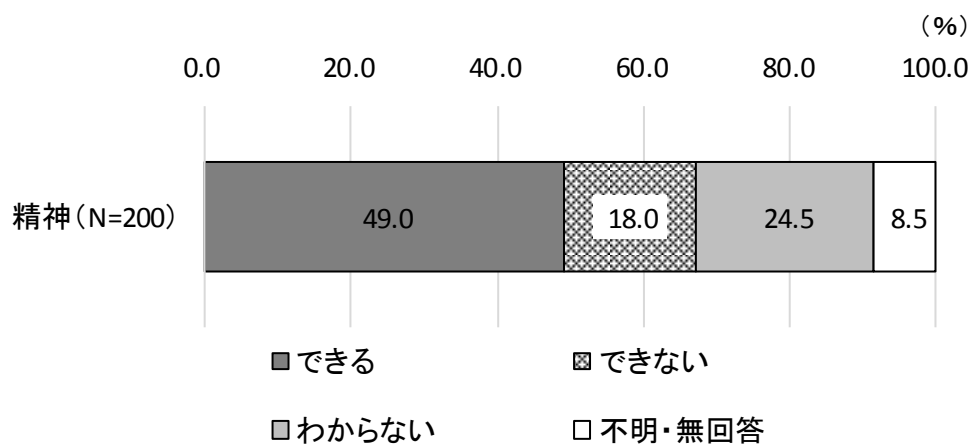
■その他回答(精神)

内容	件数
会館か、近所の体育館	2
決めていない	2
行政施設	1
近所の高台	1
考えたことがない	1
行き場がない	1
わからない	1

問 37 地震など災害発生時の避難方法等についておたずねします。

(1) 一人で避難することができますか。

災害発生時、一人で避難できるかについて、「できる」が 49.0%、「わからない」が 24.5%、「できない」が 18.0%となっています。



※（１）で「２．できない」と回答した方

（２） 避難するのに困ることは何ですか。

避難するのに困ることについて、「避難所まで行けない（坂や階段がある、避難場所が遠い）」が 16 件と最も多く、次いで「緊急時の介助者がいない」「介助している人が高齢・病弱などで緊急時の介助ができない」がそれぞれ 2 件となっています。

※分析文において、その他は除く

	件数	割合（％）
避難場所まで行けない （坂や階段がある、避難場所が遠い）	16	44.4
緊急時の介助者がいない	2	5.6
介助している人が高齢・病弱などで 緊急時の介助ができない	2	5.6
近隣の人間関係が疎遠で介助をお願い できない	0	0.0
災害時の緊急の 連絡方法・連絡先がわからない	0	0.0
災害時の情報入手・連絡の手段がない	1	2.8
その他	9	25.0
不明・無回答	6	16.7
合計	36	100.0

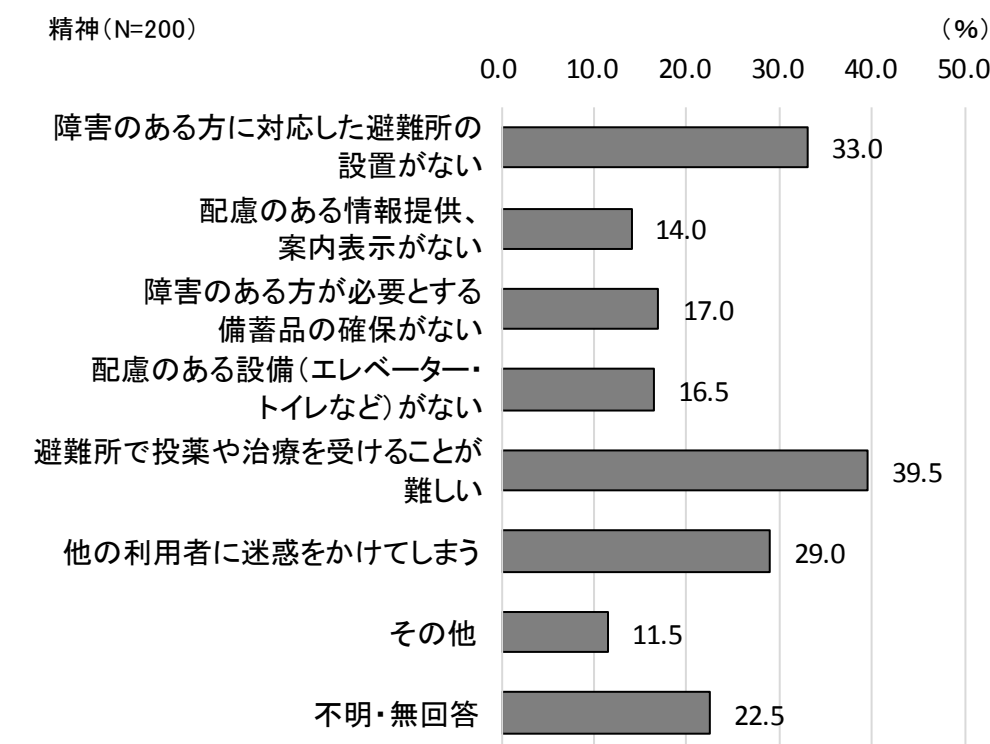
■その他回答（精神）

内容	件数
避難場所が分らない	2
想像できない	1
集団生活ができない	1
自宅に留まる	1

問 38 避難所における生活や支援について不安に思うことはありますか。

(複数回答)

避難所における生活や支援について不安に思うことについて、「避難所で投薬や治療を受けることが難しい」が 39.5%と最も高く、次いで「障害のある方に対応した避難所の設置がない」が 33.0%となっています。



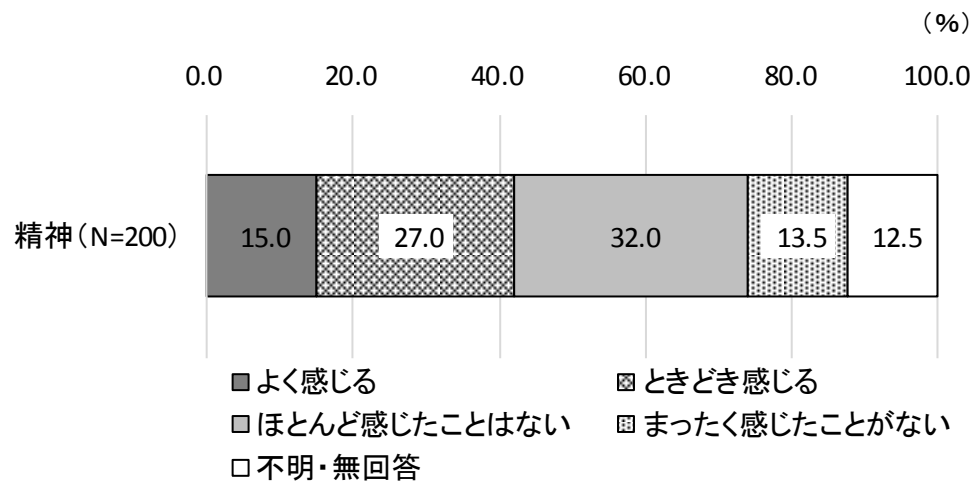
■その他回答(精神)

内容	件数
ストレスに対応できるかが不安	2
避難所に行ったことがなく、わからない	2
プライバシーが確保できない	2
大勢の中で長時間いられない	1
担当者と連絡がつくか不安	1
辛い時に叫べない	1
認知症のため考えられない	1
不安に思うことはない	1
不眠	1

差別や偏見について

問 39 日常生活において、障害があるために差別や偏見、疎外感を感じることはありますか。

障害があるために差別や偏見、疎外感を感じることはあるかについて、「よく感じる」「ときどき感じる」の合計を＜感じる＞とすると、＜感じる＞は42.0%となっています。

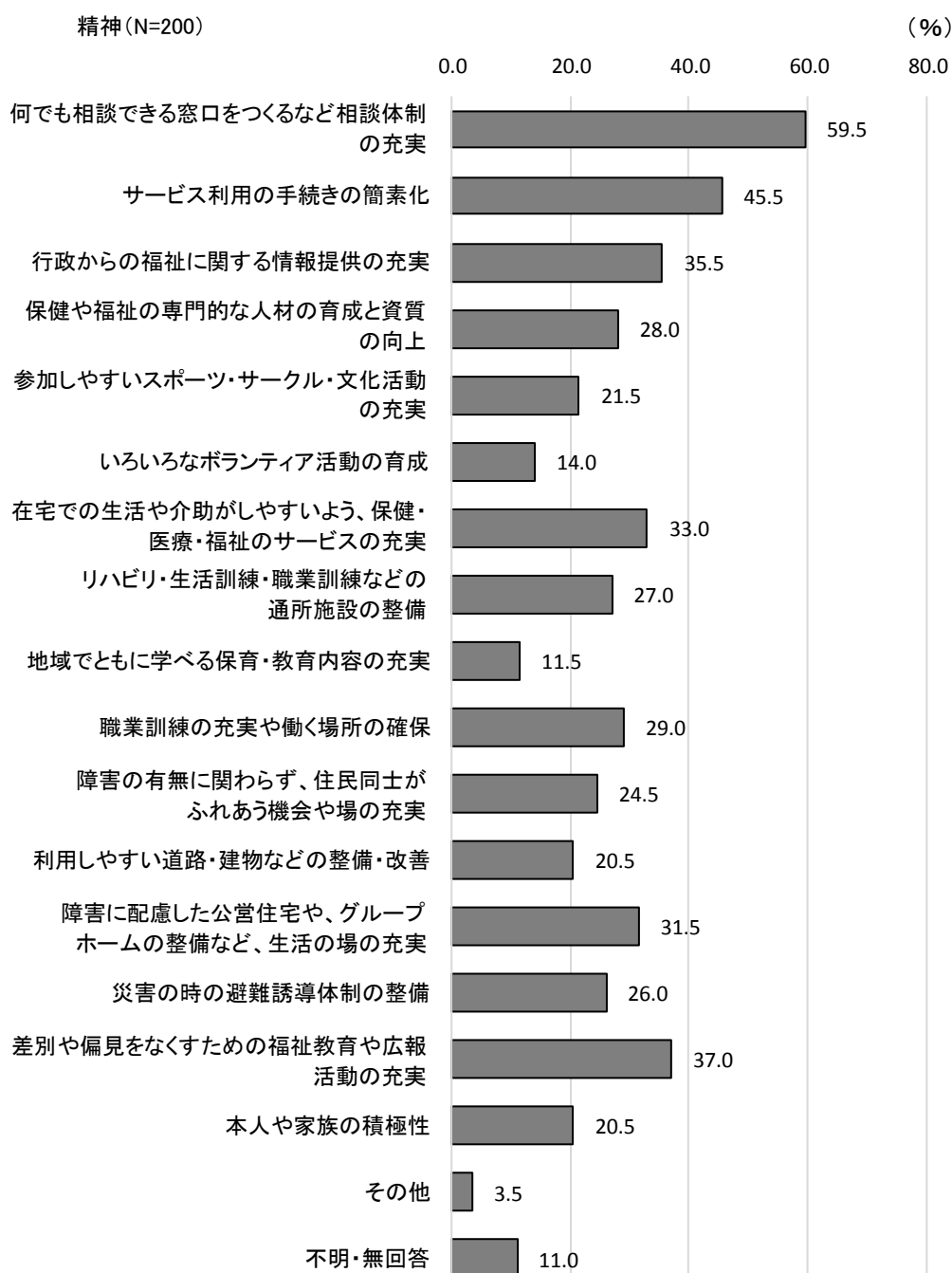


※問 39 で「1 よく感じる」、「2 ときどき感じる」と回答した方
問 40 どのようなことがあったか教えてください。

内容	件数
理由もなく悪口を言われた	13
無視される	7
人目が気になる	5
意見を聞いてもらえない	4
周囲の視線が気になる	3
人のうわさが気になる	3
馬鹿にされる・からかわれる	2
地域から出て行くことを求められた	1
退院後にいやな顔をされた	1
病院で受診を断られる	1
いろんな差別が多すぎる	1
悪い噂を立てられる	1
職場や学校でのいじめ	1
作業所等での暴力を受けている	1
職場で差別的な暴言を受けた	1
就職先が少ない	1
職場での疎外感	1
友達付き合いをしてもらえない	1
家庭内で悪口を言われる	1
差別を受ける	1
周囲からの言動が上から目線	1
先入観で見られる	1
入院を求められた	1
体調が悪くても知らぬ振りをされる	1
警察を呼ばれた	1
施設での扱いの差を感じる	1
暴力を受ける	1
仕事を任せてもらえない	1
職員からの差別的な扱い	1
行動の監視や覗き見をされる	1

問 41 障害のある方にとって住みよいまちをつくるために、どのようなことが必要だと考えますか。(複数回答)

障害のある方にとって住みよいまちをつくるために必要なことについて、「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が 59.5%と最も高く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」が 45.5%、「差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動の充実」が 37.0%となっています。



■その他回答(精神)

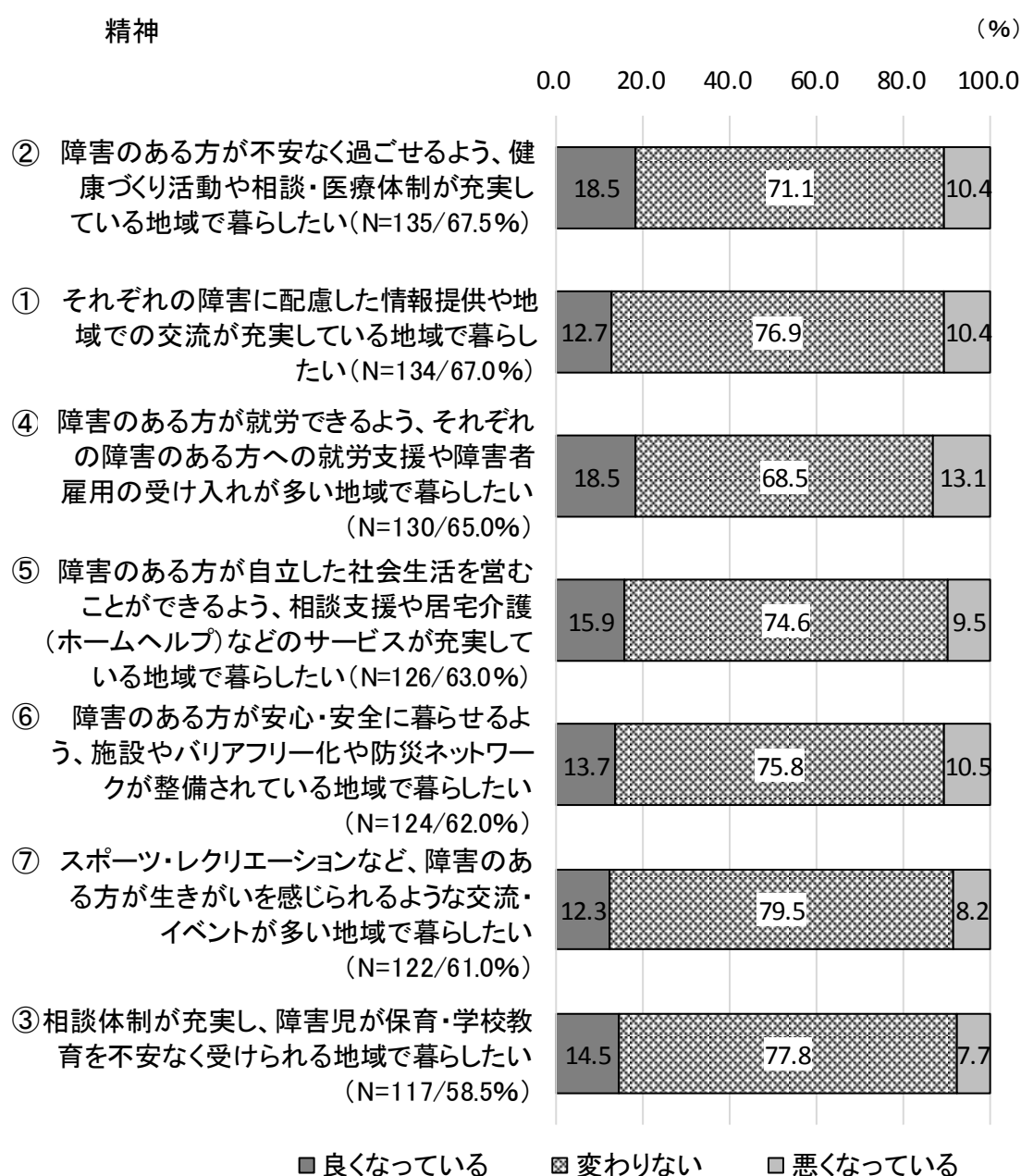
内容
緊急時のオムツやトイレの備え
市民が常識を持つ
相談担当員

障害者施策に対する希望と実態について

問 42 障害者施策についての希望と実態について ※不明・無回答は除く

障害者施策の希望と実態について、いずれの項目においても5割以上の方が重要であるとしており、『②障害のある方が不安なく過ごせるよう、健康づくり活動や相談・医療体制が充実している地域で暮らしたい』が67.5%と最も高くなっています。

また、『②障害のある方が不安なく過ごせるよう、健康づくり活動や相談・医療体制が充実している地域で暮らしたい』『④障害のある方が就労できるよう、それぞれの障害のある方への就労支援や障害者雇用の受け入れが多い地域で暮らしたい』で「良くなっている」がともに18.5%と、最も高くなっています。

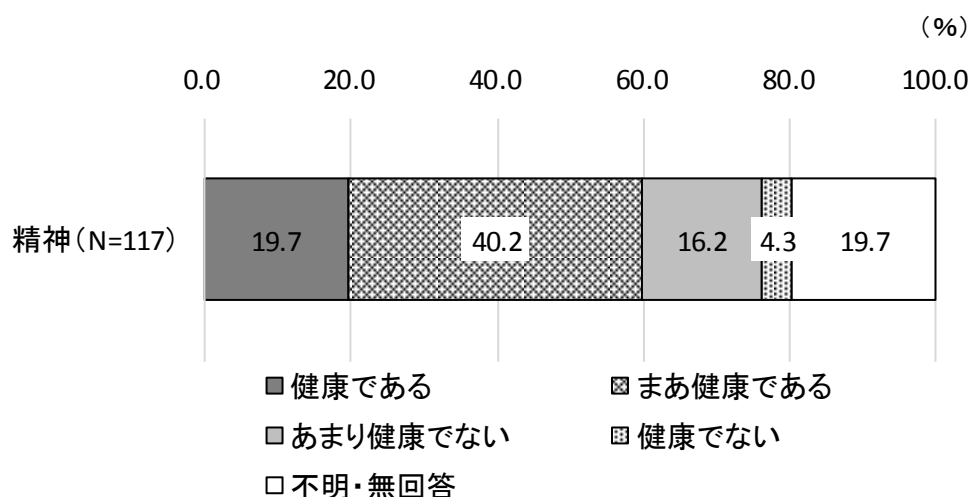


介助者の方の状況について

問 17 で 1～13 と回答された方

問 43 介助者の健康状態はいかがですか。

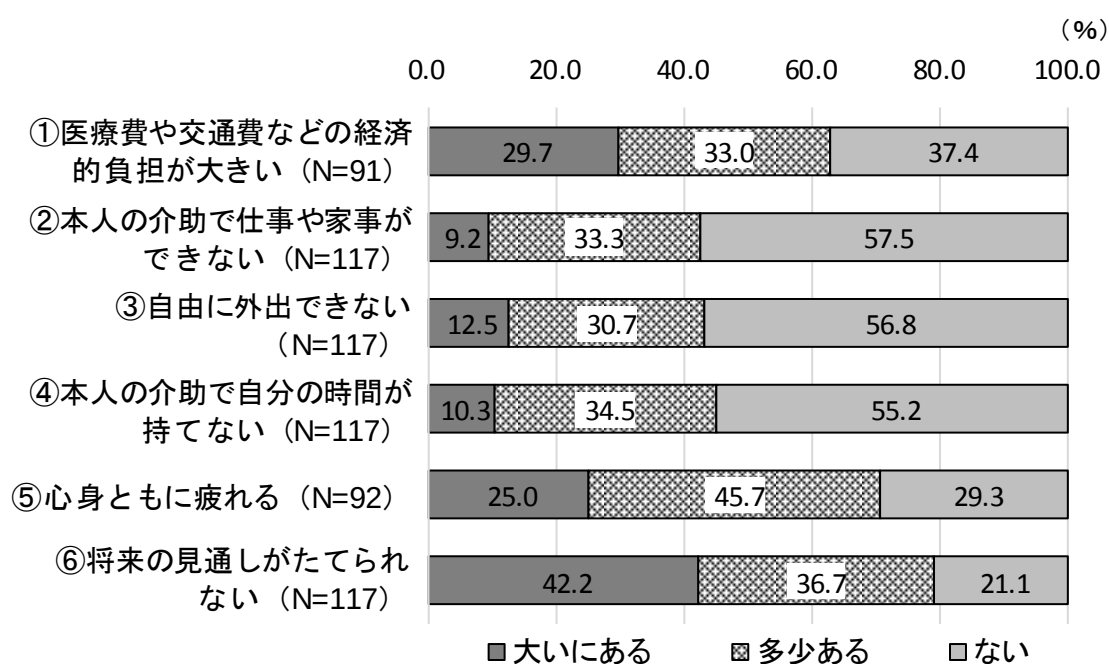
介助者の健康状態について、「まあ健康である」が 40.2%と最も高く、次いで「健康である」が 19.7%となっています。



問 44 介助者として、①～⑥うちあてはまるものは何ですか。

※不明・無回答は除く

介助者として、あてはまるものについて、「大いにある」は『⑥将来の見通しがたてられない』で 42.2%と最も高く、次いで『①医療費や交通費などの経済的負担が大きい』で 29.7%となっています。一方で、『②本人の介助で仕事や家事ができない』『③自由に外出できない』『④本人の介助で自分の時間が持てない』は「ない」が5割を超えています。



IV 自由回答

身体

カテゴリ	内容	件数
アンケート	3歳児だったため、答えにくかった。	1
	わかりにくかった。	1
	身体障害者ですが、透析をしているため福祉のことはよくわかりません。今回のアンケートはよくわかりませんでした。	1
	できれば、若年者と高齢者に分けて作成していただければ回答しやすいように思います。障害者自身も身体の他の箇所が悪くなりつつあり、細かく回答できるような項目があるほうがよいと思います。	1
	「利用がないので分からない」を加えて欲しい問もありました。	1
生きがい・社会参加	介護者本人とか介助する者など時々買い物または四季折々の自然に触れる事は出来る機会があれば気分転換で楽しみも持て、喜びも増すと思います。自由のきかないものにとって生きる喜びを感じない人も少なくないと思います。自分が若い人達のお荷物だろうなと思うと老いてゆく自分が切なく悲しく思います。	1
	身体障害者のスポーツ参加システムの充実。	1
市	身体障害者手帳を受け取った時に冊子を1冊配布され、手帳によって受けられるサービスについて詳しい説明がなかった。こちらから年金は？と聞くと、4級ではありせんとの答え。後に、知人などに4級になった話をするると障害厚生年金が受け取れるよ。また県事務所に行けば駐車場の障害者用の札がもらえるよ。申告する時に手帳を出せば、その収入（現在）なら住民税非課税になるよ。そうすれば限度額（健保）も下がるよ。等々、障害者になって初めて不安な私達に、もっと親身になって色々教えてくれてもいいのではないかと。手帳交付の時にはその人その人に応じて具体的に色んな受けられるサービスについて詳しく教えてあげて欲しい。そしてそんな知識を持った職員を配置しておいてほしい。しっかりした思いやりのある人を窓口配置してほしい。また、手帳が交付された時点で一度で済む手続き（その時に全ての書類が書ける）にして欲しいものです。その次に毎年する手続きを減らしていただきたいと希望します。（車の税金免除、高速使用（2年に1回）など）	5
	市民総合センターやすらぎ対策課はいつ訪ねても親切で利用しやすいように思っています。	2
	障害者を抱える家庭への税の優遇を考えて欲しい。固定資産税の軽減や、相続税、贈与税の免除など。	2
	同じ障害の程度でも都道府県により等級に幅があり過ぎる	1
	本庁舎と市民総合センター統合し、移転した時、障害者が自由に使える部屋を提供して欲しいと思います	1
	家族からの問い合わせに親切さが欠けていると思う。もっと分かりやすく親身になって対応してもらいたい	1
支援	障害年金だけでは生活出来ない。障害者福祉手当金は増やしていただきたいです。	2
	直腸の手術をして直腸がないのでそれの方が困ってます。どこに行くにもいつ便が出てくるか分かりませんので内臓障害の人は人には目につきません。早く駐車場と思っても障害者の駐車場は少ないので困ります。よろしくお願い致します	1
	目の見えない方がもっと道を歩きやすくして欲しい	1
	昨年あたりからの腰痛と、歩行が日々困難になり、家の中でもつまづいてもいないのに転げるようになりました。	1
	安定した支援をお願いします	1
	身体障害者の資格取得のための専門オペレーターなどの学校への援助を希望します。	1
	看板や案内板については色覚障害がある方にも見やすく、ユニバーサルデザインの視点を持っていただきたい。	1
	自分の掃除などでただで来てもらっている方がいますが、主人の収入によるのでしょうか？高齢になる母へのヘルパーさんはお金がいらっていますが、私の通る所など母とは全く分け隔てされています。ケアマネさんも、利用者の意見を事業所へきちんと伝えて欲しいです。	1
	地域の災害の時の対応施策として障害のある方の障害の程度を市はどこまで把握されているのか民生委員さんの役割など分かりません。	1
	助成のタクシー券（1枚500円）が少ないです。タクシー券の金額を改正していただきたいです。	1
	オムツなどの補助金が少ない	1

カテゴリ	内容	件数
支援	扶養家族内に障害者がいることで、税金の免除もあるようですが、差別や偏見が怖くて夫の勤務先には言えずにいます。手帳を持っている方を把握している行政が行うべき仕事ではないですか？個人情報流出を防ぐためにも、そうあるべきだと思います。	1
	他府県から田辺市内の障害者の所施設に入所し、日々過不足のない福祉サービスを受け安心し、健康な毎日を過ごしております。親として感謝の気持ちでいっぱいです	1
	月に1回通院のため、タクシーを使っています。郊外へはタクシーも高くつきますが、バスがありません。タクシー券の助成をお考え頂きたいです。	1
	昼間、出掛けられる場があれば少しでも身体を動かす事が出来るので、そういう場が増えればありがたい。新しく作らなくても今ある私立の施設の一部を提供する事が出来ると思うが？	1
	田辺市は車のETCを取り付ける時、車の購入残金が残っていると取り付ける事が出来ません。車のアクセルを（左に）換えなくては運転出来ませんが、4級なので補助金は出ません。日常生活に必要なものなので行政は考えて欲しいと思います。	1
	コミュニティーバスなどの充実が未だ改善されていないので、外出がしにくく、また高台からや階段などのある地域で道の整備が障害者用になっていない所がほとんど。地震対策の前になるべく早く古い町の改善をして欲しい。	1
	近くに耳鼻科が少なく、今までお世話になっていた病院も8月で閉院になる。定期的に通院をさせたいと思っても1人では行かせられなく、介護保険などを使うほどでもないの、眼科のように月1回でも近くに出張の分院のようなものがあれば助かります	1
	美容室に行くのが大変です。可能であればデイサービス中などに美容師さんが来てくれると嬉しいです	1
	現在透析中であるが4時間かかるため、きちんと安定した収入が得られない。夜間の透析病院が年々減っているため働きたくとも働けないのが実状である。夜間透析病院の充実を切に望みます！！透析患者は昼間時間の自由な年配者や既婚者ではありません。透析しながら働きたい若い人も多勢いるのに時間が自由にならない。病院が少ないのが今最たる悩みです	1
	障害者のサービスで各種の補助金や補装具の提供が縮小しており、もう少し各種の補助金や補装具の提供を増して欲しい。補装具の故障しても修理で対応するようにとの回答が多く、修理費用と補装具の提供金額の差での基準を作って欲しい。	1
	家族の所得があるからと言って医療費の控除がないというのはおかしいと思う。本人の所得で決めてくれたらいいのではと思います	1
適正化	障害者の働く仕事や給料が少ないと思う。年金だけでは生活が出来ない。田辺市内では働ける所が少ない。	1
	軽い身体障害を持つ人にもっと働ける場所を紹介して欲しい。	1
難病	難病なのに、難病指定されていない病気（数が少な過ぎて）で他県では補助体制があるが和歌山県や田辺市では補助していただけないのはどうしてですか。手術や投薬やMRIなどで費用がかさみ大変な時もありました。	1
配慮	建物内のトイレは洋式がないと利用出来ない。建物内に休息出来るベンチなどがたくさん欲しい。市役所移転の際は多機能トイレを全てのフロアに設置して欲しい。	2
	手帳を持っている人はデリケートな心を持っています。行政などからは、そうした気持ちを配慮してくれる気持ちが伝わってきません。	1
	「障害」の言葉を「害一がい」と訂正変更するだけで印象が変わる。	1
	身体障害者用の駐車場が少ないうえ、健常者の方が駐車していて利用出来ない時がある。	1
	娘が参加した体育祭やクラス対抗の競技大会で点を競う競技の時、失点や勝敗にひびいた事があります。その時、同級生の子から嫌な態度をされたり、言われたりした事が度々されたようです。つらい経験をしながら成長はしていくのしょうけど、まだまだ障害者に対して住みよい国だと思っていません。健常者と障害者が共存し充実した暮らしが出来る日が来て欲しいと思います。娘が社会人になって障害者に対して差別される事なく生き甲斐を持って過ごしてくれる事を願ってやみません	1

カテゴリ	内容	件数
不安	高齢化で体力低下、障害が重くなる。今後病気なども重なってくると、不安に思う。	3
	少し足が不自由なのでもっと高年齢になった時、移動の自由が制限されるようになるのではないかと心配している。また、（返納等により）介護者の免許がなくなった時の交通手段を考えると不安。	2
	現在は健康でおりますが、最近不整脈が出てきていると病院で言われています。かかりつけの病院にお願いしています。	1
	病気で1ヶ月に1回通院してのですが、病気が治らず困っています。将来老人ホームに入居したくても空きがなく不安です。もっと特別養護施設を建設してもらいたい。	1
	特定疾患のシェーグレン症候群が、どこまで進行するかが不安。患者家族の集いなど行ける時は行ってはいるのですが、みんな同じ不安を持っているのだと思う。	1
	老々介護で私自身自分の事で精一杯の状態ですが、出来るだけ頑張ろうと思います。いざという時にすぐ施設に入れるような所が出来ればと思っています。病院通いが多いので、交通費もバカになりません。	1
	介助者が健康であれば問題がないが、今後介助者が高齢者となり、看護になることが一番不安。	1
	将来、1人になったり障害が重くなった場合、たぶん子ども達は同居していないので、出来るだけ自分の家で生活を助けてもらえたらと思います。その時、生活支援や精神的に助けてもらえたらと思います。	1
	訪問看護や訪問リハビリ、ヘルパーさんなどにも来てもらっています。出来るだけ負担を掛けないようにとデイサービスやショートステイにも行っていますが、しんどいのは時々あります。自由に動かない体でこの先を考えると、先は長いと思います。出来るだけ前向きにいたいのです。私の両親も夫の両親も高齢なので、このまま在宅介護で過ごせるのか先は不安です	1
	高齢者施設に入所中のため話し相手がいないのもう少し若い方達が入る場所が欲しいです。少しでも障害があっても出来る事があればと思っています（家族）これから先の事が1番心配です	1

理解・啓発	見た目には障害者には見えないことで、健常者と同じように振舞う事に心身ともに疲れる時があります。見た目でわかる障害だけでなく、一見健常者に見える人の中にも難病の人がいるという事を周知して頂ければ有りがたいです。何も知らずに批判する事だけは避けていただきたい。	3
	差別についての啓蒙はふれあいだと思う。	1
	パーキンソン病は発病して10年を超えるとウェアリングオフという症状が出ます。これは薬を飲んで効いている時（ON）と効いていない時（OFF）がある事です。問17で答えられないと書いたのは、1日の中で①（1人で出来る）もあれば、④（全面的に介助が必要）の時もあるからです。OFFの時は外出出来ません。ONの時に役所などに行くので、病状を軽視されますが、実はそうではありません。そんなパーキンソン病の特徴を理解していただきたいものです。	1
	まだ見た目はあまり分からないと思うけど色々な知り合いに聞くとやはり、かなり見た目で判断される方が多く、やはり差別はあると思います。やはり各地域で差別のない町づくりがとても重要だと思います。	1
	健常者に障害者の苦しみや悲しみは分からないと思うが、一般の人にも分かってもらいたいと思います。	1

その他	自分なりに努力しています。	1
	自分は障害者であるといつまでも甘えてないで社会のために少しでも役に立てる事をしたいと思えば自然と体力も気持ちもしっかりしてくると思います。	1
	子どもの頃より田辺市以外の施設で生活を送っていますので、田辺市での生活経験がないため分かりません	1
	地震など1人の時に発生した時は避難は諦めています	1
	手術をする事で障害者手帳を取得する事になりましたが、現在は不自由なく生活が出来ています。	1
	「障がい」だけでなく、高齢になっても元気で自分の事が出来るために継続した運動が必要と思う。今、歩けない人でも自分で出来る運動を知って行う必要を感じている。そのためには、親身に相談に応じて適切なアドバイスの出来る人が必要と思う。	1
	福祉車両は車イスマークに置かねばならないのでしょうか？	1
	「障害のある身体である」と認識しながらも、身体そのものは自由に動く事が出来ますから、つい健康体の人と同じような行動に動いてしまいます。自分の行動が家庭外の場合は家族と行動を共にするようにする事に心掛けたいと思っています。	1

知的

カテゴリ	内容	件数
アンケート	アンケートが分かりにくい（難しい）です	4
	今回のアンケートの結果をきちんと協力者に報告し、行政に反映させていただけますよう希望します。一般にも広く告知してください	1
	軽い知的障害を持つ人向けの内容があってもいいのでは	1
生きがい・社会参加	本人と介助員さんで電車、バスで遠出できるようにしてほしいです。親と遊びに行くより他の人と遊びに行く方が楽しみが増えるみたいです。障害のある同年代の方との交流もさせてあげたい。	2
	色々な事を経験させてあげたいので障害のある子供が楽しめる行事だけでなく、スポーツやアウトドア、芸術体験など行って頂けたら参加していきたい。そうした情報をもっと広報してほしい。	2
	地域の習い事で断られたりしたので田辺市主催で障害がある子供が定期的に習う事が出来るものを（例えばスイミングなど）行っていただけたら子ども達の生活が彩豊かなものになるのではと思います	1
	障害者でも受け入れてくれる習い事やイベント、集まれるサロン等を増やしてほしい。余暇を楽しく過ごしてほしい。	1
市	アンケートでは内容が分かりづらいので、年1回の聞き取り調査の時にもっと話を聞いて欲しいです	1
	障害者に対応ある職員の方々には、ある程度障害についての知識を持っていて欲しい。	1
	市に子どもの事で相談に伺いました。二日後に入院だったのですが、すぐに対応してくださり心から感謝しています。	1
	色々な手続きが平日のみで困っています。月に1、2回土日に手続き出来ないでしょうか。それから手続きの期限が通知から短い時も困ります。せめて1月は余裕が欲しいです。（特に診断書の必要な時）手続きも出来るだけまとめて一度で出来るようにして欲しいです。その度に仕事を休んで手続きするのは大変負担です。	1
支援	グループホームや作業所でお世話になっています。作業所の休日の日中はデイサービスを利用しています。しかし、今後デイサービスの利用が出来ない日など、サービスの利用できない時が不安です。	3
	子供が産まれた時、どこへ何を聞いたら良いのか、何をしたら良いのか分かりませんでした。時間が経ってしまって、（病院や施設、相談の場所、サークルなど）もっと早く教えてもらっていただけたら対応出来たのにと後悔があります。	3
	作業所の充実だけでなく、企業などで特性が活かされるような仕事・職種が増えて欲しいと思います。生きがいのある仕事場、1人でも仕事出来る環境が必要です	3
	田辺市内でも地域間でのサービスの格差を感じます。龍神にはグループホームなどないので、本人に合った作業所とグループホームも不足しているという話も聞きます。グループホーム、作業所の充実を望みます。	3
	将来出来るだけ福祉サービスを利用しながら自立して生活して欲しいと思います。	2
	視覚障害の人達のために、歩行者信号機を音声付を更に付けた方が良くと思います。	1
	田辺市は特に車イスで入れるトイレやバリアフリーの所が少ない。外で食事がしたくても、車椅子は入場出来ませんという所もあります	1
	障害者がコミュニケーションをとるために集まる場所が少ない。健常者も障害者も同じ感情を持つ1人の人間、外に出て楽しい会話をし、人とのコミュニケーションを取れる場所をもっと多く作って欲しい。	1
	田辺市には重度重複障害者が利用出来る施設がないので、上富田まで行かなくてはならない	1
	せっかく寄宿舎などで自分の事は自分でする習慣が身についてきているのに、自宅に戻ると家族に甘えて（甘やかされて）しまって、出来ていたことが出来なくなっていくという話も聞きました。身体が元気なうちはせっかくだから外でしか経験出来ない事を経験してほしいと思っています。	1
	サービスや新しい取り組みや活動、イベントなどについての広報を障害者の家庭への配布が少ない。	1
	障害者の駐車スペースを増やして欲しいのと健常者が停めるのをどうにかして欲しい	1
	デイサービスの行く機会が少なくなったので、もっとデイサービス行けるようにして欲しい	1
	障害者専門の歯科治療機関はありますか？本人の身体も大きくなり体力もついてきましたが、多動と痛みに対する恐怖心から歯科治療が受けられなくなってしまいました。ケアは受けられる所まで回復したのですが、治療が途中放置になってしまっています。	1
	障害者に限らず不登校など色々な理由で社会に出るまでに時間の掛かる人がいるが、そのような人にも機会を作ってくれるような会社などがあればいいと思う。	1

カテゴリ	内容	件数
支援	職場でじっくり人材を作ってくれるような会社があればいいと思う	1
	老人施設のデイサービスが利用出来たり、休日1人で過ごすのが難しい人を預かってくれる所が出来て欲しいです。	1
	介助者の立場としては心身ともに疲れ、うつ病になるくらい引きこもったりストレスが溜まります。相談出来る場所もなく、悪くなる一方です	1
	施設を新たに作るだけでなく、障害者の立場も考え地域全体で支え合っていけるまちづくりを心掛けて欲しい	1
	障害者の家族や本人の意見をちゃんと聞いて、本当に必要な支援など、色々な事を決めていって欲しい。	1
	買い物などの外出の時に自動車で送迎してくれるサービスと買い物の付き添いをしてくれるサービスを兼ねたサービスは今受けられるのでしょうか？	1
	近い所で病院などに通えるように。田辺市内で施設に入れるようにして欲しいと思います	1
	紙オムツの助成や福祉サービスなど、田辺市は頑張ってくれていて助かっています。これを減らす事のないようお願いします	1
	介護付きのグループホームをもっと増やして欲しいです。いっぱい希望しても入れない方もいる。介護している親が急に具合が悪くなった時にお願い出来る所がないと困る	1
	3歳の頃からひまわり相談、ゆめふるでの相談をしてきましたが、先日で終了となりました。障害児者が増えて先生が忙しいからと思いますが、専門家を増やしませんか？放り投げられた気がして不愉快です。3歳からの相談の記録はどうなるのですか？そのまま放置ですか？	1
	知的障害者などを対象としたカフェなどがあれば嬉しい	1
	子どもが安全に遊べる室内施設が欲しい	1
	福祉センターなどが少ないのか予約がいっぱいで通院が半年に1回です。療育もそうですが、回数増やせたらと思います	1
	小さい子供の通園施設は充実してきたように思いますが、母子分離が早過ぎるため、逆に親は障害のある子供への接し方が分からず悩んでいるように感じます。親子で子どもの療育を学びながら遊んだり楽しめたりする場がこれからは必要なのではと感じます。色々なサービスも確かに必要ですが、やはり子どもが小さいうちは障害があってもなくても親子のつながりがこれからの成長に関係してくるのではと思われます。田辺市は行政の方々のご努力で、とても福祉サービスが充実していて感謝しております。これからはぜひ親子で療育しながら楽しめる場を考えていただければ嬉しいです。大人の障害者にも参加出来る場があれば嬉しいです	1
	差別や偏見という意識改革が一番難しい。	1
	電車の本数を増やして欲しい	1
	個々の特性に応じた支援をしてくれる場がないです。習い事などで、個別に教えてくれる場があれば子どもの持つ素質を伸ばしてやる事が出来るのにと残念でなりません。	1
	学校の支援学級のあり方、担任の知識・理解など今の現状ではとてもダメです	1
資質向上	障害者のグループホームや施設で支援されている方など福祉の世界に入る人達に対して、研修などを行い人材育成をして欲しい。差別やいじめ、暴力、パワハラなど、倫理観のない対応に傷ついたことがあります。いずれ親は先に死にます。所員の質こそ私達子どもの生死を分けると思っています。	3
配慮	病気を持っていて家の中から外に出ない人たちに対して、訪問看護だけではなくカウンセラーや医師が自宅訪問出来るような社会にしたい。	1
	健康者も障害者もともに助け合えることができればいいと思います。	1
不安	親亡き後の事が不安で仕方ありません。最終的には施設のお世話になるのですが、自立支援と言いますが果たして今障害者に対して人としての尊厳守られているのでしょうか？重身施設に日中デイで通所させてもらっていますが、入所されてる利用者さんを見ても決して安心して入所出来る生活の場ではないように私は感じています。	3
	医療費の事が一番心配します	1
	この先も自宅で家族と過ごしていきたいと思いますが、段々と難しくなって来ようと思います。不安が大きいです。	1
	職場が将来にわたってあるようにと思う。年金額が下がっているのが不安	1

カテゴリ	内容	件数
理解・啓 発	これまでに多くの障害者とあってきましたが、障害者について思った事は「好きで産まれてきたわけではないのは分かっている。1人1人が精一杯生きている」って思いました。自分はこれからも障害者について理解したいです	2
	障害を持った人がその障害を受け入れて生活する事を周りにいる私達が良く理解していくことが大切だと思います。	1
	地域で障害者や子どもたちを守るためにも、田辺市全体でもっと理解を深めてイベントなどをどんどんするべき。	1
	今の福祉の考えでは社会参加という考えですが受け皿が少な過ぎると感じます。社会の需要もない状態で、社会に出すと余計に偏見持たれないか不安を感じます。	1
その他	田辺市は結構福祉が充実していると思います	1
	障害者にやさしい政策をお願いします	1
	手厚くして頂いており、有り難く感じています	1
	今パートで働いています。会社の理解もいいです。何度か自分で解決できない時があつて（家族も）ジョブコーチに相談しました。	1
	障害があっても当たり前前に生活が出来る事を望みます。少しずつよくなってきている事は感じてはいます	1
	仕事があり、子どもの面倒を十分にみることができず、申し訳なく思うことがある。	1

精神

カテゴリ	内容	件数
市	行政の目が冷たく感じる。	1
	市役所はサービス等の説明がない。	1
	車がないので、市民総合センターや市役所が遠くなったら困る。	1
支援	就労継続支援B型は賃金は安く、昼食は自己負担。そんな労働条件で24時間働いても生活できない。障害者年金で暮らせるようにしてほしい。	3
	精神障害者施設・作業所を増やしてほしい。	2
	悩みや、将来のについて相談できる場所がない。担当の相談員がいればありがたい。	2
	一般企業での障害者雇用を増やしてほしいが、非正規がほとんどで、正規雇用があればありがたい。	2
	バス停まで歩くのがしんどく、コミュニティバスやデイケアからの送迎は無理なのか。	2
	内科や心療内科への通院者には、何が病気で、何が障害なのか、障害者認定の実情など、情報提供を充実してほしい。	1
	子どもが統合失調症になり25年、何度も入院し、何度も転院したが、田辺のころに入院してからは落ち着き、作業所に行くことができ、話も通じるようになった。家族も鬱や不眠になり大変苦労したが、ここでいい先生に出会うことができてよかった。	1
	18歳で放課後デイが利用できなくなり、余暇活動ができなくなる。知的障害者の多い場所では、軽度の発達障害児は利用しにくい。18歳以上でも通える場所がほしい。	1
	かかりつけの精神科やゆめふるの皆様と協力して頂き、無事に出産することができました。皆様のあたたかい力添え、感謝している。精神障害者は公立病院の産婦人科に診てもらえないかと思うと悲しく、医療施設での受診・入院拒否の扱いをされている者がないように願う。	1
	障害者登録(手帳所持者)へのイベント情報などを、ハガキ・ライン・メール等で知らせてほしい。	1
	義務教育以外の学校の充実を願う。	1
	手帳のことや就労支援等、相談窓口を広くすれば、助かる人が増えると思う。	1
	障害者家族に対する税の軽減や、金銭的援助が必要。	1
	災害時など、周囲に迷惑をかけてしまうと考えてしまう。	1
	相談ができる「ゆめふる」などはありがたい。	1
	今後の一人での生活は年金だけでは苦しいと思う。自宅から通勤でき、障害者でも働ける場を望む。	1
	移動の際、車の送迎を頼める人がいないため、タクシー代の助成をお願いしたい。	1
	入院したいが親の具合が悪く、お金もなく、身体ともに辛く苦しく、助けてほしい。	1
	心の医療センターに入院したが、病棟が古くて汚い。男女が同じ病棟なのも辛かった。先生やスタッフは親切で感謝しているが、病棟を新しくしてほしい。	1
	支援・援助がほしい。	1
	病気の特性上、一人でいることは難しく、夫は働かず家にいてくれている。入院治療も適さない。収入は障害者年金のみで、苦しい生活を送っている。中途半端なサービスや相談支援では救われない。3障害の間での制度の差は許しがたい。個々の状況を把握した上で補助をしてほしい。	1
	ヘルパーにお世話になり感謝している。年金暮らしのため、ヘルパー代がもう少し安くなればいいのですが。	1
	障害者に関する情報を得る方法が無いように感じる。自分で調べない限り、知らないままの事が多い。もっと安心感を得られる(感じられる)生活がしたい。	1
	自立支援が良いと思う。	1
	親亡き後に、入所できる施設の充実を望みます。	1
資質向上	作業所の職員の教育がなっていない。利用障害者に対する言葉遣い等、マナーがなっていない。パワハラをする職員を解雇しないのは、精神的に辛い。	1
不安	便漏れがあり、おむつが欠かせない。緊急時、トイレや風呂が無いと、不安を感じる。	1
	自宅では夜間や休日対応に困る。	1
	親が死んだらどうしようかと悩んでいる。	1
	医療費や税金など、いつまで負担できるか心配。	1
	保険についても精神障害者は障害保険には加入できない。病気になり入院が必要になった時が不安である。県民共済にすら加入できない。	1

カテゴリ	内容	件数
理解	周囲からは元気に見えるが、病気だと理解して付き合ってほしい。	3
	障害者に対する偏見や差別により、不当に目を向け困らせたりしないほしい。障害者は辛い思いをしているのに、惨すぎる。	2
	妻は産婦人科にかかることになり、病名を告げると受診を断られた。紹介状すら出してくれなかった。	1
	聴覚過敏や接触過敏に理解がない。学校職員にも理解してもらえない。	1
	障害者が安心して暮らせるようにしてほしい。	1
	ケアマネ、介護タクシー、事業所からもからかわれた。	1
	友人に恵まれ相談できるが、一人悩んでいる人もいる。	1
その他	認定の結果、ヘルパーが来てくれることなり、大変ありがたい	2
	やさしく接して下さい。	1
	今の作業所は、とてもいい	1
	特に期待していない	1

田辺市
第 3 期障害者計画及び第 5 期障害福祉計画
第 1 期障害児福祉計画
策定に係るアンケート調査報告書

発行・編集：田辺市 やすらぎ対策課 障害福祉室

発行日：平成 30 年 3 月

電話：0739-26-4902 FAX：0739-25-3994
